

# 官報

號外

明治二十七年五月二十五日

金曜日

內閣官報局

## 第六回 衆議院議事速記録第八號

明治二十七年五月二十四日(木曜日)午後一時十五分開議

議事日程 第八號 明治二十七年五月二十四日  
午後一時開議

- 第一 國立銀行紙幣ノ通用及引換期限ニ關スル法律案(政府提出緊急事件) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第三 明治二十三年法律第二十五號中追加法律案(政府提出緊急事件) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第五(丙)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第六(丁)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第七(戊)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第八(甲)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第九(乙)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第十(丙)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第十一 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第十二(己)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

衆議院議事速記録第八號

明治二十七年五月二十四日

議長ノ報告

第十三 國稅徵收法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第十四 明治二十二年勅令第四百一十一號第一條改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第十五 明治二十三年法律第四號中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第十六 東京砲兵工廠据置運轉資本增加ニ關スル法律案(政府提出緊急事件) 第一讀會

第十七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十八 府縣非常土木費國庫補助法案(林有造君外三名提出) 第一讀會

第十九 震災地方未納地租延納法案(小室重弘君外八名提出) 第一讀會

○議長(楠木正隆君) 諸君、是ヨリ報告ヲ始メマス  
(水野書記官長朗讀)  
貴族院ニ於テ本院送付ニ係ル綿絲輸出稅免除法律案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒アリタリ

野出翁三郎君ヨリ明治二十七年勅令第四十一號ニ關スル件ニ付政府ヘ質問書ヲ提出セラレタリ

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ  
明治二十三年法律第七號廢止法律案 提出者 草刈親 櫻君 土居光華君

明治二十三年法律第五十號民事訴訟法施行條例第十二條削除法律案 提出者 野平 櫻君 土居光華君

明治十八年布告第二號廢止法律案 提出者 草刈親 櫻君 土居光華君

外國畜類傳染病侵入ノ豫防法案 提出者 野平 櫻君 土居光華君

市制第九條改正法律案 提出者 元田 肇君 大久保端造君

町村制第九條改正法律案 提出者 田 艇 吉君 平田 箴君

提出者 田 艇 吉君

平 田 箴君

明治十五年第七十號布告廢止法律案  
提出者 濱 名 信 平君

平 田 箴君

特別委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ  
陸軍召集旅費支出ニ關スル法律案  
審查特別委員長

佐 藤 昌 藏君  
武 石 敬 治君

郡制改正法律案外一件  
審查特別委員長

田 艇 吉君  
齋 藤 斐 君

請願委員會ノ特別報告ニ係ル地租引當米過剩金下戻ノ請願  
同理事  
審查特別委員長

齋 藤 圭 次君  
山 田 東 次君

質屋取締條例改正法律案  
審查特別委員長  
同理事

今 井 磯 一 郎君  
東 尾 平 太 郎君

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)  
明治二十七年勅令第四十一號ニ關スル質問書

一 本年勅令第四十一號日布條約ニ關スル規定中領事裁判權ヲ撤去シ内地雜居ヲ許シタルハ日布兩國政府間ノ合意ニ依レルモノナルヤ將タ然ラサルヤ又内地雜居ハ領事裁判權撤去ノ條件トシテ許シタルモノナルヤ將タ領事裁判權撤去ノ結果トシテ之ヲ許シタルモノナルヤ其手續及理由如何

二 内地雜居ヲ許スト否トハ我國ノ權内ニ在リ然ルニ第四議會上奏ノ趣旨ニ基ケル稅權ノ回復ヲ爲サ、ルノミナラス何等ノ制限ヲ設ケスシテ直チニ内地雜居ヲ許シタルハ如何ナル理由ニ依ルヤ

三 内地雜居ヲ許スニ就テハ條約又ハ國法ニ依ルヲ當然ナリト信ス然ルニ勅令ヲ以テ之ヲ許シタルハ其理由如何  
右議院法第四十八條ニ依リ及質問候問速ニ答辯アラントヲ望ム

提出者 野出鎬三郎  
贊成者 河 島 醇  
外三十八名

○議長(楠木正隆君) 是ヨリ會議ヲ開キマス——二百六番

(野出鎬三郎君演壇ニ登ル)

○野出鎬三郎君(二百六番) 諸君、私ハ明治二十七年勅令第四十一號ニ關スル質問書ヲ提出致シマシタメニ、斯ク貴重ナル問題ヲ議スルニ當リテ此實

問ヲ致シマスルノハ實ニ已ムヲ得ナイタメデゴザイマス、諸君モ御承知デゴザイマセウガ、本年勅令第四十一號ト申シマスルモノハ彼ノ明治四年七月

セメケレドモ、併ナガラ此布哇ト日本トノ裁判權撤去ノタメニ内地雜居ヲ許シタト云フコトガ他ノ歐米各國則チ此最惠國條款ヲ以テ他ノ國ニ例ヲ取ラレマシタナラバ、實ニ重且ツ大ト言ハナケレバナラナイ事柄デアルト考ヘマス、而シテ此外外交問題ニ付イテ當時隨分此天下ノ有志間ニ於テ轟々タル所ノ場合ニ當リマシテ、勅令第四十一號ヲ以テ布哇國ノ裁判權ヲ撤去シテ内地雜居ヲ許シマシタルコトハ果シテ如何ナル政府ガ考デアッタカ、果シテ

斯様ナル必要ガアツタノデゴザリマセウカ、吾々ガ考ヘル所ニ依レバ是ハ他ノ歐米各國ト條約ヲ爲ス所ノ試驗的ノ勅令デハナイカト云フコトヲ怪ムモノデゴザリマス、デ質問書ノ趣旨ハ都合三項ニ別ツテゴザリマスガ、第一項ハ

「本年勅令第四十一號日布條約ニ關スル規定中領事裁判權ヲ撤去シ内地雜居ヲ許シタルハ日布兩國政府間ノ合意ニ依レルモノナルヤ將タ然ラサルヤ又内地雜居ハ領事裁判權撤去ノ條件トシテ許シタル者ナルヤ將タ領事裁判權撤去ノ結果トシテ之ヲ許シタルモノナルヤ否ヤ其手續及理由如何」此第一項ノ質問

ハ都合二點ニ別ツテゴザリマス、一ハ領事裁判權ヲ撤去シテ内地雜居ヲ許シタルコトハ日布雙方ノ政府ノ間ニ於テ合意ニ依リテ之ヲ許シタルモノナルヤ否ヤ、其手續及理由ヲ聞キタイノデゴザリマス、二ハ内地雜居ヲ許シタルノ結果トシテ之ヲ許シタルモノナルヤ否ヤ、其ノ理由ヲ聞キタイト云フコトデアリス、而シテ此勅令第四十一號ハ或ハ條約ヲ改正シ、則チ日布ノ條約ヲ改正シ

テ裁判權ノ撤去ヲ爲シタルノデアルヤ否ヤト云フ疑ヲ抱ク者モ或ハアルカモ知レマセウケレドモ、併ナガラ條約ノ改正ト申シマスモノハ我憲法ニモゴザイマス通り 天皇陛下ノ批准ヲ經テサウシテ之ヲ公布スル者デゴザリマス、而シテ此勅令第四十一號ト云ヒマスモノハ 天皇陛下ノ批准ヲ經テモノデナイ

天皇陛下ノ裁可ヲ經テ勅令トシテ出タモノデゴザイマス以上ハ條約ノ改正ト見ルコトハ出來ヌ、又今日マデ條約改正ニ依リテ 天皇陛下ノ批准ヲ經タ

モノハ澤山ゴザイマスガ、是等ハ何レモ勅令トシテ出タモノデハナイ、單ニ公布トシテ出テ居リマス所ニ依レバ、此勅令第四十一號ト云フモノハ決シテ

條約改正ノ結果ヨリ出タモノト見ルコトハ出來ヌノデゴザリマス、併ナガラ彼明治二十五年中ニ政府ガ勅令第六十四號ヲ以テ葡萄牙政府ト締結スル所ノ

條約中裁判權ノ撤去ヲ公布シタルコトガゴザリマス、此葡萄牙則チ葡萄牙政府ト締結シタル所ノ領事裁判權撤去ト同一ナルモノデアアルヤ否ヤ、葡萄牙ノコトハ吾々ガ竊ニ聞ク所ニ依リマスレバ、領事ノ撤去ヨリ則チ彼ハ領事裁判權

ヲ取消シタモノト認メテ、其裁判權ニ關スル條款ハ自今無効ト云フコトヲ公布シタト云フコトニ聞イテ居リマス、併ナガラ此日布條約ニ關スル裁判權ノ

撤去ハ果シテ彼布哇國ガ其裁判權ヲ拋棄シタルモノデアアルヤ否ヤ、若シ是ガ

拋棄シタモノデナクシテ、或ハ日本政府ヨリ布哇政府ニ照會シ、布哇政府ガ

此裁判權撤去ヲ承認シタモノトシタナラバ、其裁判權ノ撤去ヲ承認シタコトニ附イテ内地雜居ヲ許シタルト云フコトハドウ云フ譯デアアル、則チ彼ハ裁判權ノ撤去ヲ甘諾シタナラバ、甘諾シタルト云フコトヲ公布シテ足ルコトデアアル、然ルニ之ニ裁判權ノ撤去ヲ甘諾シタルト云フコトニ付イテ内地雜居ヲ許シタルト云フコトハドウ云フコトデアアルカ、則チ此内地雜居ノコトハ果シテ裁判權撤去ノ交換的トシテ之ヲ爲シタルモノデアアルカ否ヤ、斯様ナルコトヲ政府ニ質問致スノデゴザリマス、而シテ内地雜居ヲ許スト許ササルトハ固ヨリ我國ノ權

内ニ在ルコトデアアル、然ルニ彼ハ裁判權撤去ヲ若シ承諾シタモノトスルナラバ、之ニ易フルニ内地雜居ヲ許シタト云フコトハ殆ド其理由ノ在ル所ヲ知ルニ苦シム次第デアアル、故ニ此内地雜居ヲ許シタコトニ就イテハ果シテ領事裁判權撤去ノ交換トシテ之ヲ許シタモノデアアルカ否ヤト云フコトヲ第一ニ質問ヲ致ス次第デアリマス、ソレカラ第二ニハ「内地雜居ヲ許スト否トハ我邦ノ權内ニ在リ然ルニ第四議會上奏ノ趣旨ニ基ケル稅權ノ回復ヲ爲サ、ルノミナラス何等ノ制限ヲ設ケスシテ直ニ内地雜居ヲ許シタルハ如何ナル理由ニ依ルヤ」是ガ第二ノ質問ノ要點デアリマス、此第四十一號ノ勅令ヲ見マシレバ「明治四年七月四日布哇政府ト締結シタル條約中領事裁判權ニ關スル規程ハ自今無効ニ歸シタルモノトス」是ハ吾々ガ誠ニ喜ブ所デス、而シテ其文章ニ繼續シテ斯様ナコトガアル「因テ自今布哇國民ハ現在施行シ及ヒ將來施行スル法律命令ノ範圍内ニ於テ帝國内何地ニテモ往來居住シ其居住地ニ於テ家屋倉庫ヲ借受又ハ總テ適法ノ業務ヲ營ムコトヲ得」トアリマス、而シテ天皇陛下ノ裁可ヲ經タト云フ文ハ

朕布哇政府ト締結ノ條約中領事裁判權ニ關スル條件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

トゴザリマス、サウ致シマスト此裁可ヲ經タト云フノハ領事裁判權ニ關シテトハ裁可ヲ經タ中ニ包含サレテ居ルヤ否ヤ、而シテ吾々ガ第四議會ニ於テ條約改正ノコトニ就イテ上奏ヲ致シマス所ノ趣旨ハ如何デアザリマセウ、其止奏案中ニ斯様ナコトガゴザリマス「治外法權ノ撤去海關稅權ノ回復沿岸貿易ノ禁止國家ノ法律ニ屬スヘキ事件ノ拒絕等ニシテ對等條約ノ締結是ナリ」ト云フ上奏文ガゴザリマス、其理由中ニ則チ斯様ナコトガアルデアザリマス「治外法權ヲ撤去スルコト稅權ノ回復スルコト沿岸貿易ヲ禁止スルコト以上ハ則チ現行條約上改正ヲ要スル條款ナリ内地雜居ハ一般ニ外國人ノ自由ニ任スル北海道沖繩縣ハ特ニ區劃ヲ限定シテ之ヲ許シ其他ノ島嶼ハ一切之ヲ禁止ス土地ノ所有鐵道運河船渠造船所等ノ所有權及營業ハ之ヲ許サス以上ハ則チ國家ノ法律ヲ以テ隨意規定スヘキ條項ナリ」斯様ナルコトガ則チ吾々ガ第四議會ニ於テ上奏シタル所ノ趣旨デアリマセウ、而シテ此勅令第四十一號ヲ見マシレバ當ニ領事裁判權撤去ニ易フルニ内地雜居ヲ許シタルニ止マルノデアアル、而シテ稅權回復ト云フコトハ少モノナイデアリマス、稅權ハ彼ノ明治四年布哇政府ト締結シタル條約中最惠國條款ニ依リテ他ノ歐米各國ト同一ナル制限ニ準スルヨリ仕方ガナイデアアル、而シテ此稅權モ回復セズシテ内地雜居ヲ許シタト云フコトハドウ云フ譯デアアル、固ヨリ稅權ノ回復セズ内地雜居ヲ之ニ許サザルト云フコトハ言ヒマセメケレドモ、總テ此稅權ノ回復ヲスルガ如キハ最モ今日ノ吾々ガ希望シテ居ル所デアアル、又一日モ早クナサナケレバナラヌコトデアアル、然ルニ領事裁判權ニ易ヘルニ内地雜居ヲ許シタノミニ止マツテ稅權ノ回復ト云フコトガナラザルノミナラズ、其内地雜居ヲ許シタルニ何等ノ制限ヲ置カナイト云フコトハ最モ吾々ノ解スル所ニ苦シム所デアリマス、此制限ヲ置カナイト云フコトニ就イテハ或ハ斯様ナルコトヲ言ハレルカハ知レマセヌ、此勅令中ニ「現在施行シ及將來施行スル法律命令ノ範圍内ニ於テ」云々トアル、是ガ故ニ現行法律若クハ將來外國人ニ對スル所ノ法律ニ規定シテサウシテ、之ガ制限ヲ置ク以上ハ少シモ差支ナイ

デハナイカト云フ意見ヲ持ツテ居ル人ガアルカモ知レマセヌ、ケレドモ併ナガラ地所ノ所有權ノ如キハ最モ我法律ヲ以テ禁ジテゴザリマス、又營業ノ如キモ我法律ヲ以テ禁ジテゴザリマスルガ、若シ之ガ歐米各國人ノ如ク則チ資本ノ多クアル所ノ人デアッダナラバ、日本ニ來ツテ會社ノ株主トナリ、又ハ造船ヲ製造スルカ、或ハ專賣特許ヲ得ルトカ種々ナルコトヲ爲シタ場合ニ方ツテ、果シテ如何ニアラウ、我國ノ利害ハ果シテ如何ニアラウ、私設鐵道條例ニ依リマスレバ、外國人ガ鐵道ノ株主トナリ、鐵道ノ營業人トナルコトハ禁ジテナイデアリマス、會社法ニ依リマスレバ外國人ガ會社ノ株主トナリ、會社ノ社員トナルコトハ禁ジテナイデアリマス、或ハ工業會社ガ起キテ其工業會社ノ株主若クハ社員トナツタ場合ニハ如何デアラウ、斯様ナルコトハ則チ第四議會ニ於テ吾々ガ上奏シタル所ノ趣旨ニ反ク所ノコトデアアル、則チ第四議會ニ於テ「土地ノ所有鐵道運河船渠造船所等ノ所有權及營業ハ之ヲ許サス」トアル、則チ鐵道ヲ敷設スルニ就イテハ、土地ノ所有、家屋ヲ所有スルコト云フ必要ガゴザリマセウ、又營業條例ニ依レバ外國人ニハ營業ヲサセナイト云フコトハ明記シテゴザリマセウ、併ナガラ前申シタルガ如ク會社ヲ建テ、其會社ノ株主トナリ、サウシテ之ヲ營業ム場合ニハ如何デアアル、則チ此第四議會ノ上奏ノ趣旨モ此等會社ノ株主、或ハ會社ノ社員トナルコトハ自ラ禁ズルト云フ所ノ意味ヲ以テ上奏シテアル、則チ此理由書中ニ其意味ヲ含蓄シテアルト云フコトハ明デアラウト考ヘルノデアリマス、又船ノ西洋船ノ製造ノコトニ就イテハ我國ニ何等ノ規定モナイ、唯明治二十五年中ニ遞信省ノ訓令ガゴザリマス、サスレバ外國人ガ内地雜居ヲ致シマスル曉ニ於テ船ノ製造スルコト云フコトハ日本ノ法律ニ於テ禁ジテナイト云フ以上ハ則チ彼ハ船ヲ製造スルコトノ權利ヲ日本人ト等シク有スルト云フコトニナルデアアル、斯様ナルコトヲ一々申シマシタナラバ澤山ゴザリマス、澤山ゴザリマスルガ、此等ノコトハ内地人ト同一ナル彼ガ權利ヲ有スルモノト見ナケレバナラヌモノデアアル、而シテ其事ガ他日害ガアルナラバ、此四十一號ノ勅令ノ文ニ在ルガ如ク將來施行スル法律命令ヲ以テ之ヲ禁ズルコトガ出來ルト云フコトヲ云フ人ガアルカハ知リマセメケレドモ、凡ソ外國人ト內國人トヲ問ハズ既ニ或ル營業ヲ許シ、或ル事柄ヲ許シテアツタ以上ハ、漫リニ法律ヲ以テ其權利ヲ奪フト云フコトハ出來ナイデアラウト思フ、縱シ此權利ヲ奪フトガ出來ルモノト假定致シマシテモ、其損害ト云フモノハ則チ政府ガ辨償シナケレバナラヌモノデアラウト思フモノデアアル、又第四議會上奏ノ趣旨ノ中ニ北海道沖繩縣ノ如キハ或ル土地ヲ限ツテ内地雜居ヲ許シ、或ル土地ヲ限ツテ内地雜居ヲ許サヌト云フコトヲ上奏シテアル、又其他ノ島嶼ト云フモノハ一切雜居ヲ禁ズルト云フコトヲ上奏シテアルノデアリマス、而シテ此勅令ニ依レバ「帝國内何地ニテモ往來居住シ其居住地ニ於テ家屋倉庫ヲ借受ケ又ハ總テ適法ノ業務ヲ營ムコトヲ得」トアル、北海道沖繩縣其他ノ島嶼ニ於テモ亦之ヲ禁ジテナイデアリマス、サスレバ此第四議會ニ吾々ガ上奏シタル所ノ趣旨ニ悖リタル所ノ此勅令デアルト吾々ハ考ヘルノデアリマス、以上ハ則チ第二ノ質問ノ趣旨デアリマス、ソレカラ第三ニハ「内地雜居ヲ許スニ就イテハ條約又ハ國法ニ依ルヲ當然ナリト信ス然ルニ勅令ヲ以テ之

ヲ許シタルハ其理由如何」是ガ第三ノ質問ノ要點デゴザイマスルガ、固ヨリ内地雜居ヲ許スニ就イテハ何ニ依ルト云フコトハ憲法中明ニ記載シテゴザイマセム、然レドモ憲法第九條ニ據リマスレバ

天皇ハ法律ヲ執行スル爲ニ又ハ公共ノ安寧秩序ヲ保持シ及臣民ノ幸福ヲ増進スル爲ニ必要ナル命令ヲ發シ又ハ發セシムトゴザイマス、此憲法第九條ニ據リマスレバ、一ハ執行命令ヲ發セシメ、一ハ獨立命令ヲ發セシメ、一ハ委任命令ヲ發セシム、即チ此三箇ノ命令ヲ發スル場合ヲ規定シテゴザイマス、而シテ此但書ニ依レバ

トゴザイマス以上ハ此命令ヲ以テ法律ヲ變更スルコトハ得ナイ、此裏ヲ申シマシタナレバ法律ヲ以テ命令ヲ變更スルコトヲ得ルト云フ結果ニナルノデゴザイマス、而シテ此内地雜居ノコトハ如何デアアルカ、勅令ヲ以テ一旦内地雜居ヲ許シテ其曉ニ法律ヲ以テ此内地雜居ヲ許サヌト云フコトガ出來ルヤ、又吾ガ第四議會ニ上奏致シタル上奏ノ趣旨ハ、即チ内地雜居ニ關スルコトハ法律ヲ以テ之ヲ制定スルコトヲ申シテアルノデゴザイマス、政府ガ此上奏案ニ依テ法律ヲ以テ是等ノコトヲ制定スルノガ當然デアリマス、又内地雜居如キハ國ノ大ナル關係ヲ有スル事柄デアアル、故ニ内地雜居ヲ許スニ就イテハ或ハ場合ニ依テ條約ヲ以テ締結スルノ必要モゴザイマセウガ、成ルベクハ斯ノ如キハ法律ヲ以テ規定スルガ當然デアアルト吾ハ信ジテ居ルノデゴザイマス、然レニ政府ハ第四議會ニ於テ法律ヲ以テ制定スベシトノ上奏ノ趣旨アリマス、拘ラズ勅令ヲ以テ斯ノ如キモノヲ則チ内地雜居ヲ許スト云フコトニナリマシタト云フハ如何ノ譯デアアルカ、頗ル吾ハ了解ニ苦ム次第デアリマス

(「ア、——」ト云フ者アリ)故ニ此三箇ノ要點ヲ政府ニ質問致スノデアアル、政府ハ此質問ニ對シテ明細ナル所ノ答辯アラムコトヲ望ム 次第デアリマス、甚ダ……

○議長(楠本正隆君) 小松三省君

(小松三省君演壇ニ登ル)

○小松三省君(二百九十九番) 本員ハ本日集會シマシタ請願委員會審査ノ結果ヲ御報告致スノデゴザイマス、本日ノ會議ニ於テ審査結了シマシタ所ニ依リマスレバ、請願事件ノ中デ院議ニ付スベキモノト決議シタノハ二件デゴザイマス、協力高ニ對シ公債證書下付ノ件一通、復祿ニ關スル件九通、是丈院議ニ付スベキモノト決議ヲ致シマシタ、院議ニ付スルヲ要セザルト決議シタノハ、ツレハ佩刀復古ノ件デゴザイマス、ツレガ二通、政府提出國事犯罪者ニ關スル法律案修正ノ件一通、室蘭港ヲ特別輸出港ニ定メラレタキ件一通、會議裁判ニ關スル件一通、復祿ニ關スル件一通、舞鶴鐵道ニ關スル件一通、外交條約ニ關スル件一通、是丈ハ院議ニ付スルヲ要セザルモノト決議致シマシタ、特別委員會ニ參考トシテ送付スベキモノト云フノ決議ヲ致シタノハ登記法改正ノ件一通、特別地價修正ノ件十六通、車稅則廢止ノ件五通、衆議院議員選舉法改正ノ件一通、信濃川流末改修ノ件二通、古物商條例改正ノ件一通、是ガ特別委員會ニ參考トシテ送付スルモノト云フノ決議ヲシタモノデアリマス、是丈ノコトヲ御報告ヲ致シマス

○議長(楠本正隆君) 是ヨリ日程第一ヨリ會議ヲ始メマス——朗讀

第一 國立銀行紙幣ノ通用及引換期限ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會 (町田書記官朗讀)

第一條 國立銀行紙幣ノ通用期限ハ明治三十二年十二月九日迄トス 第二條 國立銀行紙幣ヲ所持スル者ハ前條期限滿期ノ翌日ヨリ起算シ滿五箇年內ニ其ノ引換方ヲ政府ニ請求スヘシ 前項ノ引換期限ヲ過キ尙引換ヲ請求セザルトキハ總テ所持人ノ損失トス 第三條 本法ハ官命又ハ平穩鎖店ニ係ル國立銀行發行ノ紙幣ニハ之ヲ適用セス

○議長(楠本正隆君) 田尻稻次郎君 (政府委員大藏次官法學博士田尻稻次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(田尻稻次郎君) 唯今提出ノ國立銀行紙幣ノ通用及引換期限ニ關スルノ法案デアリマスルガ、是ハ則チ國立銀行ノ紙幣ノ通用ニ係ル時効ヲ規定スルモノデアリマシテ、今日御承知ノ通りニ鎖店銀行ニ係ルモノハ現行ノ國立銀行條例ヲ以テ各々規定シテアリマス、ケレドモ此滿期ノ時ニ及ンデハ少シモ其規定ガナイノデゴザイマス、然ルニ御承知ノ通りニ段々滿期ニモ迫ッテ參リマスルシ、而シテ此滿期ニナルトキハ私立銀行トシテ繼續スルト云フコトノ方法モ唯今此議院ニ提出シテアル位ノコトデアリマス、ドウモ紙幣ノ時効ノ極メテ置キマセヌト他日非常ナ紛紜ヲ生ジ、又所有者ノ權利利益ト云フモノニ非常ニ關係ガ及ビマスカラ、今日ニ於テ此事ヲ規定シテ置クコトハ非常ニ必要ナルコト、思ヒマシテ、提出致シタ譯デアリマス、序ナガラ申上ゲテ置キマスルガ、政府發行ノ紙幣ト云フモノハ既ニ時効法ガ定メテアリマシテ、サウシテ其事ハ差支ガナクナッテ居マスガ、此度茲ニ提出シマシタノモ重モツレニ依リマシテ、此理由書ニモアリマスル通り明治二十三年法律第十三號ノ振合ヲ以テ定メタ譯デアリマスルカラ、ドウゾ速ニ審議ヲ遂ゲラレテ協贊ヲ給ハラントヲ希望致スノデアリマス

○佐々田懋君(百二十九番) 此本案ニ就キマシテハ御說明ノ廉ハ了解致シマシタガ、此引換ノトキニ際シテ或ハ燒失ノ紙幣若クハ紛失ノ紙幣トカ云フ銀行紙幣ノ紛失、若クハ燒失致シタト云フ不足紙幣ノ益金ハドコノ收益ニスル積リデアリマスルカ、是ハ國庫ニ收入スベキモノデアアルカ、或ハ又銀行ノ收入ニスベキモノデアアルカ、ドウ云フ收益ニスベキモノデアアルカ、其見込ハ如何デアリマス

○政府委員(田尻稻次郎君) 御答致シマスルガ、ツレハ此次ノ日程ニ提出ニナルベキ法案デ定メテ譯デアリマシテ、即チ政府ハ鎖店銀行ノ振合ニ倣ヒマシテ、サウシテ銀行條例ノ百十二條ト云フモノニ據リマシテ滿期ニナッテ、サウシテ銀行ガ引換ニ應ゼヌ紙幣ダケト云フモノニ對シテ基金ト云フモノヲ銀行ヨリ徵シマシテ、ツレデ以テ特別會計ヲ拵ヘテ其特別會計ノ基金ヨリ償還シテ行ク積リデアリマスカラ、此時効ニ係ラヌモノデアリマス、特別會計ノ基金ニ向ッテ請求ノナイ分ハ自カラ政府ノ所有ニ歸スルト云フコトニナルノデス

○佐々田懋君(百二十九番) 政府ノ純益ニ歸スル分デスカ……モウ少シ明瞭ニ……

○政府委員(田尻稻次郎君) 是ハ明瞭ノ最上ト思ヒマスガ(笑聲起ル)特別會計ト云フモノヲ玆ニ押ヘマシテ

○佐々田懋君(百二十九番) 政府ノ所有ニ...  
○政府委員(田尻稻次郎君) 政府ノ所有ニ歸スルノデス  
○議長(楠本正隆君) 御質疑ガナケレバ議事日程ノ第二ニ移リマス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
○田中源太郎君(二十八番) 是ハ前ノ營業滿期國立銀行處分法案ノ委員ニ任セル積リ...

(贊成々々)ノ聲起ル  
○議長(楠本正隆君) 二十八番ノ動議、最前選定致シタル銀行ノ法律案ニ關スル委員ニ付託シタイ云フコトニ御異議ガゴザリマセヌカ  
(異議ナシ)ノ聲起ル

○議長(楠本正隆君) 御異議ガナクバ可定セラレタモノト致シマス—次ハ第三ニ移リマス  
第三 明治二十三年法律第二十五號中追加  
法律案(政府提出緊急事件) 第一讀會

明治二十三年法律第二十五號銀行紙幣交換基金特別會計法第四條ノ次ニ左ノ一條ヲ追加ス  
第五條 本法ハ平穩鎮店ヲ爲シ又ハ營業滿期ニ至リタル國立銀行紙幣交換基金ノ會計ニモ之ヲ適用ス

(政府委員大藏次官法學博士田尻稻次郎君演壇ニ登ル)  
○政府委員(田尻稻次郎君) 唯今ノ提出案ニ就イテ一寸説明ヲ致シマスルガ、併シ是ハ既ニ前ニ略々説明ヲ致シ置キマシタカラ長イコトハイラヌト思ヒマスガ、則チ此二十三年ノ法律第二十五號云フモノハ銀行條例ノ第九十八條ニ據テ鎮店サレタル銀行則チ是ハ官命鎮店デゴザリマス、其銀行ノ發行シテ居ル紙幣ヲ處分スル方法ガアリマシテ、ソレハ是迄飯山ノ二十四銀行ヲ初トシテ鎮店ヲ命ゼラレタ銀行ガゴザリマスカラ、既ニ今日特別會計ヲ拵ヘテ則チ會計法ニ據テ特別會計ヲ拵ヘテ、サウシテソレニ據テ特別會計法ノ出納法ト云フモノガアリマシテ、出納ヲヤツテ唯今居マシテ、既ニ飯山ノ如キハ今年ノ三月ニ時効ガ參ツタ、且ツ又其外ニ段々アリマスカラ、併シ此法律丈デハ九十八條ノ場合バカリガ規定シテアリマスカラ、今ノ滿期ノ時ノ處分ト云フモノハ少シモナイデアリマス、是ニハドウシテモ政府ハ基金ト云フモノヲ特別基金ヲ拵ヘテヤリマセヌト決シテ紙幣償却ハ一年度了リマセヌデ、唯今別ニ提出ニナリマシタヤウニ時効ガ一番終リノ銀行ヨリシテ先ニ五年モ延バサウト云フノデアリマスガ、ソレダケ繰返シテ往カウト云フ必要ガアリマスカラ、ドウシテモ特別會計ノヤウニイキマセヌカラ、幸ニ九十八條ニ對スルノ特別會計ト云フモノガ設ケラレテアリマスカラ、此法律ニ是丈ノ追加ヲ致シマシテ、サウシテ滿期ノ時モ是迄ノ取扱ノヤウニシテ、サウシテ國ガ此紙幣ノ世話ヲヤイテ終リテ全ウセシムルト云フコトニシテ、サウシテ此基金ノ殘ルモノハ即チ國ノ所有デアリマスカラ、唯今申シマシタ通り散失高ハ則チ國ニ屬シテ以テ他ニ參ラヌノデアリマス、序ナガラ申シテ置キマスカ、此法案ハモウ一ツノモノヲ含ンデ居リマシテ、是迄ノ法律ハ九十八條ダケノモノデ平穩鎮店ト云フコトガ規定シテアリマセヌカラ、ソレモ序デナ

ガラ今度ハ此度提出ニ成リマシタ法案ヲ以テ規定ヲシテ、是デ銀行紙幣ノ始末ト云フモノガ全ク完全ニナルノデアリマスカラ、ドウゾ速ニ協贊ヲ給ハラムコトヲ希望致シマス  
○村山龍平君(百五十九番) 一寸伺ヒタイ、明治三十二年十二月九日ト云フコトヲ定メラレタノハ是ハ銀行營業者ノ最終ノモノデアリマスカ  
○政府委員(田尻稻次郎君) 左様デス  
○村山龍平君(百五十九番) サウ致シマスルト、是ヨリ早く營業期限ノ終ルモノガ澤山アラウト思ヒマス、ソレ等モ矢張此十二月九日以後滿期五箇年ノ引換期限ト云フ御考デアリマスカ  
○政府委員(田尻稻次郎君) 左様  
○村山龍平君(百五十九番) サウシマス早ク鎮店シタルモノト最終ニ鎮店シタモノト餘程違ヒマスナ、餘裕ガ

○政府委員(田尻稻次郎君) 違ヒマスガ、御承知ノ通り此國立銀行紙幣ハ十六年ノ合同償却以來斷シテ一般ニナツテ居ル、ソレデ別々ノ取扱ヲスルコトハ出來マセズ、且ツ又別々ニ百三十三バカリモアル銀行ノ紙幣ノ流通期限ト時効ト云フモノヲ各々別々ニナルトキニハ懷ニ百圓入レテアル、所デ其一枚ノ紙幣ガ盡ク流通期限ト時効トガ區々違ツテ來レバ非常ナ不便ヲ生ジテ來マスカラ、是ハドウシテモ此合同償却ノ精神ヲ押詰メテ一様ニシナケレバ逆モイカヌト云フ精神デアリマス  
○村山龍平君(百五十九番) 了解致シマシタ  
○議長(楠本正隆君) 第四ニ移リマス

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉  
○田中源太郎君(二十八番) 前ト同様  
(贊成々々)ノ聲起ル  
○議長(楠本正隆君) 前同様ノ委員ニ付託シタイト云フコトニ御異議ガゴザイマセヌカ  
(異議ナシ)ノ聲起ル

第五 (丙)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案 第一讀會ノ續  
議長(楠本正隆君) 朗讀  
(町田書記官朗讀)

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法第七條中近畿豫定線比較線路ハ左ノ線路ヲ採ル  
一 京都府下京都ヨリ舞鶴ニ至ル線路  
○議長(楠本正隆君) 佐藤里治君  
(佐藤里治君演壇ニ登ル)

○佐藤里治君(二番) 此京都府下京都ヨリ舞鶴ニ至ル鐵道ハ之ヲ可ト致シマシタ理由ハ、此比較線ニハ土山線ト云フノガ御承知ノ通り此土山線ハ線路ハ極テ宜シイ線路デ、工費モ餘程安ク上ツテ居リマスガ、此京都舞鶴ト云フ方ニ對シマスルト第一方向ガ甚ダ宜シクナイ、ソレカラ哩ガ延ビテ居ル、抑、舞鶴ニ至ル、舞鶴ト云フ處ニ重キヲ置キ、此軍港ト云フ點カラ割出シテ見

衆議院議事速記第八號 明治二十七年五月二十四日 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 明治二十三年法律第二十五號中追加法律案 第一讀會ノ續 一八一

マスト、ドウシテモ此起點ハ京都ニスルガ相當ナル、是ハ既ニ此土山線ト云フ方ノ線路ニ對シマシテハ既ニ此京都舞鶴ガ相當ナルト云フコトハ輿論ノ御認メニナリテ居ル所ト考ヘマスカラ、喋々ハ要セヌコト、存ジマス

○議長(楠本正隆君) 百二十一番西村真太郎君

○西村真太郎君(百二十一番) 茲デヤリマセウカ

○議長(楠本正隆君) 御登壇

(西村真太郎君演壇ニ登ル)

○西村真太郎君(百二十一番) 私ハ此議案ニ對シテ第七議會マデ之ヲ延期シタイト云フ意見ヲ有スルモ、デゴザリマス、ナゼ之ヲ延期シタイカト云ヘマスルニ、凡ソ此比較線路決定シマスルニハ工事ノ難易ト、費額ノ多少ト、又勾配ノ緩急ト、純益ノ多少ト、此四ノ決定ニ對スル要素ガアルシヤラウト考ヘル、此四ノ要素ニ對シテ果シテドレガ工事中デ易イカ、工費ガ安イカ、勾配ガ緩ナルカ、純益ガ多イカト云フコトヲ見テ、其方ヲ採ルベキモノダラウト考ヘマス、今此工費ノ點ヲ言ヒマスレバ御承知ノ如ク京鶴線ハ三百七十七万圓餘イルノデゴザリマス、土鶴線ハ二百五十九万圓デ仕上ガル、費款ノ上ニ於テ三分ノ一ヲ減シルコトガ出來ル、又勾配ノ上カラ言ヒマスレバ一方ハ六十分ノ一ノ勾配ナル、土鶴ノ方ハ八十分ノ一ノ勾配ナル、餘程緩デアル、而シテ純益ヲ方カラ言ヒマシテハ、又同ジク土鶴ノ方ガ純益ガ多イデアル、隨道ノ事ヲ云ヒマスレバ、隨道ハ土鶴ノ方ハ僅ニ四百二十一尺、一方ハ六千六百モアル、此位比較上賭易イモノハナイノデアル、此最モ賭易イ所ノ土鶴ノ方ヲ採ラズシテ京鶴ノ方ヲ採ラズタト云フコトハ實ニ本員ノ不審ノ堪ヘヌ譯デア、何ガタメニ土鶴ヲ採ラズシテ京鶴ヲ採ラズタト云フコトヲ詮議シテ見ル、或ハ鐵道同志會ナルモノガ起キテツレニ這入ツテ居ルコトカ、或ハ鐵道會議ノ上ニ其又運動者ガ心易イモノガアルト云フヤウナ所カラ運動ガ甘クイタ結果デハナイカト云フ考ガアル、凡ソ此國家ノ上ニ鐵道ヲ敷クノニ運動ノ利キ目ニ由ツテ之レガ成リ之ガ成ラズト云フコトハ甚ダ以テ我輩ノ不審ニ堪ヘヌ所デア、斯ノ如クシテ此問題ヲ議シヤウト言ハハ實ニ國民ノ義務ト云フモノハ盡スコトガ出來マセヌ、因テ先ツ之ヲ今一期間則チ第七議會マデ之ヲ延期致シマシテ(の)其間ニ公平ニ愈、以テドレガ善イカト云フコトヲ尙ホ調ベタイト云フ考デアリマス、因テ本員ハ之ヲ第七議會マデ延期セシコトヲ希望シマス

○田中正造君(百六十一番) 政府委員ニ質問致シマス、鐵道ニ關係ノ委員ハ出テ居ルデゴザリマス、私ハ鐵道ノ事ハ最モ不案内デア、殆ド原案スラ以テ手ニ取ルコトハナイ位デア(笑聲起ル)併ナガラ耳ニ聞及ンダコトヲ番外ニ之ヲ質問スルト云フコトハ是ハ出來ルノデア、一體此度ノ鐵道ノ案ト云フモノハ先ツ之ヲ假ニ私設鐵道ノ調査ニ比較シテ見ルトキニハ、非常ニ金高ガ多イ、一口ニ申セバ、ケレドモ是ハ豫算ト云フモノヲ議ス時ニ當ツテ調査スルカラ、今此處デ之ヲ彼是申スコトノ必要ハアルト云ヘバアル、無イト云ヘバ無イ位ノモノデア、此甚ダ聞イテ聞棄ニナラヌト云フモノハ、彼ノ望月ト云フ人間、彼ノ望月右内ト云フ人間ハ何ノ用ガアツテ鐵道會議ニ出ルノデア、是ハ陸奥外務大臣ノ相續人デア、カラ色々頼マレタ縁故ト色々場合ガアルダラウガ、何ノ用ガアツテ鐵道會議ニ出席スルノデア、此望月ト云フ人ガ甲ノ線路ト乙ノ線路ト問ニ立入ツテ媒介シ

紹介シ、コチヲラ賛成スレバコチヲモ賛成スルト云フ媒人ヲシテ種々ナ惡計ヲ致シテ爲メニ私利ヲ營ンデ甚シキハ賄賂ヲ取ルト云フ道路ノ風聞ガ專デア、斯ノ如キ穢ラハシキ者ヲ此議場ニ持出スハ何ノ事デア、果シテ左様ナ事ナラバ由々敷一大事デア、果シテ此賄賂沙汰ト云フヤウナ事ハ道路ノ言ニ止ルノデア、若シ之ガ賄賂ト云フヤウナ事ガ無イナラバ、何ノタメニ此望月ト云フ人間ヲ無用ナ處ニ引摺出シタノデア、明瞭ニ答辯シロ(拍手起ル)

(政府委員遞信次官鈴木大亮君演壇ニ登ル)

○政府委員(鈴木大亮君) 唯今百六十一番ノ御尋ハ議事ニ上ツテ居リマス、問題ト關係ヲ爲サヌヤウニ思ヒマスカラ御答ヲシマセヌ

○議長(楠本正隆君) 田中君問題外デスカラ……

○田中正造君(百六十一番) 尙ホ答辯ガ分リマセヌ、拙者ハ鐵道ニ關係ナキ地方ノ議員デア、サナキダニ公平ヲ司ル拙者デア、殊ニ此鐵道ハ何レノ地方ニ敷カレヤウト此原案ニ就イテハ關係ガナイ、故ニ斯ノ如キ穢キコトヲ聞ケバ飽マデ之ニ就イテ質問シナケレバナラヌ、サウシテ我帝國ノ神聖ヲ保タナケレバナラヌ、議會ノ神聖ヲ保タナケレバナラヌ、從來ノ政府ナラバ斯ノ如キ事ヲシテモ

○議長(楠本正隆君) 田中サン、田中サン

○田中正造君(百六十一番) 此議員ガ實業上工業ニ關イ者ガ多イノ奇貨トシテ

○議長(楠本正隆君) 田中サン、田中サン

○田中正造君(百六十一番) 今ノ政治家

○議長(楠本正隆君) 田中君田中君

○田中正造君(百六十一番) 今ノ議場ノ政治家ト云フモノハ責任内閣論、藩閥攻撃ノ腦髓ガアツテ此實業ノ方ニ至ツテハ短所デア、茲デ一ツ錢儲ヲシナケレバナラヌ、茲ガ金儲ノ仕時、……ヤル時節デア、ト云フ所ヲ謀テ其位ノコトガ今日ノ人間ガ見エナイト思ツテ居ルノカ、汝等之ヲ笑ツテ聽イテ居ル、俗吏等、汝等ハ之ヲ笑ツテ聽イテ居ル、……ハ之ヲ笑ツテ居ルノデア、汝等ハ昨晚紅葉館ニ往ツテ此鐵道ニ關係ノ奴等ニ酒ヲ飲マセラレタト云フヤウナ小サイコトヲ云フノデア、汝等……ヲスル奴ノ攻撃ヲヤルノダゾ

○議長(楠本正隆君) 特別ニ左様ナ質問ニナラヌヤウニ——此場合デハ眞ニ問題外(採決々々)ト呼フ者アリ(笑聲)

○岡田逸治郎君(八十五番) 私ハ此委員長佐藤君ニ質問ヲ致シマスカラ御答ヲ請ヒマス、曩ニ此案ニ對シテ番外ノ説ヲ聽キマス、土鶴鐵道ノ方ヲ採リマスレバ工費モ僅ニシテ又利益モ多イ、斯ウ云フコトヲ總テ此方ガ餘程宜イト云フコトヲ申サレシタガ、ツレニモ拘ラバ此案ヲ可トセラレマシタ、理由ハドウ云フ調査ノ結果デアリマス、其事ヲ承リマセヌト甚ダ贊否ニモ苦ミマスカラドウ御答辯ヲ願ヒマス

○議長(楠本正隆君) 佐藤君

○佐藤里治君(二番) 唯今ノ御尋ニ就イテ御答ヲ致シマスガ、成ル程工費モ安ク、線路モ宜シイト云フコトハ前段述ベマシタ通り、然ルニ此起點ヲ京都ト

云フコトニ定メマシタモノハ此第二期線路ノ山陰縱貫線ト云フモノガ加ッテ居リマス、是ハ詰リ和田山ノ方カラ鳥取ノ方ヘ越エマシテ濱田、馬關ト云フコトニ縱貫線ガ廻ッテ居リマス、此過日縱貫線ヲ造ル所ノ起點ハ何所ニスルカト云フ大體ノ上カラ觀察ヲ下シマス、ドウモ此京都ト云フ所ハ極ク適當シテ居ル起點ナリ、山陰縱貫線ヲ造ルノ起點ハ京都ト云フ土地ガ適當デアルト判断ス下シマシタ、ソレガタメニ山陰縱貫線ノ起點ハ京都ガ相當デアルト見マス、舞鶴ヘ廻リマスレバ福知山カラ和歌山ヘ參ルニモ、鳥取ノ方ヘ參ルニモ矢張縱貫線ヲ造リマスニハ矢張京都舞鶴ヲ國家ガ採ルノガ將來ノタメ適當デア、土山ト云フ所ハ御承知ノ通り極テ邊鄙ノ一小村落ニテドウモ其將來山陰縱貫線ノ起點トシ、又舞鶴ノ軍港ヘ聯絡ヲ附ケルニモ大ニ不適當ト認メルト云フコトニ御承知ヲ願ヒマス

○守屋此助君(百十二番) 政府委員ニ質問ガアリマス、此京都カラ舞鶴ニ行ク鐵道ハ此會議ヲ可決ニナレバ豫算案トシテ此法案ヲ政府ハ出スノデアリマス、出サヌノデアリマス

(政府委員遞信省鐵道局長工學博士松本莊一郎君演壇ニ登ル)  
 ○政府委員(松本莊一郎君) 百十二番ニ御答ヲ致シマスガ、是ハ既ニ今日ノ議事日程ニモ上ッテ居リマス私設鐵道會社ニ敷設ノ許可ヲ與ヘルノ法案ガアリマスガ、アノ中ニ這入ッテ居リマスモノデアリマシテ可決ニナリマシタナラバ、諸君ノ協賛ヲ經テ之ヲ私設鐵道會社ニ敷設ノ許可ヲ與ヘル積リデアリノデゴザリマス

○守屋此助君(百十二番) 私設ニ許スノガ政府ノ考デアリマス

○政府委員(松本莊一郎君) 左様デス

○加藤平四郎君(六十九番) 私ハ此京鶴線ト云フモノハ元來贊成シテ居ルノデスカラ、近日ノ景況ノ如何ニ拘ハラズハ線路ノ撰擇ノ上カラ贊成シマスガ、今ノ御答辯ニ此案ハ私設ノ計畫ガアルト云フコトハ勿論聞イテ居リマス、其私設ノ計畫ガ近來澤山アル中ニハ唯比較線ノ決定ノ際ニ競争ノ點カラ勢力ヲ附ケヤウト云フタメニ唯無責任ニ私設ノ名ヲ以テ計畫シタリ通過シタリスルト云フ部類ガアルト聞イテ居リマスガ、其分ニ就イテ私設ノ計畫モ勿論確トシタモノデアルト信ジマスガ、政府モ果シテ此線路ガ決定シタ以上ハ私設ノ計劃ナラズバ據ナク官設ニスルト云フコトハ他日アルト云フ位ノ御見据ガ付イテ居リマス

○政府委員(松本莊一郎君) 御答致シマスガ、素ヨリ正當ノ手續ヲ經テ出願ヲ致シテ居リマスモノデアリマシテ、而シテ其線路ガ出來上リマシテモ相當ニ維持スルコトヲ得ルノ見込モアリマスカラ、勿論出來ルモノト信ジテ居リマス

○望月右内君(二百七十五番) 此場合、一言、誠ニ必要ナコトガアリマス、先刻田中君ノ發言デアッタカト思ヒマス(無用々々)ト呼フ者アリ)別シテ是ハ此議會ガ無用視シ行ク譯ニ往クマイト思ヒマス、果シテ田中君ガ言ハレタ其事實デ此議會ノ中ニ盜賊ガアルナラバ、是ハ皆ガ取糺サナケレバナラヌモノデアリマス、是ハ望月右内一個ニアラズシテ、此望月右内モ議員ノ一人トシテ糺サナケレバナラヌト思ヒマス、是ハ果シテ發狂シタルニアラズシテ本氣デ田中氏ガ言フタストレバ糺サナルヲ得ヌト思ヒマス、然ラサレバ今日ノ

鐵道案ヲ審議スルニ當ッテドウ云フ心持ヲ以テ此議員ハ討議ヲナサレマス、此言ガ此議會ニ活キテ居ル以上ハドウシテモ此鐵道案ガ通過スルコトガ出來マセウ、盜人ニ依ッテ成立ッテ居リマスレバ是ハ正當ノ道ニ依ッテ成立ッタモノデアリマセウ、是ニ就イテ議長ハ如何ナル處置ヲ爲サレマスカ(演壇ニ登リ給ヘ)ト呼フ者アリ)別ニ是ハ演壇ニ登ラナクテモ議長モ御聽取リニナッタコトデゴザリマスカラ、議長ノ處置ヲ煩ハシマス(演壇ニ登ッテ堂々トヤルベシト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 議長ハ少シク穩カナラヌ事ガアルニ依ッテ速記録ニ於テ是等ノ如キハ削置クト云フコトヲ宣告致シマス

○望月右内君(二百七十五番) 速記録ヨリ除クコトニナル以上ハソレデ宜シ

○議長(楠本正隆君) 其事ヲ宣告シテ置キマシタ、西村貞太郎君ノ説ニハ贊成ガナイカラ原案ニ就イテ決ヲ採リマス

○元田肇君(百八十四番) 穩カナラヌ言葉ガアルカラ議事録カラ除クト云フノハ議長ノ一己ノ御處分デスカ

○議長(楠本正隆君) ドウモ穩カナラヌ、言葉ガ速記録ニ……

(議長ノ仰シタルコトガ分リマセウ)ト呼フ者アリ)又議長ノ言葉ガビ

○議長(楠本正隆君) 盜賊杯ト申ス事柄ハ速記録ヨリ除クト云フコトハ宣告シテ置キマシタ——決議ヲ採リマス、該案ニ對シテ二讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數

○田中源太郎君(二十八番) 直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ

○川上源一君(百五十七番) 直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

(贊成々々)ノ聲起ル)

○望月右内君(二百七十五番) 此場合ニ一寸私ハ一言申シマス、唯今ノ言ニ就イテ議長ノ處置ハ……

○議長(楠本正隆君) 此決議ヲ致シテカラ——二十八番ノ動議ノ直チニ二讀會ヲ開クベシト申ス、右ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數

○議長(楠本正隆君) 二讀會ヲ開キマス

(丙)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案(政府提出) 第二讀會

○議長(楠本正隆君) 異議ガナケレバ三讀會ヲ開クベキヤノ決ヲ採リマス

(異議ナシ)ノ聲起ル)

(直チニ二讀會ヲ)ト呼フ者アリ)贊成々々)ノ聲起ル)

(三讀會省略)ト呼フ者アリ)又贊成々々)ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 然ラバ議長ハ三讀會ヲ省イテ直ニ確定セラレタモノト認メテ宜シウゴザイマス

○議長(楠本正隆君) 然ラバ確定セラレタモノト致シマス  
 ○元田肇君(百八十四番) 唯今田中君ノ言ニ對シテ穩カナラヌ文字ガアレバ  
 議事録カラ除カウトカ、ドウトカ云フコトゴザイマシタガ、願ハクハ私ハ  
 サウ云フコトハ議場ニ諮フテ御處分ナサル様ニ願ヒタイト思フ  
 (贊成々々ノ聲起ル)

○議長(楠本正隆君) 百八十四番ニ御答ヘシマスガ、穩カナラヌ……泥棒杯  
 ト申ス様ナル穩カナラヌコトハ議事録ヨリ取消スト云フコトヲ申置キマシタ  
 ○元田肇君(百八十四番) ツレハ議長一己デゴザイマセウ  
 ○議長(楠本正隆君) 若シツレガ御不同意ナラバ、ドウカ御動議ヲ御出シナ  
 サルヤウニ

○望月右内君(二百七十五番) 議長——議長  
 ○元田肇君(百八十四番) 百八十四番ノ考ヘマスニハ田中君モ熱心ニ唯今申  
 サレマシタル以上ハ戲談ニハ言ハレヌダラウト信ズルノデアアル、果シテ然ル  
 以上ハ戲談ナラザルナラバ、眞面目ヲ以テ言フタノデアラウ、ツレハ議長ガ  
 餘リ穩カナラヌト云フノデ罵詈謗ニ等シイ文字ハ取除クト云フテハ甚ダ田  
 中君モ不満足ニ考ヘルデアラウト思フ、此事バカリナラバ宜シイガ、外ノ事  
 柄ニシテ斯様ナ場合ニ當ツテ穩カナラヌ言葉ガ動モスレバ議事録カラ除カレ  
 テ、議事録ガ變ツテ居ルト云フコトニナルト、吾々ハ遂ニ議事録ニ信用ヲ措  
 クコトガ出來ヌノデアアル(ひやく)「拍手起ル」ツレデ此際ニ當ツテハ議長ノ  
 處分ガ甚ダ穩當ナルカハ存ジマセヌガ、議長ハ議場ニ諮フテ議場ノ決議ヲ經  
 テ處分アラント後日ノタメニ建議シマス

(贊成々々ト呼フ者アリ)  
 (其位ニシテ置クガ宜イト呼フ者アリ)  
 ○野平穰君(二百二十三番) 議長——議長  
 ○駒林廣運君(百四十四番) 議長  
 ○望月右内君(二百七十五番) 議長——議長  
 ○議長(楠本正隆君) 一寸御待下サイ、暫ク取調ベルコトガアル——諸君、  
 議長ハ百四十條ニ據リ「議院法第八十七條ニ依リ議長取消ヲ命シタル發言ハ  
 速記録ニ記載セス」斯ノ如キ條項ガゴザイマシタルニ依ツテ、此中ニ右等ノコト  
 モアルト心得マシタガ、サリナガラ田中君ノ意見ガ御不満足デアレバ更ニ動  
 議ヲ起シテ意見ヲ述ベテ頂戴ヲ致シタイ、唯議長ハ之ニ依ツテ掲載ヲ止メマ  
 シタ

○石田貫之助君(百八十五番) 唯今ノ條項ハ發言者ニ議長ガ取消ヲ命シタル  
 時ニ適用スルノデアアル、議長ハ本人ニ取消ヲ命シタノデアリマスカ  
 ○議長(楠本正隆君) 取消ヲ田中ニ命ジマシタ  
 ○石田貫之助君(百八十五番) 私ハ聽キマセヌダツタガ、苟モ議長ガ本人ニ  
 取消ヲ命ジテ本人ガ承諾シタナラバ異議ハナイノデアアル、其通りデ宜シイノ  
 デアル

(本人ハ承諾セヌノダト呼フ者アリ)  
 ○時岡又左衛門君(九十一番) 議長——議長

○望月右内君(二百七十五番) 議長  
 ○議長(楠本正隆君) 一寸御待下サイ、是ハ命シタルトキハ記載セヌノデ、  
 即チ返答如何ハ此中ニハゴザイマセヌ、田中君ノ返答如何ハ此中ニハナイト  
 思フ  
 ○石田貫之助君(百八十五番) 田中君ニ申シタノハ事實デアリマスカ  
 ○議長(楠本正隆君) 命シタノハ事實デス  
 ○石田貫之助君(百八十五番) 何時命ジマシタ  
 ○河島醇君(四十一番) 先刻發言シタ田中君——責任ノアル人ハ此席ニ居リ  
 マスカ  
 ○議長(楠本正隆君) 議長ガ取消ヲ命シタル發言ハ速記録ニ記載セス、命令  
 ヲ下シマシタ

○望月右内君(二百七十五番) 議長——議長  
 ○議長(楠本正隆君) 田中君ノ身體ニ就イテ意見ガアルナラバ、更ニ動議ヲ  
 御起シナサイ  
 ○望月右内君(二百七十五番) 議長——オイ議長ヲ困ラスノデハナイ、一寸  
 登壇ヲ許シテ貰ヒタイ  
 ○議長(楠本正隆君) 何ノ事デスカ  
 ○望月右内君(二百七十五番) 今ノ就イテ大ニ諸君ニ議ルコトガアリマス  
 (登壇スベシニ許セトト呼フ者アリ)

(望月右内君演壇ニ登ル)  
 ○東尾平太郎君(二百三十六番) 曩ニ議長ノ命ニ服從シタノニ、何ノタメニ  
 登壇ヲ許シマスカ  
 (守屋此助君「名譽回復ダカラ遣ル」ト呼フ)  
 (議場騒然)

○望月右内君(二百七十四番) ドウモ唯今議長ガ宣告シテアレヲ取消ヲ命ジ  
 テ仕舞ツタ、斯ウ云フコトデ……(既ニ承諾ヲ得タト呼フ者アリ)承諾ヲシ  
 タノデハナイ、議長ガ宣告ヲシタト云ヘバ宣告ヲシタデ宜シイガ、將來罵詈  
 譏謗ヲ極メテ——罵詈謗ヲ極メテモ議長ガ取消セバ宜シイノデアリマスカ  
 ラ(無用ト呼フ者アリ)無用デアリマスカ——無用デアリマスカ、苟モ此議  
 會ニシテ神聖ヲ瀆サマル以上ハ此議ヲシテ無用デアルト云フコトハ諸君  
 諸君モ定テ(無用……ト呼フ者アリ)無用ジャナイ——無用ジャアリマセヌ  
 (此時拍手盛ニ起ル、望月右内君議長楠本正隆君ト私語ス)

○井上角五郎君(二百三十番) 議長——何故私話シマスカ、議長ハ何故ツレ  
 デ話ヲスル  
 (拍手起リ「退場ヲ命スベシト」呼フ者アリ)  
 (望月右内君演壇ヲ降ル)

○議長(楠本正隆君) 議事日程第六ニ移リマスカ——佐藤里治君  
 第六 (丁)鐵道比較線路決定ニ關スル  
 法律案(政府提出)  
 第一讀會ノ續(特別委員)

(佐藤里治君演壇ニ登ル)



○佐藤里治君(二番) 奈良縣下高田ヨリ五條ヲ經テ和歌山縣下和歌山ニ至ル鐵道——此比較線ハ大阪ヨリ和泉ヲ經テ和歌山ニ達シマスモノト相竝シテ居リマスルガ、此大和地方ヲ經過スルモノハ是ハ御承知ノ關西鐵道ノ延長ト相須ツテ、詰リ名古屋地方カラ和歌山ニ直接ニ通ジマスルニハ最モ此線路ハ適當ナ線路デアアル、大阪ヨリ參リマスニハ詰リ海岸ヲ沿フテ和歌山ニ達シマスモノデ、國ノ上カラドレヲ採ルカト云フコトニナリマシタラバ、無論此大和地方ヲ經マスル本案ノ線路ハ最モ適當ナモノト是ハ認メテ居リマス、ソレ丈ヲ申上ゲマス

○議長(楠本正隆君) 諸君、二讀會ヲ開ク如何ノ決議ヲ採リマス、該案ニ對シ二讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數

○田健吉君(二百九十二番) 直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

○議長(楠本正隆君) 二百九十二番ノ動議、直チニ二讀會ヲ開クト申スコト、右ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數——直チニ二讀會ヲ開キマスル——朗讀ヲ省キマス

(丁)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案(政府提出) 第二讀會

○時岡又左衛門君(九十一番) 三讀會ヲ省略シテ確定議ニ……

○田健吉君(二百九十一番) 原案ニ異議ガアリマセヌ、直チニ三讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 原案ハ可定ト致シテ直チニ三讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數——三讀會ヲ開キマス

(丁)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案(政府提出) 第三讀會

○吉本榮吉君(二百三十三番) 原案ノ通り確定セラレンコトヲ望ム

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 御異議ガナクバ確定ト認メテ宜シウゴザイマスカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○佐藤里治君(二番) 本案ヲ可ト致シマシタ理由ハ御承知ノ此山陰山陽ノ連絡線ハ倉敷線ニ岡山線、又岡山線ノ中デモ此調査ヲシマシタ結果ガ二線ニナツテ居ルノデゴザイマス、然ルニ倉敷線ヲ見マスルト意外ナ線路ノ惡イ結果ヲナシテ居ル、ソレカラ岡山線ノコトニ就キマシテハ例ノあぶと式ト云フモノガアルノデゴザイマス、ソレデ中ニ就イテ其線路ヲ選ミマスルト、此線路カラト云フモノハ——線路ハ中デ一番宜シクナツテ居ル、ソレカラ又工費ノ點ニ就キマシテ一哩當リニナリマスト安クナツテ居ル、ソレカラ此線路ヲ取リマシタ最モ重ナル理由ハ關西地方ノ商業ノ中心トシマスル大阪ヘノ便利ト云フ點カラ延長ノ點ヲ調ベマスルニ、岡山線ハ二十哩以上遠クナツテ居ル、ソレカラ山陰縱貫線ト云フ第二期線ノ上ヲ考ヘテ見マスルト鳥取カラ先キ殆ド七十哩程此線路ヲ採リマスト合セテ敷設スルコトガ出來ルト云フ便法ガアルノデゴザイマスカルガ故ニ、姫路線ヲ可ト致シマシタノデゴザイマス、ソレカラ序ニ申述ベテ置キマスガ、大津君ノ修正說デ此線路ノ起點ヲ龍野ト修正スルト云フ案ガ出來テ居リマスガ、吾々モ最初ハ此案ノ趣旨ヲ聞キマスト四哩以上二重ニ鐵道ヲ拵フト云フ費用ヲ省キマスノト、又此水害ト云フ憂ヲ防グコトガ出來ルノデアアルカラ、或ハ龍野起點ト云フコトガ宜カラウト云フ考ヲ起シテ居リマシタガ、是ハ能ク講究ヲシ調査ヲシマスルト詰リ此龍野ト云フ起點ニシマシテ、鐵道ヲ二重ニ拵フ所ハ省キ得ラレルヤウナ形デゴザイマス、ケレドモ能ク其當局者杯ノ調ベマシタ書類ニ就イテ調ベマスルト、格別此費用ニ差違ガナイト云フ結果ニナル、ソレカラ何シロ其線路ト云フ所ガ汽罐車ノ宿泊停車場ニナツテ居リマシテ、此起點ガ姫路トスルト龍野トスルトノデハ交通上ニ大變便利ノ違ガアル、姫路ハ非常ニ交通ノ上ニ取ツテ汽車ノ發着ノ上ニ取ツテ世人ニ便利ヲ與ヘルト云フ利益ガアル、ソレカラ大阪ヘ對シマスル距離ノコトニシマスルモ、矢張姫路ノ方ガ近クナツテ來ル、ソレデ單ニ此線路ヲ拵フ上ニ就イテ山陽會社ノ線路ト重複ヲナサスト云フ點カラシテ考ヲ下シマスルト、寧ロ此上郡ト云フ方ノ位置ガ一番宜シイ、サウシマスルト工費モ四十萬圓程減シ得ルト云フ結果トナルノデゴザイマス、彼是參酌シテ見マスルト姫路起點ガ一般ノ上ニ得策デアラウト云フ考ヲ講究ノ上ニ是ハ附ケマシタノデゴザイマス、ソレモ併セテ御報告ヲ致シマス

○和田彦次郎君(二十九番) 委員長ニ質問ガゴザイマス、唯今御報告中ニ此線ハ元ト比較線ニシテ、三線路アツタ中ニ於テ倉敷線ノ分ハ線路宜シキヲ得ナイ、岡山線ノ分ニ於テハあぶと式ガアル、故ニ適當ノモノト認メヌ、岡山線ヲ採ラザル所ノ理由ハあぶと式ガアルガ故ニ之ヲ採ルコトガ出來ヌト云フ様ニ今聽キマシタガ……

○佐藤里治君(二番) 單ニあぶと式バカリデハナイ、ソレハ採ラナイト云フ大體ノ理由ノ中ニ這入ツテ居ル

○和田彦次郎君(二十九番) マア御聽キナサイ、故ニ此線ハ宜シクナイ、之ニ加フルニ大阪ニ達スル哩數ガ短クナツテ居ル、斯ウ云フ様ニ過ギヌ様ニ思フ、第一ニ採ラヌ所ノ理由ハあぶと式デアアル、加フルニ大阪ニ遠クナルト云フニ過ギヌ、其第一ノあぶと式ニ就イテ御尋シタイ、近日各部ニ配布ニナツテ居リマス岡山線發着者ノ意見書ヲ見マスルト、あぶと式ノ無イ線路ヲ出願シテ居ル様ニ見エル、是ハ委員長ニ於テ御調ニナツタノデアアルヤ否ヤ

○佐藤里治君(二番) 其事モ質問致シマシタノデゴザイマス、所ガ願出ノ線

路モ矢張あぶと式デア

○和田彦次郎君(三十九番) 御待チナサイ、あぶと式デアナイト云フコトヲ開

イタ、ソレハ前年ニ於テ三線路ヲ豫定シテ比較シタトキニあぶと式ニ非ザレ

バ岡山線ハ之ヲ敷設スルコトガ出來ナイト政府ガ斷定シタニ過ギヌノデア

ル、現時出願シテ居ル所ノモノハあぶと式ニ依ラズシテ出願シテ居ルモノデ

アル、然ルニモ拘ラズ前年ニ於テあぶと式ニ非レバ敷設スルコトガ難カラ

ウト斷定シタカラ、事實今日ニ於テ長イ線路ヲ見出シタニモ拘ハラズ、前日

言フタノヲ固執シテカラニ今日ノ善線路ハまるデ不問ニ置イテあぶと式アル

ガ故ニ、之ヲ採ラヌト云フコトヲ第一條ニ置カレマスルノハ、恐ラクハ委員

長ハ何ノ邊ヲ御質シニナツタノデアアルカ、其調ヲ伺ヒタイ

○佐藤里治君(二番) ツレハ當局者ニ就イテ唯聞キマシタノデゴザイマス

○和田彦次郎君(三十九番) 唯聞キマシタ式デ御調ニナツテ居ラヌデスカ

○佐藤里治君(二番) 質問ハ矢張調ノ中デゴザイマス

○和田彦次郎君(三十九番) ツレデ政府委員ガ前年ノヲ固執シテ居ッテ、サ

ウシテ今日善線路ヲ此處ニ願出テ居ルニモ拘ラズ、政府委員ガ行カヌト云フ

タカラ、ソレ切リデ政府委員ノ言フコトヲ信ジタノデアアリマス

○佐藤里治君(二番) 信ジタノデアアリマス

○和田彦次郎君(三十九番) 然ラバ政府ノ説明丈ヲ御採リニナツテ委員其者

ノ説ヲ以テ善線路ヲ撰ムト云フコトハナサラヌノデアアルカ

○佐藤里治君(二番) 其委員自身ト云フモノハ……

○和田彦次郎君(三十九番) 委員自身ハ少モ之ニ考案ヲ費サズシテ唯政府ノ

説明丈ヲ以テ善ナリトシテ、査定ノ結果ヲ報道サレルノデアアルカ

○佐藤里治君(二番) 是ハあぶと式ヲ以テヤツタノシヤナイ、唯あぶと式ト

云フモノガ此比較極メ爾唯一小部分ノ理由ニナツタノデ……

○和田彦次郎君(三十九番) ダカラ其あぶと式ノ無イ線路ヲ撰ンデ出願シテ

居ル者ニ向ッテ矢張あぶと式アルモノト同様ニ斷定シタ審査ノ結果ト云フモ

ノハ未ダ十分ノ審査ヲ經テ居ナイデアラウト思フ、其邊ヲ御尋スルノデアアル

イ、ツレハ別ニ論ズル所モアルデゴザリマセウ、委員長ニ於テハナイモノヲ

願フテ居ルノニ、矢張アルモノトシテ調査ナサツタト云フノデアアルカ、其點

ダケ聞ケバ宜シイ

○佐藤里治君(二番) サウデス

○和田彦次郎君(三十九番) 然ラバ調査ト云フモノハ全ク粗漏ノモノデア

ル、佐藤里治君(二番) ツレハ御推察通りニ……

○和田彦次郎君(三十九番) 御推察通りデハナイ、自ラ完全ナラザルコトヲ

證明ナサツタモノト云フテ……

○佐藤里治君(二番) 吾ハ詰リ當局者ノあぶと式ガアルト云フコトヲ信ジ

タニ過ギナイ

○大津淳一郎君(二百二十六番) 政府委員ニ質問致シタウゴザイマスガ、龍

野ヲ指イテ姫路線ヲ採ッタノハ今委員長ノ御説明ニ依レバ二重ノ軌道ヲ敷ク

様ニナルケレドモ、工費ニ於テハ格別ノ差異ガナイカラ姫路線ヲ採ッタノデ

アル、又姫路ハ汽車ノ宿泊ニ便利デアアルカラ、姫路ヲ起點トシタノデア

アル、又姫路ハ數ヶバ大阪ヘ近クナルカラ是ハ姫路トシタノデアアル、此三點ニシカ

過ギナイ、果シテ政府委員モ此三點ヲ以テ龍野線ト云フ起點ヲ止メテ姫路ヲ

起點トシタノデアアルカ、政府委員ノ御答ヲ得タイ

(政府委員遞信省鐵道局長工學博士松本莊一郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(松本莊一郎君) 二百二十六番ニ御答致シマスガ、此龍野起點ト

云フコトハ昨年モ隨分ヤカマシイ御話ガアツテ委員會デモ段々御調ニナリマ

シテ、尙ホ此度モ委員會デモ頗ル議論ノ出タコトデゴザイマスガ、元來敷設

法ニハ姫路近傍トアリマスカラ、初メ取調ベマス時ニモ姫路カラバカリヲ取

調ベテハ盡サヌ、加之姫路カラ餘程參リマス間此鳥取線ト云フモノハ今出來

テ居ル山陽線ト餘リ距離ガアリマセヌ、故ニ新ニ造ル所ノ鐵道ノ部分ヲ短ク

スルガタメニハ成タケ山陽線ノ姫路ヨリ先キノ方カラ出テ行ッテモ宜カラ

ウデハナイカト云フ考ヘヲ持チマシタ故ニ、網干カラモ一ツノ線路ヲ測量シ、

ソレカラ尙進ンデ龍野カラモ測量シ、尙ホ進ンデ上郡ト云フ所カラモ測量ハ

シテアルノデゴザイマス、則チ其中ノ龍野ガ今御尋ノ部分デアリマスガ、若シ

新規ニ造リマス線路ヲ一番短クシテサウシテ鳥取ニ敷ク線路ノ工費ヲ省クノ

ヲ一ツノ目的トシマスナラバ、上郡ニ行クガ一番能クナル、三ツノ中デハ一

併シツレハ別ニ申サヌデモ龍野ノコトヲ申シタラ大抵御分リニナラウト思ヒ

マス、龍野ノ分ハ曩ニ委員長カラモ言ハレマシタ通り、凡ツ五哩バカリ新シ

ク造ル所ガ減ル五哩少シ足ラズデアリマスガ、ソレカラツレガタメニ距離

ノ遠クナリマスコトハ四五哩デアアツタト考ヘテ居リマス、然ルニ工費ニ至リ

マシテ取調ベマス所ニ依ルト十萬圓餘リ龍野ノ方ガ減ズルノデスカ、此十

萬圓餘リ減シマスカラ龍野ヲ起點トシタラ、ダウデアアラウト云フコトデ、段

段取調ベ、且考案ヲ付ケテ見マシタ、所ガ此全線路ニ於キマシテ何時迄モ永

遠ニ鐵道ノ出來タ後ニ今ノ遠クナルト云フコトハ、此鐵道ヲ利用シマス旅客

ナリ貨物ナリ遠クナルモノヲ通ラナケレバナラヌト云フコトハ一ツ

ノ不利益デアアル、サウシテ此龍野ト云フ所ヨリ、御承知ノ通り龍野ノ唯今

ノすて、一よんト云フモノハ龍野ノ町カラハ餘程離レテ居リマス、姫路ヲ起

點ニ致シマスレバ既ニ今日山陽鐵道會社ニ於キマシテモ彼カラ列車ヲ出シ、

又夜ハ彼ニ列車ヲ泊メルコトニナツテ居ル、則チ列車ノ發着シマス一ツノ大

ナルすて、一よんニナツテ居ル、殊ニ此度播丹鐵道ガ開業シマスト是モ彼カ

ラ

ラ

ラ

ラ

ラ

ラ

ラ

ラ

ラ列車ヲ出シ、夜ハ彼ニ歸ルト云フコトニナツテ居ル、ソレ故ニ列車ノ運轉ノ上ニハ餘程姫路ハ便利デアリマス、龍野ヲ起點ニシマシテモ矢張姫路カラ出セルデハナイカト云フ御尋モアルダラウト思ヒマス、既ニ委員會デモ其御尋ガアリマシタ、成ル程ソレハ出來ルコトハ勿論出來マス、併ナガラサウナリマスト私設鐵道會社則チ山陽鐵道會社持ッテ居ル線路ヲ十哩足ラズ始終其車ヲ通サナケレバナライ、ソレハ通スコトハ差支アリマセヌガ、山陽鐵道會社線路ハ既ニ今日デモ往返ヲ合セマスレバ十四五回以上ノ列車ヲ通シテ居ル、之ニ若シ片ッ方ノ線路ノ列車ノ數モ殖エテ來ルコトニナリマスレバ、則チ彼ノ部分ニ對シテ複線モ敷カナケレバナラヌコトニナル、矢張線路ヲ造ラナケレバナラヌ、且ツソレ丈ケ通ルニハ只ハ通シマセヌ、而シテ一方デハ全體ノ距離ヲ遠クスル不利益ガアリマスカラ、非常ニ工費ノ餘計掛ル所デモアレバ、又問題ガ自カラ變リマスケレドモ、十萬圓ソコノ位ノコトデ是丈ノ線路ヲ短カクスルコトガ出來、即チ大阪府ト云フ所ヲ目的ニスルト一或ハ姫路ヲ目的ニスリマシテモ、則チ間ノ線路全體ガ短クナリマスカラ、將來運輸上ニモ此方ガ大ニ利便ガ増スト云フコトガ分ル、以上ハ此位ノ工費ノタメニ起點ノ態ニ不便ノ所ニ移スデハナイト云フノデ、姫路ト定メタノデアリマス

○大津淳一郎君(二百二十一番) 尙ホ政府委員ニ問ロマスガ、其十萬圓丈ヨリ外ハ龍野ニシテ金ガ減ズル、如何ニモ鐵道局デ測量ナサツタノダカラ算當シマシレバ左様デアアルノデゴザリマセウ、併ナガラ鐵道局ハ全國ノ鐵道ノコトニ御通シナサツテ居ラル、以上ハ龍野ノ有志家ガ更ニ技師二名ヲシテ龍野ヨリ嘴崎村マデノ間ヲ測量シタト云フコトハ御承知デゴザリマセウガ、何故ニ龍野ノ市街ノ傍ニ平易ナル線路ヲ選ブコトガ出來ルノニ、殊更ニ龍野ヨリ距ツタ山間ヲ鐵道局ガ調ベテ金ノ掛ルノト、姫路起點トノ經費ヲ比較致サレタト云フノハドウ云フ譯デアリマスカ

○政府委員(松本莊一郎君) 御答致シマスガ、是ハ鐵道局ノ彼ノ部分ヲ擔任セシメテ技師ガ今迄ノ鐵道ヲ敷設シマシタ經驗上カラ一番是ガ宜カラウト思フ所ヲ測量シタノデアリマシテ、自ラ技師ト雖モ見込ノ違フ人ガアリマスカラ、必シモ二人三人ノ人ミガ致シテモ同所ヲヤルコトハナイ、ソコデ龍野ノ方ノ人ガ技師ヲ頼ンデヤツタト云フコトモ聞カヌコトハアリマセヌ、則チ聞イタノデアリマスガ、其方ガ宜シトカ、ソレガ最モ適當ナモノデアルトカ云フコトハ當局者ハ認メテハ居ラヌノデゴザイマス

○大津淳一郎君(二百二十一番) 尙ホ政府委員ニ御問致シマスガ、委員會ニ於テハ龍野起點ニシテモ汽車ハ姫路へ停メラレルノデハナイカト云フ質問ガアツタガ、サウスレバ複線ヲ敷カンシヤナラヌヤウニナルト云フコトダガ、サウデナイ、私ハ姫路ニ腦髓ガまるデ固マツテ仕舞フトサウ云フ考ガ起リマス、イッソ姫路ト云フ腦髓ヲ去ッテ汽罐車ヲ停メルコトヲ龍野ノ町ニ停メルコトニスルヤウニ出來ナイノデアルカ

○政府委員(松本莊一郎君) 御答シマス、固ヨリソレハ出來ナイト云フコトハアリマセヌ、サリナガラドチラガ不便デアアルカト云ハバ寧ロ姫路ノ如キ山陽鐵道ノ持ッテ居ルモノガ其處マデ矢張發著サセル方ガ列車ノ接續上ニ於テ大ニ便利デアルト云フコトハ、是ハ餘リ喋々シナクッテモ御分リニナラウト思ヒマス

○大津淳一郎君(二百二十一番) ソレカラ私ノ初リノ問ハ委員長ノ答ガ三ツアル、工費ヲ減ズルノト汽車ヲ停メルニ便利ノト大阪ニ近クナルノト此理由ヲ委員長ガ述ベマシタガ、其通ノ御考カト言フコトヲ尋ネマシタラ、前ノ二ツニハ御答ガアツタガ、大阪ニ近クナルカラ姫路ノ方ガ宜シイト云フ委員長ノ見込ト矢張政府ノ見込モ同ジコトデゴザイマスカ

○政府委員(松本莊一郎君) ソレハ幾分力近クナル方ガ惡クナイ、併シ大阪ニ近クナルト云フコトノミナラズソレ丈全線、則チ姫路ヲ起點トシテ境マデ參リマスル全體ノ鐵道線路ガソレダケ近クナルノデアリマセウカラ……ソレデ宜カラウト思ヒマス

○大津淳一郎君(二百二十六番) 尙ホ御尋シマスガ、此龍野ト姫路トノ則チ分ル、處ガ西嘴崎村デアアル、西嘴崎村カラ龍野ヲ經テ姫路ニ來マスル哩數、ソレカラ、西嘴崎村カラ別ニ此計畫ノ通り姫路ニ達シマスル哩數トハ何程違ッテ居リマス

○政府委員(松本莊一郎君) 姫路カラ此山陽鐵道ニ寄ラナイ方ノ則チ新シイ線路デ參リマスレバ九哩五十二鎖參リマシタ所ガ、龍野カラ往クノニ出合フノデゴザイマス、龍野カラ參ル方ガ五哩八鎖參リマシタ所ニ達シマスル、此五哩八鎖ノ姫路ト龍野ノ間ノ距離則チ九哩殆ト十哩程ノモノヲ入レマシタモノガ丁度差ニナリマス

○大津淳一郎君(二百二十六番) サウスルト四哩餘遠クナリマスカ

○政府委員(松本莊一郎君) サウデゴザイマス

○大津淳一郎君(二百二十一番) 四哩餘、即チ大阪へ近クシナケレバナラヌト云フ理由ハドウ云フ譯デアリマス

○政府委員(松本莊一郎君) シナケレバナラヌト申上ゲタノデナイ、スル方ガ宜カラウト云フコトヲ申シタノデゴザイマス

○竹内正志君(百八十七番) 私モ政府委員ニ二三箇條質問ガアリマスルガ、私ノ承ッテ居ル所デハ此陰陽聯絡ノ比較線ノコトニ就イテハ中央線ノ方カラモ既ニ私設ヲ以テ本月二日出願シテ居ルサウデゴザイマス、然ルニ此私設ノ方ハ握リ潰シテ仕舞ッテ一向鐵道會議ニモ掛ケズ而シテ此東方線ノ方ニ決定ニナツテ議案ガ現レ出タト云フヤウニナリマシタガ、今政府委員ハ十萬圓ノ差ガアルトカ僅カ九哩トカ五哩トカ云フヤウナコトニ就イテ長短モアルト云フヤウナ御説モアリマシタガ、我輩ノ——本員ノ考フル所ニ依リマスレバ鐵道ハ固ヨリ國家ノ公道デアアル、然ルニ軍事上ナリ經濟上ナリ頗ル重大ノ關係ヲ持ツモノデアアルカラシテ、少シク工費トカ云フヤウナタメニ之ヲ左右スルト云フコトハ甚ダ國家ノタメニ宜シクナイコトデアアラウト思ヒマスデ、此私設鐵道ノ方ハ私設デアリ、一方ハ國家多端ノ際七八百萬圓ト云フ國家ノ公財ヲ糜シテ之ヲ一方ニ極メルト云フノハ果シテソレ丈ノ利益ト云フモノガ國家上ニ在ルト云フ十分御決定ガ就イテサウ云フコトニナツタノデアリマセウガ、其事ヲ御尋シタイ、ソレカラ第二ニハ是ハ少シ御管轄ガ違フカモ知レマセヌケレドモ、軍事上カラ申シマシタナラバ紀淡海峽ト云フコトニ就イテハ餘程國防上ニ就イテ政府ニモ御考ガアルコトデアアラウト思ヒマス、ナルタケ此紀淡海峽ヲ離レルト云フコトハ私共素人考ヘテモ宜シイヤウニ思ヒマスルガ、果シテ東方線ヲ取ルト云フコトニナリマシタナラバ、殆ト紀淡海峽ニ一朝事アル時分ニハ戰線トナリ、戰線トナラズトモ戰線ノ近傍ニナツテ危

險ヲ來スト云フヤウナ憂ガアラウト思ヒマス、又北海ニ至リマシテモ東方線ノ方で見ルト云フト、沿海ニ海岸ヲ沿フテ鐵道ヲ敷クト云フヤウナコトニモナルヤウニ見エ、果シテ是等ノコトニ就イテハ、矢張東方線ヲ採ル方ガ中央線ヲ取ルヨリモ宜イト云フコトヲ陸軍省アタリデモ御決定……御考ガアルノデアリマセウカ、之ヲ一ツ承ハリタイ、ウレカラ第三ニハ果シテ東方線ト極マリマシタナラバ、此私設ニナツテ居リマスル所ノ中央線ハ御許ニナラヌ積デアルカ、此事ヲ御明答ヲ願ヒタイ

○政府委員(松本莊一郎君) 御答致シマス、但シ其中ノ軍線ニ關シマスル分ハ是ハ別ノ政府委員カラ御答スルデアリマセウ、唯今ノ御尋ノ中岡山カラ參リマスル線路ヲ私設ヲ願フテ居ルガ、握潰シテ居ルトカ何トカ云フ御言葉ガアリマシタガ、別段握潰シテ居ルト云フ譯デアナイ、今ハ握テハ居ルガ、握潰ス譯デアナイ、是ハ孰レ許シテ差支ナイモノト思フ、如何トナレバ岡山カラ參リマスルモノハ定テ百八十七番モ御承知デゴザイマセウガ、作州ノ津山勝山ト云フ地方ヲ經過シテ參リマス線路デアリマス、此事ニ就イテ先刻和田君デゴザイマシタカ御話ガゴザイマシタカラ、併セテ一寸申上ゲマスルガ、あぶと式ガアルトカナイトカ云フ御論ガアリマシタガ、固ヨリ假免許狀下付ヲ出願シテ居ルノデゴザイマス、假免許狀ヲ得テ然レ後ニ測量ヲシテ工事ノ設計ヲ立テタ日ニハ始テあぶと式ガアルトカナイトカ云フコトガ分リマセウガ、今日ハ唯大體何處カラ何處マデ鐵道ノ敷設ヲ許シテ貫ヒタイ、假免許狀ヲ下付シテ貫ヒタイト云フコトデゴザイマス、其線路ハ政府ガあぶと式ヲ必要ナリトシマシタ線路デゴザイマス、彼ノ地方ノ人ガ一度彼ノ線路ニ由ラズニ別ニ勝山カラ倉吉ノ方ニ出マスルモノヲ選ンデ是非之ヲ再調査ヲ頼ミタイト云フヤウナ話ノアツタコトハ昨年中アリマシタケレドモ、結局今度ノ私設ハ矢張ソレデナクシテ政府ガ曩ニ選ンダ方ニ敷設シヤウト云フコトニ承ツテ居リマス、今日ハあぶと式ガアルト云ハナケレバナリマセウガ、若シ技師ガ幸ニシテ善イ線路ヲ見出シテ設計ヲ立テ、來ルコトガナイトモ斷言ハ出來マセヌ、今日ノ處ハサウナツテ居ルガ此私設ハ許ス考デアル

○竹内正志君(百八十七番) あぶと式ノコトニ就イテノ御答ハ曖昧ノヤウデゴザイマスガ、若シ果シテあぶと式ガナシテ出來ルト云フコトニナツタナラバ、政府ニハ御變ヘナサルト云フ考デゴザイマスカ

○政府委員(松本莊一郎君) ウレハ別ノ話デ、あぶと式バカリデ問題ヲ決シタノデアリマセウガ、私設ハ許シテ差支ナイ、則チ經過スル地方ガ違ヒマスルカラト云フ考ヲ有ツテ居ルノデゴザイマス、尙ホ今ノ軍事ニ就キマシテハ別ノ政府委員ガ御答致シマス

○工藤行幹君(百四十五番) 私モ一ツ質問ガアリマスガ、此線路ニ就キマシテ私ノ甚ダ不審ニ思フ所ハ外デアリマセヌ、元ノ敷設法案ニ山陰線ト云フモノガアル、此山陰線ト云フモノハ即チ兵庫縣下姫路、鳥取縣下鳥取、島根縣下松江濱田ヲ經テ山口縣下山口ニ至ルト云フノガ一本アルノデゴザイマ

ス、ソレカラモウ一ツハ山陰山陽ノ聯絡線ト云フモノガアル、サウシテ此聯絡線ト云フモノハドレカト云ヘバ、一方ハ姫路近傍ヨリ鳥取ニ至ルノガ一ツ、又モウ一ツハ岡山縣下ノ岡山ヨリ津島ヲ經テ米子ヨリ境ニ至ルノ線、ソレカラ岡山縣下倉敷或ハ玉島ヨリ境ニ至ル鐵道ト斯ウ三ツノ比較ニナツテ居リマス、然ルニ此山陰線ト云フモノハ即チ第二期ニナツテ居リマスカラ、是モ此法律ノ精神即チ此議會ノ精神デハ山陰線ト云フモノハ第一期ニ線上ゲル必要ガナイ、此聯絡線ハ——山陰山陽ノ聯絡線ト云フモノハ最モ必要ナモノデア、故ニ早ク一期ニ線上ゲテ效ヲ奏シナケレバナラヌト云フノデゴザイマシタ、然ルニ唯今ノ此比較線デアアルナレバ鳥取縣下鳥取ニ至ルノデゴザイマスカラ、姫路カラ行ク譯ナレバ山陰山陽ヲ鳥取デ聯絡ヲ通ジテアルカラ、鳥取デ止マツテシマハナケレバナラヌ、若シ此線路ヲ取ルト云フ譯ナレバ又岡山ヨリ取ルカ、又倉敷ヨリ取ルナレバ此境マデ行カナケレバナラヌト云フ精神デア、此聯絡線ヲ言葉ニ換ヘテ言フテ見レバ、姫路カラ行ク譯ナレバ、鳥取デ止メナケレバナラヌ、他カラ行ク譯ナレバ境デ止メナケレバナラヌ、然ルニ政府ハ此山陰線ト云フモノト此聯絡線ト云フモノト相混同シテ、サウシテ此所ニ掲ゲタト云フモノハ一向前ノ議會デ決シテ法律ニナツタモノノ前後緩急ヲ異ニシタモノデア、或ハ此聯絡線ト縱貫線ト相混同シテ此一期線ニ持ツテ來ルト云フハ、是ハ議論デハゴザイマセウガ、吾ガ怪シムノデゴザイマス、一方ノ山陰ノ縱貫線ハちやんと第二期ニ定マツテ居ル、一方ハ聯絡バカリヤル、此線路ハちやんと三ツニ掲ゲテアル、然ルニ此三ツノ中ヲヤラズシテ一方ハ縱貫線ヲヤリ、一方ハ聯絡線ヲヤルト云フコトハ是ハドウデモイ、ヤウナモノデア、ケレドモ法律ノ精神ノ第一期トシ、第二期トシタ精神ニ反對スルモノ、ヤウニ思ヒマスルガ、政府ハドウ云フヤウナ意見デ斯ク如ク混同シタ線路ヲ取ツタノデゴザイマスカ

○政府委員(松本莊一郎君) 百四十五番ニ御答ヲ致シマス、唯今段々御述ニナリマシタガ、是ハ敷設法ノ第七條ノ所ヲ御覽ニナレバ分ラウカト思ヒマス、工藤君ノ御述ニナリマシタノハ第二線ノ豫定線ト云フ所ニ於テハ如何ニモ工藤君ノ仰セラル、通り、兵庫縣下姫路近傍ヨリ鳥取縣下鳥取ニ至ル鐵道ト斯ウ書イテアル、故ニ御疑ガ起ツタ然ルニ第一期線ト云フモノハコレノデアルト云フコトガ第七條ニ規定シテアル、其第七條ニハ兵庫縣下姫路近傍ヨリ鳥取縣下鳥取ヲ經テ境ニ至ル鐵道ト矢張規定シアリマス、則チ政府モ此法律ノ規定ヲ守ツテヤリマシタノデゴザイマス

○肥塚龍君(百八十二番) 私モ政府委員ニ少シバカシ質問ヲ致シタイノデゴザイマス、其質問ハ第一ニハ測量ノコトニ就イテ御尋申シタイ、第二ニハ費用ノコト、第三ニハ水害ノコト、此三ツノ點ニ就イテ政府委員ノ説明ヲ求めタイノデゴザイマス、先刻大津君ヘノ政府委員ノ答辯ノ測量ノコトハ其測量擔當ノモノガヤツタトカ云フヤウナ話デアツタガ、此測量ニ就イテハ大ニ質サナケレバナラヌ、政府ハ何故ニ平坦ナル路ガアルノニ、態々城山ト云フ山

○工藤行幹君(百四十五番) 此線路ニ就キマシテ私ノ甚ダ不審ニ思フ所ハ外デアリマセヌ、元ノ敷設法案ニ山陰線ト云フモノガアル、此山陰線ト云フモノハ即チ兵庫縣下姫路、鳥取縣下鳥取、島根縣下松江濱田ヲ經テ山口縣下山口ニ至ルト云フノガ一本アルノデゴザイマ

ノ後ロ切抜イテ隧道二箇所、大土工何箇所ト云フ書附ヲ出サレタノデゴザ  
イマス、本員等ノ如キハ鐵道ヲ敷クニハ成ルベク道ガ短クシテ、成ルベク  
平坦ナル所ヲ通ルト云フノガ素人カラ考ヘテモくろろとカラ考ヘテモ鐵道線  
路ヲ取ルノ道ト本員等ハ考ヘテ居ル、然ルニ鐵道廳ハ一種ドウモ奇體ナ特別  
ナ法デアアルノデアアル、何故平坦ナル掘保川ノ川筋ニ沿フテ行ケバ橋一ツ越エ  
ルコトヲモズシテ出來ル線路ノアルノニ、態々城山ト云フ後ロノ山ヲ切抜イ  
テ通ルト云フ測量ヲセラレタガ、若シ切抜イテ難工事ヲシナケレバナラヌト  
云フナレバ、其隣リニ雞籠山ト云フ山ガアル、モウ一ツハ山ノ絶頂ヲバ御通り  
ナサツタラ宜シカラウト思フ(笑聲起ル)併ナガラ矢張ドウモ谷ノ間ヲ通ツタ  
所ヲ見ルト云フト唯今ノ鐵道廳ハ幾ラ平坦ノ所ヲ通リタイト云フ御趣意ヲ  
シイ、ケレドモサリトテ掘保川ニ沿フテ平坦ナ橋一ツ架ケズシテ出來ル線路  
ガアルノニ、態々山ヲ切抜キ隧道二箇所大工事何箇所ト云フ設計ヲ出シテ  
工費ガ懸ルト云フ一ツノ説明ニナツテ居ルハ甚ダ分ラヌ、ソレカラ第二ニ費  
用十萬圓ノ差ト云フコトヲバ政府委員ハ答ヘラレタ、成程サウデゴザイマセ  
ウ、態々御苦勞ニモ山ノ胴腹ヲバ切抜クト云フコトヲヤリマシタナラバ十萬  
圓ハ愚カ却テ姫路ヨリハ龍野ノ方ガ工事費ハ高クナルカモ知レマセヌ、併ナ  
ガラ當リ前ノ人間ノ遣リ方デ川ニ沿フテ平坦ナ道ヲ通ツテ行キマスト云フト、  
茲ニ技師ニ命ジテ調査シタ所ノ調査ニ依ルト龍野カラシテ陰陽聯絡線ヲ附ケ  
ルノハ姫路カラ附ケルト費用ガ彼是三倍違フテ居ルノデアアル、三分ノ一デ龍野  
カラシテ陰陽聯絡ヲバ附ケルト出來ル計算ガ茲ニ立ツテ居ル、モ一步進  
デ政府ノ調査通リ澤山ナ見積デヤツタナレバ、マダ金高ガ龍野ノ方ガ四十萬  
圓近ク安クヤレルダラウト本員等ハ思フノデアアル、姫路ノ方カラシテ陰陽聯  
絡線ヲ附ケレバ橋ダケニ於テ十四萬バカシ懸ル、龍野カラスレバ全線路デ十  
四萬圓バカシデ出來ル、橋代ダケデ龍野カラ出來ルモノヲバ、ソレヲバ龍  
野ノ方ヲ取ラズシテ姫路ノ方カラハ幾ラ河ガアツテモ山ガアツテモ隧道ガア  
テモ構ハナイ、姫路カラ架ケナケレバナラヌトハ餘程分ラヌ話デアツテ、金  
高十萬圓バカリノ差トハ言ハレタケレドモ決シテ十萬圓ノ差デハナイ、橋代  
丈デ全線路ガ敷ケル所ノ技師ノ拵ヘタ計算書見積書仕譯書ト云フモノガ出來  
テ居ル、然ルニ僅カ十萬圓ノ差ト云フコトハ甚ダ信シ難キ說デアアル、モウ一  
ツニハ水害ノコトデアアル、水害ノコトハ一番此土地ノ者ガ困ツテ居ル、年々  
水ガ出テ一年ニ一度位ハ床ノ上ニ水ガ上ツテ來ルト云フヤウナ話デ、明治二  
十三年ノ大洪水デ町ハ殆ド流サレテ仕舞ハントシタ、明治二十五年ノ大洪水  
デ是モ又町ハ殆ド水漬バカリニナツテ仕舞ツタ、ソレデ實ニ此水害ハ何ヨリ  
モ此龍野ノ近傍ノ者ガ怖ハガツテ居ルノデアアルガ、此事ハ政府委員ハ能ク御  
承知デゴザリマセウガ、如何ニシテ此水害ヲ避ケルコトガ出來ルカ、政府委  
員ハ曰ク、ソレハドウモ土木技師ニ掛ケタラ何カアルデアラウト云フコトヲ  
是マデ聞イテ居リマスガ、アルデアラウト云フ答辯ハ甚ダ信用ガ出來難イ、  
唯今掘保川ト云フ川ノ所ニ一ツ山陽ノ鐵道ノ橋ガ架ツテ居ル、ソレカラ加古

川ニモ山陽鐵道ノ橋ガ架ツテ居ル、洪水ノトキニ何時デモ鐵道ノ橋ノ川上デ  
堤ガ切レテサウシテ其堤ヲ切ツタ餘波ガ及ンデ下ノ堤モ打チ切ツテ仕舞フ  
云フノガ、水ノ堤防ヲ切ル規則ト見エテ始終サウナツテ居ル、何時デモ橋ノ  
川上デ堤ガ切レテ川下ヲ切ルト云フコトニナツテ居リマスガ、唯今山陽鐵道  
ノ橋丈デ餘程迷惑ヲ蒙ツテ居ル、政府委員ハ御承知デゴザリマセウ、明治二  
十五年ノ水ハ何處デ切レテ居ルカ、山陽鐵道ガ掘保川ノ川ノ橋ノ川上デ切レ  
テ居ル、加古川モ川上デ切レテ居ル、政府委員ハ御承知デゴザリマセウ、如  
何ナル方法ヲ以テ幾ラ水ガ出テ來ヤウトモ水害大丈夫ト云フ保險ヲ附ケルコ  
トガ出來マセウカ、其保險ノ附ケ方ガアルナラバ承リタイト思フ、其外ニ對シ  
テモ尋ネタイコトモ澤山アリマスルガ、先ツ此三ツノ事ニ就イテ御答辯ヲ願  
ヒタイト思フ

○政府委員(松本莊一郎君) 大層長イ唯今ノ御質問デゴザリマスガ、工費ノ  
内譯書杯ハ今此處ニ一寸持ツテ居リマセヌカラ細ク土工坪數杯ト云フコトノ  
御答辯ハ即座ニ致シ兼ネマスガ、御要用ナラバ何時デモソレモ致シマセウ、  
大體測量ヲ態々惡ルイ所ヲ選ンデシタト云フ御問ノヤウデスガ、先程モ申シ  
マシタ通り決シテ惡ルイ所ヲ選ンダノデアナイ、其擔當ノ技師ガ一番宜シイ  
ト認メタ所ヲ測量シタノデゴザリマス、ソレカラ水害ノ事ニ就イテ如何ニモ  
御心配ノ御話ガアリマシタケレドモ、如何ニモ此掘保川ガ大分水害ノタメニ  
鐵道ノ上デ切レタヤウナコトモ屢聞キマシタ、併ナガラ掘保川ハノ邊デ  
ノ大キイ川デハゴザイマセウガ、必シモ東海道ノ天龍川トカ大井川若クハ利  
根川トカ信濃川トカ云フヤウナ大河デハナカラウト信ジテ居リマス、ソレ等  
ノ今數ヘマシタ大河デモ橋ヲ架ケマシテ以來橋ノタメニドレダケノ水害ヲ惹  
起シタト云フコトハナイダケノ設計ヲ以テ架ケテ居リマス、別ニ當局ノ技師  
ヲ頼ムト云フコトデアリマセヌ、此處ニ居リマス政府委員モ一ノ土木技師  
デアリマシテ、鐵道ノ技師ハ即チ土木技師デアリマス、水利上ノコトハ素ヨ  
リ十分ニ研究ヲシテ橋自ラモ害ヲ受ケズ、又水害ヲ其地方ニ及ボサヌダケノ  
設計ヲ立テルコトハ當然デアリマス、何レノ場合ニ於テモサウスルノデゴザ  
リマス

○竹内正志君(百八十七番) 先刻ノ質問ノ御答ヲ……  
○綾井武夫君(十一番) 一寸御尋致シマスルガ、此第一番ニ政府委員ニ御尋  
申シテ置キタイノハ昨年デアリマシタカ、一昨年デアリマシタカ、ソレヨリ  
古イコトハアリマセヌガ、彼ノ倉敷カラ味野ニ私設鐵道ヲ願出タコトガゴザ  
イマス、其際輕便鐵道ヲ許サズ本鐵道デナケレバ許サヌト云フコトガアリマ  
シタガ、其事實ガアリマシタカ  
○政府委員(松本莊一郎君) 綾井君ニ御答シマスルガ、其通りデゴザイマス  
○綾井武夫君(十一番) ソレハ何故ニ輕便鐵道ハ御許ニナリマセヌカツタカ  
ヲ聞キタイ、是ハ私ノ考デハ或ハ此中國線ノ則チ比較線ニ關係ヲ持ツテ居リ  
マス四國線ノ連絡ト關係ヲ持ツテ居ルカラ、輕便鐵道ハ御許ニナラヌト思ヒマ  
スガ、其他ニ何カ理由ガアリマスカ

○政府委員(松本莊一郎君) 是ハ矢張陸軍ノ政府委員ガ他ノ事ニ就イテ御答  
ガアリマスガ、軍事ニ關係ノ論ガアルカラ併テ御答ガアルト思ヒマス

○綾井武夫君(十一番) ツレカラマダ御答ヲ願ヒタイ、山陰山陽ノ比較線ハ  
三ツアル、此三ツノ中ノ岡山縣カラ私設ヲ願フテ居ル、而シテ其事ハ許ス積  
リデアアルト今政府委員カラ伺ヒマシタガ、岡山ニ私設ガ出來テモ尙姫路カラ  
官設デ架ケナケレバナラヌト云フ必要ガゴザイマスカ

○政府委員(松本莊一郎君) 是ハ固ヨリ必要ガアルト認メマシタカラ、比較  
線ヲ決定シテ出シタノデアリマス

○綾井武夫君(十一番) 其必要ハ兵備ノ點ノ必要デゴザイマスカ、經濟ノ點  
カラ必要ガ重モデアリマスカ、或ハ雙方トモアルトどちらガ重キヲ置イテア  
ルカト云フコトヲ伺ヒマス

○政府委員(松本莊一郎君) 御答ヲシマス、固ヨリ雙方トモアルノデゴザイ  
マスガ、要スルニ山陰ノ餘程大キナ部分ニ便利ヲ與フル線路デアリマス、軍  
事ニモ固ヨリ必要デアリマセウガ、經濟ニモ先ヅ十分ニ重キヲ置キマシタノ  
デゴザイマス

○綾井武夫君(十一番) モウ一ツ序デニ御尋申シテ置キタイノハ、此岡山線  
路ハ本月ノ二日ニ請願書ヲ出シテ置イタモノヲマダ殺シハセヌガ、握ッテ御  
出ニ成ル、而シテツレカラ後ニ請願ガ出タ、所ガ北越線ト鹿兒島篠ノ井線ト  
カ云フモノハズん、鐵道會議ニ御掛ケニナツテ、今度ノ議案ニ上ツテ來タ  
ニモ拘ハラズ一方ハ其前ニ願フタモノヲ握ッテ居ルト云フコトハドウ云フ趣意  
カラ握ッテ居ルト云フコトヲ伺ヒタイ

(ツレハ偏頗ニ依ッテナリト呼フ者アリ)

○政府委員(松本莊一郎君) 是ハ偏頗デモ何デモナイ、敷設法ニ關係ガアリ  
マシテ、則チ議會ノ協贊ヲ經ナケレバナラヌト云フ關係ノアルモノハ成ルベ  
ク當議會中ニ協贊ヲ經ナケレバナラヌカラ取急イダ譯デアリマス

○綾井武夫君(十一番) 分リマシタ、然ラバ岡山縣ノ線路ハ當議會ニ問フニ  
限ラヌト云フノデスカ

○政府委員(松本莊一郎君) 唯今議題ニナツテ居リマスモノガ當議會ニ於テ  
可決シマスレバ、ツレガ協贊ヲ經ズトモ許シ得ルモノト信ジテ居ルノデアリ  
マス

○綾井武夫君(十一番) 序ニモウ一ツ此線路ハ比較線路デアアルガ、茲ニ御決  
シニ成ルト云フ御積リデ御出シニナツタノデアリマスカ、或ハ急ヲ要スルト  
云フ點カラデアリマスカ

○政府委員(松本莊一郎君) 比較線デアリマスカラ、決定ヲスル必要ガアリ  
マス

○綾井武夫君(十一番) サウスルト直グニ豫算ヲ出シテ本年設計ニ比較線丈  
ヲ決定シテ……

○政府委員(松本莊一郎君) 豫算ニ於テ工事著手ノ順序ヲ定メテ是ハドノ位

ノ年數ガ掛ルカラ今カラヤラナケレバナラヌト云フコトヲ審議シテ、然ル後  
段々出シテ來ルノデアリマスカラ、必シモ此度皆豫算ヲ出スコトハ到底出來  
得ナイト思ヒマス

○綾井武夫君(十一番) ツレカラモウ一ツ此日本ノ此四國線路ト四國線ト云  
フト違ヒマスガ、此山陰山陽ノ聯絡線ハ後來四國トノ官線ニ於テ大變關係ヲ  
持ッテ居ル線路デアナイカト思ヒマス、其邊ハ政府ハドウ云フ考ヲ持ッテ居リ  
マスカ、例ヘバ土佐或ハ伊豫阿波其邊ノコトハ即チ伯州雲州邊ト云フモノ、  
交通運搬ノ上ニ於テ其線路ヲ取ルト云フコトニ就イテハ岡山線路ニ最モ此間  
ヲ横ニ貫通シテ居ル線路ヲ適當ナモノト思ヒマスノデゴザイマス

○政府委員(松本莊一郎君) 御答シマス、ツレハ固ヨリ四國トノ關係ニ於テ  
バカリヲ論ジマシタナラバ御考ノ通カモ知レマセヌガ、唯三ツノ線路ヲ比較  
スル上ニ於テハ政府ハ原案ヲ出シテアル通デ宜イト信ジタノデアリマス

(政府委員陸軍次官兒玉源太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(兒玉源太郎君) 百八十七番ニ御答申シマス、唯今ノ御問ノ紀淡  
ノ海峽ハ成丈ケ接近セヌ方ガ宜カラウト云フコトデアリマシタガ、ツレハ私  
ハ少シ了解致シマセス、多分ツレハ紀淡海峽ノ防禦ガ敗レタトキハト云フコ  
トデアラウト考ヘマスガ、其事ハ則チ二期ノ豫定線ニ京都ヨリ園部ヲ經テ姫路  
ニ至ル其項ニハ姫路ハ先ヅ安然トシテゴザイマスカラ、其點ニ就イテハ安然  
ナリト御考ニナツテ宜カラウト考ヘマス、其次ハ山陽線ノ海岸ニ露出スルト  
云フコトデアリマスガ、如何ニモ露出シテ居リマス、是ハ第二期豫定線ノ  
鳥取カラ境迄ト云フモノガ矢張ゴザイマス、此線路ハ姫路カラ鳥取ヲ經テ境  
ニ出マスレバ鳥取ト境ガ海岸線ニナリマス、若シ岡山カラ境ニ出マスレバ則  
チ此二期ノ線路ノ境ト鳥取ト接續スレバ矢張此間ハ海岸ニ出ルヤウニナリマ  
ス、此海岸ニ出マスルコトハ地形上許サヌ事デゴザイマスカラ、ツレダケ御  
答シマス

○綾井武夫君(十一番) 味野ヲ……

○政府委員(兒玉源太郎君) 如何ニモ是ハ味野ヲ本鐵道ニシタノハ四國トノ  
關係ヲ持ッ積デアリマス、味野ノ線路ハ往々下津井ト云フ所ニ出マス、是カ  
ラ丸龜ヘ船デ交通スルト云フ積デアリマス

○綾井武夫君(十一番) 一寸伺ヒマス、然ラバ此間ノ哩數ハ甚ダ少イ、此少  
イ線路ヲ後來持ット云フノハ唯四國ニ關シテモ本鐵道ヲ架ケネバナラヌ、  
而シテ四國鐵道ハ這入ッテ居ナイ、是レデスラ十箇年掛ル、十箇年ノ其間ス  
ラモ味野鐵道ノ如キ僅ノ哩數デモ本鐵道デナケレバナラヌト云フ必要ガ陸軍  
ニアルノデスカ

○政府委員(兒玉源太郎君) 左様、ツレデゴザイマセヌ——山陰線ニ上ッテ  
居ル凡テノ材料ヲツレニ持ッテ來ルコトガ出來ヌ、即チ列車ヲ組替ヘナケレ  
バナラヌ、人ガ乗替ヘナケレバナラヌト云フ不都合ガ生ズル

○議長(楠本正隆君) 通告ニ從ッテ登壇ヲ促シマス、二百八十三番

(高木正年君演壇ニ登ル)

○高木正年君(二百八十三番) 私ハ此伊豫連絡線即チ官線ヲ以テ敷設スル兵庫ヨリ姫路鳥取ヲ經テ境ニ至ル鐵道、此線路ニ就イテ廢案說ヲ唱ヘマス、一體此鐵道比較線ノ決定ニ就イテ此線路位吾ニガ最モ考案ヲ費ヤシテ將來ノ日本ノ經濟ノ上日本ノ國防ノ上ニ就イテ考テ定メネバナラヌ線路ハゴザリマセヌ、何故ニ私ガ殊更ニ登壇シテ斯ノ如キ演說ヲ致スカト申シマスルト、一體本年ノ議場ハ不思議ニモ同志會ノ意見ハ殆ド奔流ノ勢ヲ以テ當議場ヲ通過セントスルノ有様デゴザリマス、吾々ハ鐵道同志ノ人々ノ運動ノ斯ク迄當議場ニ勢力アリトハ實ニ今日ニ於テ驚クコトデゴザリマス、吾々ハ此勢力アルコトハ少シモ驚キマセヌガ、之ガタメニ國家ノ前途ニ如何ナル關係ヲ及ボスカト云フコトハ諸君ニ一言セネバナラヌコトデゴザリマス、一體今日ノ豫定線ヲ定ムルコトハ唯僅ニ議場ニ積ンデアル所ノ議案ヲ一讀シテ之ガタメニ起立サヘスレバ濟ムト思ハ、大變ナ間違デゴザリマス、若シ果シテ此線路ガ悉ク可決セラレテ、此線路ニ就イテノ工費豫算案ヲ提出セラレタトキハ諸君如何デアアルカ、殆ド議案ノ上デハ日本全國ノ官線ハ恰モ一時ニ設立セラル、有様デアアル、若シ豫算案ヲ手ニ取ッテ諸君ガ親切ニ帝國ノ經濟ノ上ニ就イテ考ヘラレタナラバ、或ハ殆ド一ノ官線ヲ敷クダケノ金額ヲ支出スルコトガ出來ヌカモ知レヌ、殆ド今日ノ議案ノ通過ハ唯僅ニ鐵道同志ノ満足ヲ買フベキ顯著ノ議案ニシテ、其實ハ實際施行ノ時ニ當ッテハ一線路ヲ満足ニ出カスダケノ事モ出來ヌカ知レマセヌ、斯様ニ前途ノ事ヲ想ヘバ今日徒ニ地方ノ満足ヲ買フタメニ、此案ノ通過ヲ望ム位國家ノタメニ不親切ナルコトハナイト斷言セネバナラヌコトデゴザリマス、一體鐵道會ノ決議ノ如キ、鐵道比較線ノ決定位不可思議ナルコトハゴザリマセヌ、就中陰陽連絡線ノ中ニ東方線ノ決定位不満足ナモノハゴザリマセヌ、一體鐵道會議ハドウデアアルカ、日本政府ハドウデアアルカ、遞信省ハドウデアアルカト申シマス、先刻某君カノ質疑ニ政府委員ノ御答ヲ聽キマスニ、岡山縣ヨリ境ニ至ル所ノ鐵道ハ政府ハ提議スノデハナイカ、ソレナラドウスルカ比較線デアアルカラ勢ヒ帝國議會ニ掛ケネバナラヌガ、此議案ハ今日ニ於テ提出セラレザル所ヲ以テ見レバ、ドウデモ此暮ノ議會マデ提議シト云フ意思デアラウ、鐵道豫定線ト云フモノハ鐵道會議ニ掛ケラレタ以上ハ政府ガ提出セラレタ以上ハ、人民ヨリ請願シタル以上ハ、親切ニ鐵道會議ニ掛ケネバナラヌ、然ルニ中央線ニ至ッテ政府ハ之ヲ緩慢ニ附シテアルハ如何デアアルカ、而カモ時日ノ遅イタメニ斯クシタカト言ヘバ是ヨリもそつと遲ク出願シタノヲ政府ガ採用シテアル、私ハ鐵道會議ヲ矯正スルタメニ政府ノ以來ノ決心ヲ促スタメニ、鐵道會議ノ事情ニ附イテ言ハネバナラヌコトゴザリマス、丁度中央線ノ出願ハ五月二日デゴザリマス、且ツ陸軍省ノ相當ノ手續モ其前ニ濟ンデ居ルニ、前申ス如ク今日迄政府ハ少シモ之レニ就イテ手續ヲ致サヌノデゴザリマス、然ルニ丁度五月二日ヨリ殆ド四日ヲ隔ツタル七日ニ於テ出願シタ北越鐵道ハ採用セラレテ、直ニ今年ノ議案ニ

出テ居ル、もそつと不可思議ナ事ハ坂鶴鐵道ガ鐵道會議ヲ經過シタ有様デアリマス、五月九日ニ坂鶴鐵道ハ一旦延期ニナツテ十一月ニ望月ガ提出シタト思フ、此時ニハ延期ニナツタガ十三日ノ日曜日ニ殊更ニ再ビ鐵道廳ヨリ提出シテ經過シタノハ坂鶴鐵道線路デゴザリマス、斯様ニ鐵道會議ノ有様、斯様ニ鐵道ノ有様、或ル點ニ於テハ鐵道廳ハ親切デアアルカ知ラヌガ、鐵道會議ハ或ル點ニ於テハ綿密デアアルカハ知ラヌガ、中央線ニ至ッテハ殆ド緩慢ニ付セラレタ、抑、比較線決定ノ上ニ就イテ吾々ハ一大疑問アリト絶叫シナケレバナラヌ、一體吾々ガ國ノ經濟ノ上ニ就イテ國ノ租稅ヲ以テ敷設ヲスベキ鐵道ハ如何ナルモノガ今日ニ於テ必要デアアルカト云フト、所謂縱貫線ガ殊ニ最モ今日ニ於テ希望スル譯デ、八王子ヨリ起ル中央線ノ如キガアリマス、關西ニ於テ京鶴鐵道ノ如キ彼ノ縱貫線此モノヲ政府ガナラバ、マダ議論デア、將來軍事ノ上ニ大關係ヲ有シ大利益ヲ起ス縱貫線ヲ起スナラバ兎モ角モ是等ハ却テ委員ガ緩慢ニ附シテ姫路ト鳥取ヲ經テ境港ニ至ルノ鐵道ヲ官設トスルノハ抑、何事デゴザリマセウ、一體國防ノ關係カラ申シテモ唯今ハ中央線ノ議論デハゴザリマセヌガ、姫路カラ鳥取ニ至ルヨリ岡山ヨリ境港ニ至ル方ガ軍事ノ上ニ就イテ頗ル利益ガアルノデゴザリマス、海軍ニ最モ經驗アル人、殊ニ國防ノ上ニ就イテ經驗アル又ハ此參謀本部ノ不斷議論トシテ聞キマス所ニ依レバ紀淡海峽ガ一度敗ルレバ姫路ハ戰争地デアルト申シマス、豫備兵ヲ送ル線路、後備軍ヲ繰出ス線路ガ即チ姫路ニアツタカナラバ、此時ニ於テ兵ヲ屯スルコトガ出來ナイト云フ常ニ唱ヘル所デアザリマス、斯様ニ場合ニハ戰爭地ヲ避ケテ兵ヲ屯營ヲ造ルニハ是ニハ岡山線ガ一番適當デアルト常ニハ參謀本部ガ斯ノ如キコトヲ唱ヘルノデゴザリマス、然ルニ此事ガ鐵道會議ニ附セラル、時分通過サル、時分ニ斯ノ如キ議論ハ輕々ニ過去ッテ不可思議ニ此線ガ通過シタノハ國防ノ上ニ就イテ、全體ノ經濟ニ就イテ、政府共モノハ少シモ丁寧親切ニ人民ガ私設ヲ以テ敷設セントスル中央線ヲ願ミズ、斯ノ如キ多額ノ金ヲ以テ縱貫線ヲ願ミズ、斯ノ如キ餘計ナ線路ヲ釋ミテ此案ヲ提出セラレタノハ私ハ益々政府ノ不親切ナル、又此案ニ贊成スル人ノ曖昧ナルニ驚カザルヲ得ナイノデアリマス、斯様ニ考ヘ來リマスレバ今日此案ヲ通サウト云フコトハ事實ノ上ニ就イテ唯日本全體ノ鐵道線路延長ヲ一名ノ上ニ於テ長ウスルノミ、實際ノ敷設ノ時ニ當ッテ當ニ許可セラレ可決セラレテ他ノ線路ガ妨ゲスルト云フ事實ガ出來ヌトハ限リマセヌ、折角計畫シタ鐵道線路ヲシテ全ク爲サシメントナラバ、昨日以來可決シタ官設其物ヲ皆満足ニ敷設セラレコトヲ望ムナラバ、斯ノ如ク無用ナル線路、斯ノ如キ必要ナキ線路ハ廢棄シテ、帝國線路ノ幾分ヲ完全ニナサシメントヲ望ミマス、鐵道其物ニ熱心ナル人ニノ必ズ此議論ヲ主張シナケレバナラヌ議論デアザリマス、鐵道ノコトハ既ニ諸君ガ之ニ就イテ議論モアルベキコトデゴザリマス、私ハ簡單ニ聊カ反對ノ理由ヲ述ベル次第デアザリマス

(政府委員遞信省鐵道局長工學博士松本莊一郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(松本莊一郎君) 一寸諸君ニ念ノタメニ申上ゲルコトガアリマスガ、唯今高木君ノ御演説ノ中ニ岡山線ハ許サヌ積デアルトカ、案ヲ出サヌトカ云フコトヲ縷々ト仰セラレマシタガ、先程私ガ茲デ申述ベマシタ言ヒ方ガ惡クテ御聽損ネニデモナクテ居ルノデハナカラウカト思ヒマス、是ハ唯今ノ議案ガ決定ニナレバ帝國議會ノ協賛ヲ經ト云フコトハ最早イラナクテ許スコトガ出來ルノデアルカラ、議會ニ關係ノアルモノハ成ルベク取急ギマスト云フコトヲ述ベマシタ、ソレ迄ヲ念ノタメニ申シテ置キマス

○高木正年君(二百八十二番) ソレナラバ政府委員ニ一言伺ッテ置キマス、此姫路線ガ出來タ曉ニ岡山ニ繋キマスト大變ニ私立會社ノ經濟ニ關係ガアルト思ヒマスガ、苟モ政府ハ此鐵道ヲ許シ官線ト私線トノ區別ヲ爲スガ政府ノ得策デアルト云フ、果シテ政府ノ御趣意デゴザリマスカ

○政府委員(松本莊一郎君) 御議論ナレバ議論ハ致シマセヌ、先ニ仰シヤッタノハ違ヒマスカラ……

○議長(楠本正隆君) 二百六十一番名倉次君  
○名倉次君(二百六十一番) 是ハマダ中央線ト云フ比較線ガゴザリマスカラ、ドウカ二百六十一番ハ比較線ノ反對ガ起リマシテ其上ニテ贊成ノ意ヲ述べタイト思ヒマス

○議長(楠本正隆君) 宜シイ守屋此助君  
○守屋此助君(百十二番) 本員ハ此山陰山陽ノ聯絡線ニ附イテ原案ノ播州姫路ヨリ鳥取縣鳥取ヲ經テ境港ニ至ルト云フ之ニ反對ノ意ヲ表スルモノデゴザリマス、ソコデ餘程奇怪ノ想ヲスルノニハ委員長ノ佐藤君並ニ政府委員ノ松本君等ガ此姫路線ヲ取ツタ一ツノ理由ノ中ニ餘程妙ナコトヲ言ハレル、大阪へ近クナルト、諸君是ガ一ツノ理窟トハ何デス、大阪ト山陰道トノ聯絡線ナレバ私ハ敬服シテ承ラウ、宜イ理窟デゴザリマセウ、コンナ事柄ガ政府委員並ニ委員長ノ方ニカラ御吐ニナリ、ソナナ奇怪ノ理窟ヲ御出シニナルカラ國ヲ思フ所ノ赤誠前後ヲ忘レテ田中君ノ如キ熱心家ガアノ如キ言葉ヲ發セラレ、奇怪ノコトガ出來ルモノデゴザリマス、烟アレバ先ヅ其火アルヲ知レ、世間ノ噂ガアレバ種子ナキハナイト御考ヘアレ、自分ハ考ヘル鐵道廳ノ事——鐵道ノ事柄ニ附イテ此議會ニ於テ赤誠國ヲ思フ言葉ガ進リ、言フ人ノ言葉ガ不穩當デアルト言ハレタ人ハ、侮辱デアル、誹謗デアルト云フテ言葉言ハレタコトヲ怒ラレルノハ、若シ是ガ行ニ依ッテ致シマシタ人ガアレバ、此行ハ何デアル、ソレコト由々シキ大事デアル、ソコデ理由ニモ左様ナ奇々怪々大坂へ聯絡ト云フヤウナ妙ナコトヲ言ハレル、サウシテ肥塚氏ノ說ニ依ッテ見マスルト云フト、此姫路線ト云フ所ヨリ龍野線ノ方ガ利害ガアルト云フ政府委員ノ御答ハ實ニ曖昧模糊、之ヲ以テ政府委員ハ笑ッテ答フシテ居ラレル、一體何ガタメニ政府委員ハ此壇上ニ登ッテ笑フ含ムト云フハ、私ハ何事ニ就イテモ一體怪シカラヌコト、心得テ居リマス、帝國議會ノ議場ニ於テ赤誠國

ヲ思フノ諸君ニ答ヘラル、ノニ、藝者ヤ女郎ト話ヲスルガ如キ面想ヲ以テ冷冷ト話ヲサレルノハ實ニ國家ヲ輕蔑サレル者デアッテ、何事ニモ笑ハレテ居ル、此鐵道ニ於テモ亦然リ、己ノ言葉窮スレバ則チ笑ッテ居ルトハ何ダ、ソコデ一體斯ウ云フ遣リ方ヲナサルカラ田中君ノ言フヤウナ批評ヲ世間ガスルノデ、ソレガ先ヅ大體ノコトデアル、ソコデ此線ハ大阪ト山陰トノ聯絡線デアリマスガ、是ハ申スマデモナク陰陽ノ聯絡線デアッテ、陰陽ニハ御承知ノ如ク十六箇國アル、其十六箇國アルノニ播州ハ東ノ端、但馬ノ國モ東ノ端デアッテ、其次ハ因幡、此東ノ端ノ鳥取ト播州ノ國ト聯絡ヲ附ケテ、ソレカラ西ニ往クト伯耆トカ出雲石見、下ノ方ハ周防長門安藝備後備前斯ウ云フ國ト云フモノハザラシク長クナクテ居ルニ拘ラズ山陰山陽ノ聯絡線ヲ東ノ端ニ置クト云フノガ先ヅ第一ニ私ニハ分ラナイ、政府ノ案ヲ出サレタニハ大阪トノ聯絡ガト云フ妄想ガアルカラデアラウ、ソレカラモウ一ツ申スノハ播州ノ姫路ヨリ播但鐵道ト云フモノガアッテ、是ハ播但私設鐵道デ當議場ニ居ラレル藤田高之君杯ガ關係ガアッテ飾磨港カラ但馬ノ國ノ和田山トカ申ス所、則チ播州ト但馬トノ陰陽ノ聯絡ハ東ノ方ハ私設鐵道ガ聯絡ヲ附ケテ居ルノデアル、ソレニ持ッテイッテ先刻決議ニナリマシタヤウデゴザリマシタガ、京鶴線ト云フモノガアッテ、京都カラ舞鶴ニ往クノガアッテ、是ガ福知山ノ側ヲ通ル、ソレカラ播但鐵道ガ登ッテ但馬ノ和田山ト云フノガアルガ、是ハ近クシテ大阪カラ出テ往ク阪鶴鐵道ガ矢張私設鐵道トシテ和田山デ播但鐵道ト合併スルト云フ希望ヲ持ッテ居ラレルト云フコトデアル、サウスレバ爰ノ處デ陰陽聯絡線ト云フモノハ幸ニ國ノタメニ私設鐵道會社ガ東ノ端ハ持ヘテ呉レテアル、ソコヘ持ッテ往ッテ山陰道ノ縱貫線ハ第二期線トシテ出サレテアルカラザツト北ノ方ハ出來テ南ノ方ハ山陽鐵道ガアル、山陽ト山陰ト聯絡ヲスルニハ東ハ播但鐵道ガアッテ姫路カラ起キテ居ルノニ、國庫デ又播州姫路カラ鳥取ヘ出テ往カナケレバナラヌト云フノハ實ニ可笑シイ、是ハ畜ニ大阪トノ聯絡ト云フコトバカリヲ考ヘレバサウデゴザイマセウガ、陰陽聯絡ト云フコト、今一ツニハ四國カラ致シマシテ山陰道ノ國ニハ聯絡ヲ附ケルコトデアッテ、北海ノ肥料ガ出テ來ルノガ山陰山陽ノ聯絡ガ出來レバ四國ヘモ行キ、又四國カラ北ノ方ニ向ッテ行クト云フコトモ考ヘテ貫ハナケレバナラヌ、ソレヲ大阪聯絡——大阪ヘノ聯絡ヲ云々ト言ハレルガ、大阪ニハ北海カラ來ルニハ唯今デハ若狄ノ方ノ敦賀カどつおデスガ、敦賀アタリカラ來ルノガ京鶴線ガ出來レバ大阪ニハ——阪鶴線ガ出來レバ大阪ニハ北海ノ荷ガどん／＼ヤッテ來ルヤウニナル、サウスレト大阪トノ聯絡ニ大變重キヲ置イテ説明サレルケレドモ唯單純ニ山陰ノ人ミガ大阪ノ方トノ取引ト云フコトバカリデアレバデゴザイマスガ、何ゾ圖ラン大阪ニ近クスルト藝州ノ廣島トカ備前ノ岡山トカ云フモノト取引ガアルノニ、ソレニ不都合ニナル、又四國ト云フたゞシタモノガアッテ、是トノ取引ヲスル聯絡ニモ益播州姫路ニ持ッテ往ケバ不利益ニナッテ利益ニハナラナイ、サウシテ大阪ノ聯絡ト云フコトハ

往ケバ不利益ニナッテ利益ニハナラナイ、サウシテ大阪ノ聯絡ト云フコトハ



外ノ鐵道十分出來得ルコトデアリマスカラ、是ハ陰陽聯絡線デアルカラ大阪ニ近クナルト云フコトニ重キヲ置クコトノ理由ハ更ニ私ニハ合點ガイカナイ、サウデアリマスカラ成ルベク此線ハ西ニ持ッテ往クガ宜シイ、西ニ持ッテ往ケバ何ガアルカト云フニ備前ノ岡山カラ行ク一線ガアル、是ニハ政府委員ハあぶと式ガアルト云ヒ、一方デハ無イト云フ水掛論ノ話ニナッテ居ルガ、政府デあぶと式ノアルノガ不可デアルト云フナラバ、私設鐵道ハ無イト云フノデアリマスカラ、有ルカ無イカノ事實ノ調ヲシナケレバナラナイ、無イト極マツタ上デハ又判斷ガ變ルカモ知レナイ、議場ノ諸君モ是ニハ御贊成デゴザイマセウ(ひやく)ソレカラ又備中倉敷線見マスルト、アレハ讚州丸龜カラ煙モ見エルト云フ程ノ向フトこちと港デアッテ、僅二時間カ三時間デ船ガ著クノデ、四國カラ出マスルト兒島ノ鐵道ニ乗ッテ倉敷カラ境港ニ往クノハ哩數モ近ク一直線デアスウ云フ比較ノ宜イモノガアルノデゴザイマス、宜イモノガアルナラバ兎ニ角、是ハ一ツ私ハ篤ト考ヘモノデアルト思フ、ソレデ政府委員ハドウ申スカト云フト、中央鐵道ノ八王子カラ名古屋ニ出ル鐵道、篠ノ井ヨリ松本ヲ經過シテ諏訪邊ノ何處カニ合スルノガアリマシタガ、此二ツハ此處デ可決シタナラバ豫算案ヲ出ス、其外ハ私設會社デ私設モ致サウガ、其他ハ先ヅ此處デハ豫算ハ出サナイ積リデアルト云フコトガ昨日以來ノ政府委員ノ説明ニ意味シテ居ル、サウシテ見レバ諸君ト吾ミガ此短日月間ニ他ノ比較線ノ善イ惡イ、あぶと式ガ有ル無イト云フ水掛論ガアルニ拘ラズ詰リ政府ノ仰セ通り御尤ト政府ノ原案ニ御辭儀ヲシテ民間ノ人ノ言フノハ間違ッテ居ル、政府御尤ト云フテどんく贊成ヲシテ鐵道委員ニデモナラウト思フナラバ、ソレモ宜シイケレドモ(ひやく)笑聲起ル)國家ヲ誠實ニ思フ人デアル以上ハ、兎ニ角此所デハ此原案ヲ一度否決シテ置イテ十分岡山線杯ノ調モ致シ、又兒島鐵道ト云フ方ノ四國トノ聯絡ヲ篤ト見テ置クト云フコトガ最モ必要ト思フ、ソコデ先刻政府ノ委員ハ紀淡海峽ノ事柄ニ就イテ軍事上強テ差支ハナイ、播州姫路デモ差支ナイト言ハレタガ、是ハ較ベ物ノコトデアッテ、此利害ヲ較ベテ見ルト播州姫路デモ差支ナカラウガ、モソツト西ノ方ニイッたらモツト宜クハナイカ、較ベテ見タ上デ紀淡海峽ガ一旦敗レルト云フヤウナ時ニナルト、直ニ姫路ヨリ四國トノ間ニ控ヘテ居ル、内海ニ這入ッテ來ルカラ陰陽ノ聯絡線ハモツト西ノ方ガ宜クハナイカト吾ミハ言フノデアアルガ、ソコニ心附カレテ政府委員ノ親切ノ御答ガ欲シカッタガ、政府委員ハ自分ノ案ヲ通スニ汲々トシテ差支ナイト言ハレタノデ、どちらガ宜シイト云フ答ガナイ、此答ガナイノモ矢張私ノ考ニハどちらカト較ベレバ西ノ方ガ宜イト云フノデアラウト思フ、以上ノ理由デゴザイマスカラ諸君ト吾ミハ此處デ汗水ヲ垂シテ極ク短イ期限ノ間ニ可決シテモ、豫算ハ出サズ工事ニ著手ハシテ吳レナイ、兎ニ角此原案ト云フモノハ此期デハ先ヅ廢案ト云フコトニドウカ滿場ノ諸君ニ御贊成ヲ願ヒマス

(討論終結)ト呼フ者アリ)

- 山田泰造君(二百八十四番) 御尋申シマスガ、此姫路境間ノ線ガ惡ルイ——斯ウ云フノデスナ、サウスルト之ニ易フルニ岡山ガ宜シイ、則チ君ノ選舉地ノ方ガヨリ宜イデハナイ、モツト……
- 守屋此助君(百十二番) 山田サンサウ御互ニ皮肉ナコトヲ言ハズニ……冷カシハ御免ヲ蒙ル
- 綾井武夫君(十一番) 一寸政府委員ニ質問致シタイ
- 山田泰造君(二百八十四番) 御答ガアリマセヌカ
- 守屋此助君(百十二番) 冷カシニハ答ヘマセヌ
- 綾井武夫君(十一番) 一寸政府委員ニ質問致シタイデスガ……
- (討論終結)ト呼フ者アリ)
- 議長(楠本正隆君) 討論終結ニ定數ノ贊成ガアリマス、決議ヲ採リマス、討論終結ニ同意ノ諸君ハ起立
- 起立者 多數
- 議長(楠本正隆君) 多數——此二讀會ヲ開クヤ如何——決議ヲ採ルニ當ッテ綾井武夫君ヨリ二十名以上ノ贊成ヲ得テ記名投票ノ決議請求ガゴザイマス、是ハ議院規則第二百二十七條ニ「二十名以上ノ贊成アルトキハ記名ト無名ノ投票ヲ爲サシムヘシ」トアルニ依ッテ記名投票決議ヲ採リマス
- (贊成々々)の「」ノ聲起ル)
- 議長(楠本正隆君) 是ハ規則ノタメニ止ムヲ得マセヌ——閉鎖ヲ命ジマス
- (投票ハドウ云フ投票デスカ譯ガ分ラヌ)ト呼フ者アリ)
- 議長(楠本正隆君) 二讀會ヲ開クニ同意ノ投票——記名投票ヲ以テ二讀會ヲ開クベシト云フコト、是ハ規則ニ從ッテ致方ガナイ
- 綾井武夫君(十一番) 一寸心得ニ言ッテ置キマス、原案ヲイヤダ、即チ廢案ト云フ方ガ青デスカ
- 議長(楠本正隆君) 開クト云フコトガ白、開クベカラズト云フコトガ青
- (書記官氏名ヲ點呼ス)
- 議長(楠本正隆君) 是ヨリ開匣ヲ致シマス
- (書記官投票ノ數ヲ計算ス)
- 議長(楠本正隆君) 投票ノ結果ヲ報道致シマス
- 總數二百二十一
- 二讀會ヲ開クヲ可トスル者 百三十二票
- 否トスル者 九十六票
- 無效 三票
- 田中源太郎君(二十八番) 直チニ二讀會ヲ開クコトヲ希望致シマス
- (贊成々々)ノ聲起ル)
- 綾井武夫君(十一番) 一寸政府委員ニ質問ガアリマス
- 議長(楠本正隆君) マダ二讀會ヲ開キマセヌ——二十八番ノ動議デ直チニ二讀會ヲ開クト云フ請求、直チニ二讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠木正隆君) 多數、直チニ二讀會ヲ開キマス

(戊)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案(政府提出) 第二讀會

○綾井武夫君(十一番) 政府委員ニ質問ガアリマス、陸軍ノ方ノ政府委員ニ……

○議長(楠木正隆君) 修正案ガアリマスカラ朗讀致シマス、修正案ノ朗讀ヲ此場合ニ致シマス、此案ニハ修正ガ三ツゴザリマス、朗讀ヲ致シマス

(町田書記官朗讀)

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法第七條中山陰山陽聯絡豫定線比較線路ハ左ノ線路ヲ採ル

一岡山縣下倉敷ヨリ鳥取縣下境ニ至ル鐵道

提出者 東良三郎君

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法第七條中山陰山陽聯絡豫定線比較線路ハ左ノ線路ヲ採ル

一岡山縣下岡山ヨリ津山ヲ經テ鳥取縣下境ニ至ル鐵道

提出者 加藤平四郎君 綾井武夫君 武内正志君

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法第七條中山陰山陽聯絡豫定線比較線路ハ左ノ線路ヲ採ル

一兵庫縣下龍野驛ヨリ鳥取縣下鳥取ヲ經テ境ニ至ル鐵道

提出者 大津淳一郎君 肥塚 龍君 改野 耕三君

○議長(楠木正隆君) 十一番

○綾井武夫君(十一番) 先刻一寸質問致シマシタ中ニ落チマシタノデゴザリマスガ、此「兵庫縣下姫路ヨリ鳥取縣下鳥取ヲ經テ境ニ至ル鐵道」ト云フモノハ兵事ノ關係ガ重モデゴザリマスガ、經濟上ガ重モデゴザリマスカタト云フネナケレバナラヌト云フコトハ、私ノヤウナ素人デハ分ラヌコトデゴザリマスガ、日本ノ此兵隊則チ師團ノ配置方ハ固ヨリ六七區ニ分テ居リマスガ、其中デ一朝事アルノ時ハ九州大阪東京ト云フ所ノ兵隊ハ動かスコトハ出來ナイ、遊軍トナツテ往クモノハ廣島名古屋宮城デアルト云フコトヲ聞イタコトガゴザリマス、果シテ然ルナラバ先ヅ此兵備ト云フ上カラ言ヒマス、山陰アタリニ事ノ有ル時ニ兵ヲ繰込ム所ノ其元ハ何處デアルカ、私ノ考デハ或ハ廣島ガ重モニナルデハアルマイカト思フノデアアル、然ラバ姫路カラ鳥取ヲ經テト云フコトニナリマスト大變此線路ガ東ニ寄リマスガ、或ハ私ノ聞イテ居ルノガ誤リデ、大阪ノ兵隊ハ何處デモ往ケルノカ、又大阪アタリカラ出シテ往クノガ御目的カト云フコトヲ陸軍ノ御方ニ一寸承リタイ

(政府委員陸軍次官兒玉源太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(兒玉源太郎君) 十一番ニ御答申シマスガ、此事ハ少シク作戰上ニ涉リマスカラ、明カニ御答ハシマセヌ、併ナガラ凡ソ山陰ニ事ノ有ルト云

フ場合ニ向ツテは大坂以東ノ兵ガソレニ向フデアラウト云フコトヲ御想像ニナルガ確デアルト思ヒマス

○綾井武夫君(十一番) 一寸聞キマスガ、事有ルト云フコトハ内亂デハアルマイカ

○政府委員(兒玉源太郎君) 内亂デハ無論ナイ

○議長(楠木正隆君) 百三十六番東良三郎君

(東良三郎君演壇ニ登ル)

○東良三郎君(百三十六番) 本員ハ此案ヲ修正シテ「岡山縣下倉敷ヨリ鳥取縣下境ニ至ル鐵道」斯ノ如キ修正案ヲ提出シテ居リマス、就イテハ此案ニ對スル意見ヲ諸君ノ面前ニ於テ述ベヤウト思フ、陰陽聯絡ノ線路ニ就イテハ鐵道敷設法ニ於テ第一姫路ヲ起點トスルコト、第二岡山ヲ起點トスルコト、第三倉敷ヲ起點トスルコト、此三ツノ比較線ニナツテ居リマスガ、曩ニ特別委員長ノ報告ニ依ツテ之ヲ聽ケバ、唯姫路ハ大阪ニ近イト云フノ理由ト、他ノ線路ニ比シテ線路ガ宜イト云フ位ノ話デ、一向取止メテ説ハナカッタ、此三線ノ中本員ヨリ提出致シテ居リマスル倉敷線路ニ付イテハ善イカ惡イカト云フコトノ説明ヲ聞キマスニ、唯倉敷線ハ取調ベテ見タ所ガ意外ニ惡ルカッタト云フ丈ノ一言ニ止ツテ居ッタノデアリマス、自分ハ當時何故惡ルイカ、如何ナル點ニ意外ニ惡ルイ線路ガアッタカ、如何ナル地方ガ他ノ線路ニ比シテ惡ルイカト云フコトヲ質問シヤウト思ッタケレドモ、其無益ナルヲ覺ツテ中止シタ譯デアアル、何故ト申セバ曩ニモ諸君ノ御聽ノ通り、他ノ諸君カラ質問サル、ニ當ツテ、取調ガ不十分デアルト推察セラル、ナラバ、ソレデ宜シイト云フテ自分ノ無責任ナルコトヲ甘シテ、此壇上デ自白シタ、斯ノ如キ無責任ナル特別委員長ニ對シテ質問ヲシタ所ガ、質問ノ要領ヲ得ヌコトハ見エ切ッタコトデアリマスカラ、質問ハ中止シタコトデアリマス、多分質問シタ所ガ惡ルイト思ッタト云フ丈ノコトニ止マラウト思フ、ソレデ原案ノ姫路起點ノ線路ガ特別委員會ニ於テ可決シタ、政府モ此原案ヲ出シタト云フ理由ハドウ云フ譯デアアラウカト考ヘテ見マス、御承知ノ如ク此姫路線ハ眞直ニ北ニ向ハズシテ姫路ノ西ヲ斜メニ向ヒ、鳥取境ニ至リマシテハ眞直線ニ縱貫線ヲ經過スルノデアアル、縱貫線ハ他日敷設セラレル線路デアアルニ拘ラズ此縱貫線中途ノ鳥取ニ聯絡ヲ通ズルト云フノハ何ノ必要ガアルカ、此事ハ甚ダ分ラナイ、想フニ境ヨリ 鳥取ニ至ル線路、鳥取ヨリ姫路ニ至ル南地ノ線路、此線路ノ經過スル土地ハ彼ノ 岡山縣倉敷線ニ比シテ 線路ガ長イ、線路ガ長イカラ地面ガ廣イ、地面ガ廣イカラ從テ此線路ニ關係ノアル議員ガ此議場ニ多イ、多イカラシテ政府ガ原案ヲ出ス時ニ其關係ノアル議員ガ贊成スルデアラウ、贊成スレバ他ノ熱心ナ議員ト提携シテ手ヲ引合セテ成立ツヤウニヤッタガ宜イト云フヤウナ考デ、所謂同志會、同志會ガ提携スルニ便利デ、廣イ所ノ議員、議員ノ多數ヲ蒐集シテ集メル目的ノタメニ出來タノデアツテ、線路ノ可否ハ少シモ著目シナカッタト云フコトヲ自分ハ確信スルノデアアル、

本線ハ名稱ニアル通り陰陽聯絡ノ線路デア、然ルニ先ノ辯士モ述ベマシタル如ク大阪ニ向テ近イヲ目的トシテ姫路線ヲ選シタト云フコトハ一向分ラナイ、言フマデモナク日本ハ細キ長キ國デア、北ハ縦貫線ヲ敷キ、南ニモ同シク縦貫線ヲ敷キ、其適當ノ場所々々ニ南地ヲ貫イタル處ノ横貫線ヲ敷キ、楕子形ニシナケレバナラヌト云フコトハ鐵道ニ委シキ人ノ持論デア、誰モ異論ノナイコトデア、然ルニ姫路ノ土地カラシテ播但鐵道ト申ス線路ガ東北ニ向テ既ニ貫イテ居ル、此所カラ又鳥取境ニ向テ起點トシテモウツ線路ヲ敷クト云フト、一所カラ斯ウ(此時演說者手ヲ以テ三角形ヲ示ス)斯ウナリマス、形ガ、楕子形ニ鐵道ヲシナケレバナラヌト云フ本旨ニ背キマス、斯ノ如クナリマス時ハ陰陽聯絡ノ目的ニ違背スルコトハ勿論運搬ノ便利交通ノ便利ヲ計ルト云フ處ノ目的ニ適ハナイト云フコトハ當然ノコトデア、且ツ又陰陽聯絡線ハ何處デモ北ノ方ノ線路ノアル所ト繼ギテ附ケサヘスレバ宜イト云フ譯ノモノデハナカラウ、若シ繼ギテ附ケサヘスレバ宜イト云フコトデア、何所ニ附ケテモ構ハナイ譯ノコトデア、ケレドモ聯絡ヲスルニハ起點ノ地方適當ナルヤ否ヤ、又終極ノ地方適當ナリヤ否ヤヲ第一ニ見ナケレバナラヌ、姫路ハ唯今申ス如ク大阪ニハ近イケレドモ海岸ニハ大分離レテ居ッテ、海運ノ便利ト云フモノハ何ニモナイ、之ニ反シテ自分ノ提出シテ居リマス倉敷ト云フ所ハ諸君ハ御聞ニハナラヌデアラウ、ケレドモ兒島鐵道ト云ヘバ既ニ許可ニナッテ居ル私設鐵道ト聯絡ヲシテ、兒島灣ト云ヘバ海水穩ナル四國ヲ控ヘテ居ル真灣ニ接續シテ、此南地聯絡ノ鐵道ニ乘レハ、北ハ境ヨリ直ニ南方ハ兒島灣ノ下村ヘ著キ味野港ニ到著シ得ルデア、斯ノ如ク南ハ兒島灣ノ港、北ハ山陰第一ノ良港タル境、起點ノ地終點ノ地共ニ適當ノ場所デア、是ヲ原案姫路ヲ以テ起點トスル所ノ線路ニ比シテ其終點ハ同ジデア、ケレドモ起點ノ真否ニ相違ガアル、是レ則チ倉敷ノ優ッテ居ルト云フコトハ言葉ヲ多クセストモ自然分リ切タコトデアアラウト思フデア、又原案ノ線路ハ則チ姫路ヨリ起ッテ所ノ線路ハ私ハ實地ヲ旅行シテ見タコトガアルデア、頗ル山高ク聳エテ險阻ナル土地ガ非常ニ多イ、之ヲ倉敷ヲ起點トシテ倉敷ヨリ伯耆ヘ越ス處ノ小路ニ比スレバ餘程險阻ト平易ノ區別ガアル、同ジ山陰山陽ヲ遮キッテ居ル處ノ山脈デアアルケレドモ、倉敷ヲ起點トシテ備中伯耆國境ニハ又平易ナル所ガアル、四十分一以内ノ普通ノ勾配ヲ以テ線路ヲ敷設シ得ル立派ナル所ガアル、然ルニ特別委員長ハ唯案外ニ惡ルカッタト云フコトデア、何處ガ惡ルイカ一向分ラナイ、南ハ倉敷ヨリ北ハ高梁新見ト云フ所ニ至ルマデ川筋ヲ傳フテ平坦ニ往ケルデア、其新見ト云フ所カラ上市ト云フ所カラ千屋ト云フ所マデ平坦ナル所デア、千屋ト云フ所カラ少シ峠ヲ越スデアリマスガ、此峠ハ私ノ實見スル處デア、山陰山陽ノ脊ヲ遮ッテ居ル所デ、最モ平易ナ往來デア、古來備前播州邊ノ人ガ能ク備中ノ方ヘ廻ッテ此處ヲ越シタト云フデア、平坦ナル處デア、此地方ノ人ハ私設鐵道ヲ計畫シテ此線路ヲ選シテ居

ルト云フ所ノ事實モアルデア、且ツマダ他ニ理由ガ色ニアリマスルガ、重要ナル理由ヲ今一二列ベテ見マスレバ、本線路ハ姫路線岡山線ニ比シテ、倉敷ヲ起點トスル線路ハ一番短ウテ一番直線デア、真直クニナッテ居ル、路線ハ言フマデモナク斜ニ横々ニ歩イテ居ル、岡山モ少シ蛇曲シテ居ル、倉敷線ハ真直クニ通過シテ居ル、真直線ナルノミナラズ今申ス如ク道路ガ平坦デアリトスレバ、他ノ線路ニ比シテ敷設費用モ少イコトモ無論ノコトデア、鐵道ヲ敷設スルニハ單リ通過スル處ノ土地ノ善イ惡ルイヲ論ズルノミナラズ、第一敷設ノ費用ノ少イヲ望ムト云フコトハ是レ亦考ヘナケレバナラヌ、ソレカラ尙ホ本線路ノ通過スル土地ハ如何ナル土地ヲ通過シテ此線路ヲ取レバ如何ナル便利ガアルト云フコトヲ一言致シテ置キタイデアリマス、倉敷ノ線路ヨリシテ境ニ通ズル所ノ途中ニハ有名ナル吉岡銅山ト云フ所ガアル、日本デモ東ハ尾去澤銅山、西デハ吉岡銅山ト云フ有名ナル銅山デア、多額ナル礦物ヲ產出スルデア、且ツ此近邊ニハ獨リ吉岡銅山ノミナラズ、此山脈ニ連ッテ居ル多數ノ鑛山ガアッテ多額ノ礦物ヲ產出スルデア、其他紅殼若クハ綠礬、烟草、藍ナド、云フ多數ノ物產ヲ產出シテ居ル、是等物產ヲ南海ニ運ブニハ倉敷ヲ經テ兒島灣ニ至リ、兒島灣ノ下村若クハ田ノ口、若クハ味野等ノ港ヲ經テ之ヲ右ノ方ハ九州、左ノ方ハ京阪、南方ハ四國ニ分配スルト云フコトニハ誠ニ適當ナル線路ヲ便利ト云フコトハ實ニ他線路ニ比較シテ餘程重大ナル便利デア、且ツ本線路ニ就イテハ北海ノ終極點境、若クハ伯耆ノ米子地方ノ者ガ熱心ニ贊成シテ居ルデア、此境ト云フ土地ハ何レノ土地カラ往ッテモ姫路線カラ往ッテモ岡山線カラ往ッテモ、境ハドウシテモ鐵道ノ終極點ト云フコトハ離レマセヌガ、其境ニシテ他ノ線路ハイヤダ、是非共倉敷線ヲ以テ起點トシテ貫ヒタイト熱望ヲ抱イテ居ルノハ何故デア、ト云ヘバ、山陰第一ノ良港タル境ニ集ッテ來ル肥料其他ノ物產ノ需要者タル各地ニ分配スルニハ最モ備中線ヲ取ルノガ目的ニ合スルト云フ、何故ト云フナレバ是等ノ物產物品ヲ分配スルハ獨リ大阪ニ送ルノミデア、重ナル部分ハ備前備後藝州、南ハ四國一圓、此邊ガ重ナル客筋デア、ソレ故倉敷線ヲ取ッテ物品ガ倉敷線近傍ニ到達スレバ右ハ尾ノ道ニ通ジテ、南ハ直ニ海岸ヨリ眺メ得ル所ノ四國ノ讚岐若クハ伊豫ニ小舟ヲ以テ運搬シ得ルデア、斯ノ如ク何レニアッテモ鐵道ノ利便ヲ達シ得ラル、境若クハ境近傍ノ地方ノ人民モ一般ニ此西方線倉敷線ヲ以テ最モ適當ト信シテ居ルデア、且ツ茲ニ自分ノ此線路ノ平易ニシテ山陰山陽ノ中間ヲ遮ッテ居ル山ノ中デモ、此線路ノ通過シテ居ル山ガ平易ナルコトヲ證據立テテ一ノ事實ガアル、其事實ハ是迄郵便ノ脚夫ガ山陰山陽ニ往來スルニ當ッテ作州ヨリ備前ヲ通り越シ、若クハ藝州ヨリ但州ニ通ル路、若クハ但州ヨリ因幡ノ方ニ通ル路ハ冬ノ寒イ時ニ當ッテ屢々雪ノタメニ沮マレテ郵便線路ノ絶エルコトガアルニ、獨リ備中ノ線路、先刻申シタ千屋村ヲ越シテ行ク平易ナル阪路ヲ通ル郵便線ハ一度モ絶エタコトハナイ、是ハ氣候ガ少シ山ノ地勢ト土地ノ地勢ガ温和ナルト、

土地ノ平易ナルガ故ニ、斯ノ如キ有様ヲ來シテ居ルト云フコトハ爭フベカラザル事實アル、斯様ナ理由ガアルカラシテ意外ニ倉敷線ヲ經過スル道ガ惡ルイト云フコトヲ得ザルノミナラズ、却テ此線路ガ意外ニ通過シ易イ、最モ適當ナル線路デアルト云フコトヲ發見シ得ルノデアアル、之ヲ要スルニ本線路ヲ適當トスル理由ハ數々アリマスルガ、最モ適當ナル理由ハ最初申シマシタ兒島鐵道ト聯貫シテ南ハ南海ノ極點ニ達シ、北ハ山陰第一ノ良港タル境港ニ達シ、起點ノ土地終極ノ點共適當ノ土地デアアル、此原案ニ比スルニ幾倍利益ガアルカ知レナイト云フコトハ爭フベカラザルコトデアアル、且ツ自分ノ取調ベタ所ニ依レバ荷物ノ數若クハ沿道ノ地方ノ人口若クハ乘客ガドレ位アルカ、計算ハシテアルガ、之ヲ長シク論ズレバ却テ倦厭ヲ來スト考フルカラ、唯本線路ノ適當シテ原案ニ優ツテ居ルト云フコトヲ茲ニ一言シテ置キマ

○議長(楠本正隆君) 加藤平四郎君

(加藤平四郎君演壇ニ登ル)

○加藤平四郎君(六十九番) 諸君、私モ此山陰山陽ノ比較線ノコトニ就キマシテハ一ノ修正案ヲ提出シテ居ルノデゴザイマス、私ガ主張スル所ノ線路ノ利害ト政府ノ提出セラレテ居ル原案ニ就イテノ可否ヲ聊カ論ジャウト思ヒマス、勿論無味淡泊ナル鐵道問題ヲ斯ク連日ニ涉ツテ討議致シマスルノハ諸君ノ御倦怠ナサルト云フコトハ勿論ノコトデゴザイマシテ、敢テ無理トハ思ヒマセヌ(「謹聽シテ居リマス」ト呼フ者アリ)則チ唯今在席ノ諸君ノ如キハ勿論御熱心デゴザイマスガ、殆ド定足數ガアルカナイカ位ニ空位——缺席者ノ多イノヲ見テモ私ハ諸君ノ中ニハ此味ノナイ問題ヲ御倦怠ナサツタ御方ガ多イト思ヒマス(のー)如何ニモ御迷惑ナコトデモゴザイマセウト思ヒマシマス、併ナガラ斯ウ云フ問題ハ又論ズルニハ簡單ニ一言シテ盡スコトハ出來ナイノデゴザイマスカラ、私ハ諸君ノ御承知ノ通り一會期ノ間ニ於テモめつたニ登壇スルコトハゴザイマセヌ、唯諸君ノ御高説ヲ承ルノミガ平生ノ義務デゴザイマスカラ、諸君ハ其價トシテたまさかニ私ノ(のー)登ツタトキニハ私ノ演説ヲ暫時御靜聽下サルコトヲ希望致シマス(六時マデ遣リ給ヘ、一時十五分間アル)ト呼フ者アリ)私ハ全體地方有志ノ希望、地方人民ノ希望ヲ申シマスルナレバ、此線路ノ決定ヲ勝取ニ拘ラズ早ク決シテ貫ヒタイト云フノガ地方有志ノ希望デゴザイマスルガ、此國家ノ大問題ヲ今日ノ如ク鐵道問題トシテ當事者若クハ當局者ノ間ニ情實ガアルト認メテ居ル場合ニ、幾多ノ線路ヲ決セラル、コトハ甚ダ好ミマセヌノデゴザイマスルカラ、同志會ノ諸君ノ御意向ニ反シ、又地方選舉區ノ希望ニ反シテ自ラ帝國議會ノ議員トシテ頻ニ延期說ナドヲ主張致シタデゴザイマスル、私モ敢テ大勢ニ反シテ殊更ニ斯ノ如キコトヲ戲レニ論ズルノデハゴザイマセヌ、畢竟國家ノタメニ將來ヲ憂ヘテノコトデゴザイマス、併ナガラ私ノ本來ノ精神ハ斯ノ如キ調査ヲ要スル大問題ハ成ルベク後ニ廻シタイト云フノガ希望デゴザイマシタ、既ニ同

志會諸君ノ結合、政府ノ信用ガ厚クシテ一瀉千里ノ勢ヲ以テ昨日以來吾ガ主張スル所ノ說ハ一ツモ通リマセヌデ、皆敗北ヲ致シタノデゴザイマス、然ラバ今日モ又此勢ヲ以テ即チ信任ノ厚イ政府ノ調ベタ議案ハ或ハ大多數ヲ通過スルデゴザイマセウ、併ナガラ私ハ國家ノタメニ止ムヲ得ズシテ此處ニ此問題ヲ論ジナケレバナラヌ場合ニ遭遇致シタノデゴザイマス、サウシテ他ノ線路ト違ヒマシテ此山陰山陽ノ連絡線ニ就イテハ自分ノ郷里、自分ノ選舉地ニ關係モゴザイマスカラ、意見ハ既ニ定ツテ居ルノデゴザイマス、大體ノ上カラ延期ヲ唱ヘマシタガ、併ナガラ其延期說ハ潰レテ此處ニ決スルトシマスレバ是ニ就イテノ調査ハ及バズナガラ出來ルダケ致シテ居リマス、又自分ガ信ズル所ヲ以テ既ニ決斷モ付イテ居ルノデゴザイマス、ツレデ茲ニ私ハ此問題ニ就イテハ地方ノ感情ヤ或ハ團結ノ往掛リト云フヤウナコトデナクシテ、此鐵道問題ニ就イテハ成可ク團結ノ關係ヤ或ハ地方ノ關係ノナイ——諸君倦マズシテ十分ニ利害ヲ聽取ツテ公平ナル御判決ヲ下サレタナラバ誠ニ勝敗ニ拘ラズ私ノ満足スル所デアリマス(然リト呼フ者アリ)故ニ私ハ是ヨリ山陰山陽ノ聯絡線ノ三ツニ就イテ大體ノ利害ヲ論ジャウト思ヒマス、既ニ先刻東良三郎君ヨリ述ベラレマシタ倉敷線ノコトデゴザイマスガ、此倉敷線ト云フモノハ私ガ主張スル岡山線ト云フモノトハ起點ニ於テハ僅ニ四五里ノ距離ノ間デゴザイマス、此中間ニ於テ其線路ガ往合ヒマスル所モズツト先ノ端デナク途中デ往合フ位デアリマスカラ、東方鐵道ニ對スル上カラ言フト此倉敷線ト岡山線トノ關係ガ稍々相近イノデゴザイマス、比較的ニ申シマスレバ東方線ヨリ倉敷線ノ方ガ尙ホ善イト云フコトニナルノデゴザイマス、故ニ西方線ノ利害ニ就イテハ——倉敷線ニ就イテハ餘リ深ク論ジマセヌ、大體此御互ニ鐵道敷設法ヲ設ケマシタ、敷設法案ノ精神ト云フモノハ中國則チ山陰山陽ノ間ニ於ケル鐵道ニ就イテハ大體ノ設計ガドウ云フコトデアアルカト云フト、東君モ述ベラレマシタガ山陰道ト山陽道ノ間ニ措子ノ親骨ヲ造ツテ其間ニ橫斷線ヲ三ツ拵ヘテ措子ナリノ後ト先キニ二期二期テ山陰山陽ノ間ノ鐵道ヲ拵ヘルト云フ法律ノ精神ナノデゴザイマス、而シテ此鐵道敷設法ガ定メタ線橫斷線則チ聯絡線ニ於テハ東方ニ於テ陰陽兩道ノ東方ニ於テハ土鶴線京鶴線ヲ比較シテ其中デ一ツ採ル、又中間ニ於テ本問題ノ三線ノ中ヲ採ツテソレカラ第二期ニ於テ廣島ヨリ濱田ニ至ル橫斷線ヲ造ル、斯ウ云フ計畫ニナツテ居ルノデゴザイマス、其割カラ申シマスレバ今京鶴線ヲ假ニ陰陽連絡線ノ東方線ト致シマスレバ、是ヲ以テ尺度ヲ立テ、往キマシテモ真中ノ聯絡線ト云フモノガ岡山線若クハ倉敷ノ線ニナラナケレバナラヌ、サウシテ廣島トノ間ニ於テ丁度宜イ加減ノ割合ニナルノデアアル、然ルニ今此東方線ト云フモノハ曩ニ工藤行幹君ヨリ政府委員ニ質問モアツタガ如ク、地圖ヲ知ラヌトア、云フ間違ガ出來テ來ル、アレハ陰陽ノ聯絡線デナイ、是ハ山陰道ニ縱貫線ヲ半

以上上拵ヘルノデアル、サウシテ其端ヲ大阪神戸ニ通ズル繋キヲ付ケルト云フ位ナ關係ヲ持ッテ居ルノデアル、陰陽連絡線ト云フ關係ノ上カラ言ヒマシレバ東方線ハ誠ニ適當デナイノデアル、且ツ諸君モ御承知ノ通ニ土鶴線カ京鶴線ガ既ニ一ツ出来ルト云フコトニナリ、又此政府ヨリ此期ニ提出シテアル私設鐵道ノ許可ヲサレテ居ル中ニ、阪鶴線ト云フノガゴザリマス、サウシテ既ニ許サレテ今幾分カ成就シテ居ル所ノ播但線ト云フモノモゴザイマス、是モ姫路ガ起點ニナッテ居ルノデゴザイマス、サウスルト此山陽ノ東部ニ於キマシテ起點トナリ、姫路神戸近傍ニ於テ既ニ三ツノ線路ガ出来テ居ル、其上ニ尙姫路起點ノ線ヲ取ッテ之ヲ決スルナラバ、東ノ方ニ堅メテ三線モ四線モ山陰山陽ノ横斷線ニ造ッテツレカラ西ノ姫路迄一ツモ横斷線ナシニ往クト云フコトニナルト、丁度楮子ヲ造ルノニ下ノ方ニ三本モ四本モ足モ通ラヌ程ニ拵ヘテ、其上ノ方ニハ手モ届カヌ所ニ一本拵ヘテ置クト云フ楮子ノヤウニナル、サウ云フ楮子デハ決シテ通用セヌト思ヒマス、是等ノ點ニ於キマシテモ地形ノ上カラ姫路線ト云フモノハ、最モ不適當ナモノデアリマス、又此線路ノ關係ノアル地位ニ居ル者カラ論ジマスレバ、或ハ偏頗ノ論ヲ——我が田ニ水ヲ引クヤウナ論ヲスルヤウニ御聽取ニナルカモ知ラヌガ、今日マデノ線路ハ政府ガ如何ニ扱ッテ居ルカト云フニ私ガ主張スル岡山線ノ如キハ政府ハ御承知ノ通り繼子ありらニシテ居ル、サウシテ姫路線ハ我子ありらニシテ居ル、真ノ我子トシテありらニシレバ古人ノ所謂人其子ノ惡シキヲ知ル者ナシト云フ譯デ、東方線ニ就イテハ如何ニ缺點ガアッテモ、政府ノ眼ニハ惡ルイトハ見エナイノデアル、中央線或ハ倉敷線ニ就イテハ如何ニ長所ガアッテモ、政府ニハ見エナイノデアリマセウ、サウシテ委員長ノ報告ニモ又政府委員カラノ答辯ニモ東方線ノ利トスル所ノモノハ唯京阪ニ近イト云フ丈デアルガ、若シ之ヲ以テ言フナラバ關西ノ方ニハ神戸大阪モ商業ノ中心デアルト云フコトハ獨リ山陰道ニ限ラヌノデアル、山陽道ノ商業ノ中心モ神戸大阪ト謂ッテ宜シイ、四國九州ノ商業ノ中心モ神戸大阪デアルト云フモ宜シイ、サウシテ若シモ山陰縱貫線ノ議論ヲスルノデアッテ、神戸大阪ニ聯絡ヲ付ケルト云フ說ナラバツレモ宜イガ、茲ニ現レテ居ル問題ハ山陰ノ縱貫線ニアラズシテ山陰ノ縱貫線ハ法律ニ於テ第二期ニ設クルノ計畫デアアル、第一期ニハ則チ山陰山陽ノ真中ノ連絡線ヲ拵ヘルノガ主デアアルカラ、京阪ニ近イカラ之ガ一番宜イト云フヤウナコトハ少シモ議論ガ立タヌト云フコトハ東君ノ辯セラレタ通デアアル、又假ニ神戸大阪ニ近イノガ一番此線路ノ決定ヲ取ル上ニ於テ價ヲ持ツモノトスレバ吾々ガ主張スル比較線ノ三ツノ中ノ中央線ト云フノハ色々便利ナ事ガゴザリマシテ、部分ノ比較ハ幾ツモゴザリマスルガ、若シモ之ヲシテ少々線路ノ變更ヲ致シマスレバ、則チ此中ニ和氣線ト云フモノガアル、其和氣線ト云フモノニ致シマスルト云フト神戸大阪ニ向ケテ往クニ即チ山陰ノ境カラ神戸大阪ニ向ケテ往クニ姫路線ヨリ尙ホ二十何哩近クナル、サウシテ其線路ガ殊更ニ他ト比シテ困難デアアルカト云ヘバ決シテサウデ

モナイ、容易ク出来ル線路デアッテ、唯起點ガ岡山ト和氣ト比較ヲ取レバ岡山ガ便利ト云フノデアル、サウ云フ點カラ考ヘテ見マスレバ若シ神戸大阪ニ近イ方ヲ主トスレバ、和氣線ヲ取ッテ往ケバ姫路線ヨリ餘程神戸大阪ニ近クナルシ、又且ツ此線路ニ依リマスル——是カラ拵ヘル聯絡線ノ里程ヲ短クシヤウト云フコトヲ主眼ニシテ言フナラバ、此線路ガ一番短クナル、今此三線路ニ就イテノ里數ヲ見マスルト東方線ガ百三十五哩、サウシテ私共ガ主張スル所ノ岡山線ハ百二哩、倉敷線ト云フモノガ九十六哩デアアル、是ハ孰モ其鐵道局カラ技師ヲ出シテ調ベマシタ結果ガサウナッテ居ル、サウ致シマスルト東方線ト云フモノハ、中央線則チ岡山線ニ較ベテ里數ガ三十三哩長イノデアアル、ツレカラ倉敷線ニ較ブレバ三十九哩程延ビル、サウシテ若シ今ノ和氣線ト云フモノニ致シマスレバ、是ハ僅ニ八十何哩ト云フ位ニナル全線ガ——其線路ヲ取ッテ見マスレバ東方線ヨリ凡ツ三分ノ一ヲ減ズル譯ニナル、東方線ハ百三十五哩デアッテ和氣線ハ僅ニ八十五哩デアアル、則チ三分ノ二、東方線ノ三分ノ二デ濟ムヤウナ譯デス、則チ里數ノ點カラ云ヒマスルト、此岡山線ニ於テ斟酌ヲスレバ之ガ一番近クナル、ツレカラ此京阪ヲ中心トシテモ此線路ガ一番近クナル、工費カラ申シマスレバ工費ガ政府ノ調ニ依リマスト倉敷ガ八百三十萬圓餘、岡山線ガ六百八十萬圓餘、姫路線ガ七百九十萬圓餘、則チ姫路線ハ殆ド八百萬圓、倉敷線ハ八百餘萬圓、岡山線ト云フモノハ六百何萬圓、殆ド百五十萬圓以上ノ金額ニ於テモ差ガアルノデアル、若シ和氣線ト云フモノニ致シマスレバ、尙ホ此上ニ八九十萬圓近ク減ジマスル譯デアアルカラ、政府ノ調ベ通ニ致シテモ、ドノ線路ヨリモ一番金額ガ少イノデアアル、此等ノ點ニ於テモ勿論中央線ハ岡山線ト云フモノガ一番宜イノデアアル、且ツ岡山線ニ於キマシテハ是迄ノ調ニ依リマスルト、鐵道廳ノ調ニ於テモ貨物ヤ其他收入ノ利益ノ多イ事ハ此線路ガ一番多イノデアアル、私ガウツナ割合杯ヲ一々御話スレバ、調ベテハ居リマスガ餘リ長クナリマスカラ省キマス、要スルニ此等ノ點ニ就イテモ宜イ、且ツ其線路ニ付イテ全體經濟上カラ言ヒマスルト利益ノ多イノト荷物ノ多イノト、ツレカラ里數ノ短イノト工費ノ少イノト將來ノ維持ニ於テモ便利ナノト種々兩線ヲ比較シテ長所ガ澤山ゴザリマスル、加フルニ倉敷ト同シヤウニ山陰山陽ノ聯絡ハ諸君モ御承知ノ通り山陰ノ貨物ハ山陽ニ出テ山陽ノ需用ヲ充タスノミナラズ、四國九州ニ向ッテ大ニ需用ヲ充タス譯ニナッテ居リマス、然ルニ之ニ就キマシテハ姫路線ニ於テハ御承知ノ通り姫路近傍ニハ港モ何モナイ、然ルニ岡山線ノ方ハ岡山ニ真港ガアッテ、今日モ朝夕ニ汽船ガ出入シテ居ル、四國トモ往復シテ居ル、ツレノミナラズ京阪地方——神戸大阪ニ向ッテモ今日山陽鐵道ガ出来テ居ルニモ拘ハラズ日々夜々ニ汽船ヲ以テ往復シテ居ルト云フヤウナ關係モゴザリマシテ、將來山陰地方ニ京阪地方カラ這入ル物、又山陰地方カラ京阪地方ニ送ル貨物杯モ鐵道ニ由ッテ運賃ノ高イモノハ日數ヲ急ガナイ普通ノ荷物杯ハ今モ船デ遣ル如ク、將來モ船ノ便ヲ假ルノデアアル、然ルニ船ノ便ヲ假ルコトニ就イテ

ハ岡山ニハ直グ港ガアツテ船ニ連續スルコトガ出來ル、又一章海水ヲ隔テ、四國ニ往ケル、九州ニモ繫ガルト云フコトニナツテ居ルカラ、此等ノ運搬上其他ニ就イテモ最モ便利ヲ得テ居ルノデアアル、ツレカラ(簡單ト呼フ者アリ)モウ一ツ此軍事上ノ事デゴザリマスガ、今日ノ鐵道ニハサウ軍事ノ事ガドノ線ニシテモ主眼トナルコトデアアルマイト思ヒマスガ、軍事上ノ事ヲ素人ナル吾ミガ餘リ深ク研究スル必要ハナイガ、唯一言申シテ置キタイノハ政府委員ハ嚮ニ東方線ニ就イテ軍事上妨ガナイトカ、アレガ善イト云フヤウナ御説明ガアツタヤウニ思フガ、現ニ此線路ヲ就イテハ度々陸軍省ノ意見杯ハ此線路ノ私設ヲ希望スルモノ杯ガ主張シテ陸軍省ノ意見ヲ叩イタ處ガ、既ニ政府委員トシテ御出席ニナツテ居ル方ノ如キハ岡山線ガ一番宜イト云フコトヲ明カニ明言サレテ居ルノデアアル、此線路線ガ軍事ニ惡ルイ、軍事ノ目的トシ若クハ軍事ノ便否ヲ言フナラバ、岡山線ガ一番善イト云フコトハ陸軍省デハ此線路ヲ贊成シテ居ルト云フコトハ疾クカラ意見ノ定テ居ルコトデアアル、又此事ニ就イテ假ニ先刻綾井君カラ質問モアツタカラ、其事ハ省キマスガ、今日日本ノ六師團ノ中デ其軍事ニ關係アル人ノ意見ヲ聞キマシテモ動カシ得ラルル所ノモノハ何デアアルカ、動カスベカラザルモノハ何處デアアルカト云ヘバ、九州ノ熊本又大阪東京等ノ師團ニ於テハ是ハ容易ニ動カセナイノデアアル、事有ルニ當ツテ之ヲ動カスコトノ助ニナルト云フモノニ依リマシテハ則チ廣島師團或ハ名古屋トカ仙臺トカ云フモノヲ先ヅ主トシテ動カサナケレバナラヌ、サウスルト山陰ニ事アルニ當ツテハ成ルベク近イ所カラ兵ヲ送ルト云フナラバ廣島ノ師團カラ兵ヲ送ラナケレバナラヌノデアアル、ツレニハ姫路線ニシテ置イテハ軍事上ノ便利ガ宜イト云フコトヲ以テ言ハレルガ、誠ニ政府ノ表面ト裏面ト當局者ノ一己ノ考ト政府ノ表面ヲ造ツテノ意見ト云フモノハ始終斯ウ云フ工合ニ齟齬シテ居ルノデアアル、實地ニ就イテ其人ノ腹ハドウデアアルカト云ツテ聞イテ見レバ甲ガ宜イ、政府ヲ代表シテハドウデアアルト云ヘバ乙ノ方ガ宜イト言ハナケレバナラヌカラ言ツタノダ、斯ウ云フコトハ常ニアルノデ、即チ兒玉政府委員ニ私ガ一己デ會ツテ相對ニドウデアアルカト云ツテ論シテ見タコトガアル、岡山線ノ方ガ軍事ニ惡ルイ、姫路ノ方ガ惡ルイト云フ御論ハ決シテ出來マイト思フ、其事ハ既ニ確メテアル、又且ツ今日鐵道事業ヲ爲スニハ何人ニヤラセルノガ宜イカト云ヘバ、私ハ今日ノ政府ノ様ナ會計ヲ曖昧ニシテ物ヲ模稜ニスル人ニ托スルコトハ成可ク止ムヲ得ザレバヤルガ、成ルベク少ナクシタイト私ハ思フ、既ニ或ル一例ハ鐵道局ニ奉職スル所ノ技師ガ先年官命ヲ以テ或ル線路ノ取調ヲ致シマシタ時ニハ、四百五十萬圓デ此線路ガ出來ルト云フ取調ヲシテ既ニ報告書迄載ツテ居ル、ツレガ近頃私設ノ計畫ガアツテ其人ガ官ヲ辭シテ民間ニ居ツテ私設會社ニ雇ハレテ取調ヲシテ見マスト今度ハ三百五十萬圓デ出來ル、同一ノ腕ヲ以テ同一ノ線路ヲ取調ベテ官設デヤル時ニハ四百五十萬圓、民設デヤレバ三百五十萬圓、サウ云フ調ベヲシタ、政府デヤレバ百萬圓位ハ餘計ニ掛ルコトハ當リ前ダト云フ

其言葉ノ中ニハドウ云フ意味ヲ含シテ居ルカ知ラヌガ、政府デヤレバ餘計ニ掛ルノハ當リ前ダト云フノハ凡ソ想像スルコトガ出來ル、是ヲ明ニ言ヘバ政府ハ經濟上ノコトハ下手デアアル、金ヲ餘計使ツテ儲ヲ少クスルノガ流義デアアル、藩閥政府ノ最モ長所ナシタ、其事ハ即チサウ云フ普通ノ理想ヲ以テ判斷シ能ハザル様ナ出來事ガ即チ化物理屋敷ノ本體デアラウト思フノデアアル、サウ云フコトデアアルカラシテ私ハ先ヅ民間ニ私設會社ヲ許スニシタ所ガ漫ニ許スコトハ好ミマセヌ、併ナガラ今此鐵道問題ヲ議スルニ當ツテ政府ニ許ス方ニ贊成スルカ、若クハ民間ノ會社ニ托スル方ヲ安心スルカト云ヘバ、私設會社ノ方ガ宜イサウデアアルカラシテ、成ルベク私設ノ方ニ許サセタイト思ヒマスガ、此線路ハ諸君モ既ニ私共ガ主張スル所ノ聯絡線ノ岡山線ト云フモノハ既ニ五六年前カラ地方ノ者ガ計畫シテ私設ヲヤラウトシテ色々計畫シテ居ル、幸ニ議會ノ問題ニ現レ既ニ比較線ノ一ニモナリマシタカラ、成ルベク官設デア出來ルナラバツレニ任サウト思ヒマシタ、比較ノ決定ガ延ビマシタニ就イテ近來又私設デアラウト云フ計畫ヲ致シ十分調査ヲ致シマシタ處、政府デハ六百八十萬圓イルト云フ調ニナツテ居リマスケレドモ、其私設會社ヲ計畫スル人ガ相當ノ技師ヲ頼シテ精密ニ調査ヲ致シテ見マシタガ、五百七十萬圓デア來ルト云フ結果ニナツテ居リマス、既ニ私設ノ計畫ヲ爲シテ先刻モ段々質問ナドモアツタ通ニ政府ニ出願ヲ致シマシタ所ガ、政府ハ今之ヲ明ニ持出シテハ東方官設ノ邪魔ニナルトデモ思ハレマシタカ、外ニ事情ノアルコトナノデゴザリマスガ、先刻政府委員ガ答辯セラレマシタ通り握潰シハシナイ、握ツテハ居ルガ潰シハマダシナイト云フ、後トニ許サル、時ヲ待ツテ許スト云フ積リダト云フ、誠ニ妙ナ答辯デゴザリマシタガ、併ナガラ繼子ハ其位ニ扱ハレルノモ無理ハナイト思フ、サウシテ東方線ノ方ハ政府ノ調ニ依リマシテモ利益ガ少イカラ、私設ノ計畫ヲスル人ガナイ、政府ハ官設デ之ヲヤラウト云フ、吾ミハドウセ同シコトナレバ官設ヨリ私設ノ方ガ宜イ、私設ノ方ニ許シタイト思ヒマス、又私設ト官設ヲ問ハズ同シコトナレバ工費ガ少クテ利益ノ多イ方ヲヤラセタイト思フ、サウ云フコトニナツテ居ルノニ私設ノ方ニ許サナイデ、私設デアラウト云フ見込ノアル線路ニ許サナイデ、而カモ此私設ノ計畫ト云フコトモ僅ニ今日ヤ昨日ニ始マツタコトデナク、數年來ノ研究デアアル、且ツ私設會社ヲ發起スルモノハ大阪ニ名古屋ニ東京ニ有力ナル人ガ澤山發起株ヲ持ツテ實ニ完全ナル備ヲナシテ居ルノデアアル、誠ニ是ニ許シテナサシムルナラバ安然ニ出來上ガルト云フコトデアアルノニ、殊更ニ政府ハ官設ノ東方線姫路ヲ取ルト云フコトハ甚ダ合點ノ往カヌコトデゴザリマス、是等ノ點ニ就イテモ私ハ岡山線ノ方ガ最モ適當デアラウト思ヒマス、尙ホ色々精密ノ調ヲ致シテ居リマスガ、細カナ御話ヲ致シマスレバ却テ諸君ノ御迷惑ト思ヒマスカラ、述べタイコトモモウ是デ置キマスガ、唯諸君ニ願ヒマス所ハ私ハ地方的感情ハ少シモナイノデアアル、地方人ノ希望ニ背イテ延期說マデ出シタ位デゴザリマスガ、此線路ニ就イテハ右ノ如ク軍事上カラ言ツテモ經濟上

カラ言ッテモ、或ハ位置ノ割合カラ言ッテモ、二線路ノ中デモ中央ニ依ル所、又山陰山陽東山ノ間カラ言ッテモ中央ニアル、今日何レノ點カラ論シマシテモ此線ニ及ブモノハナイノデアリマスカラシテ、私ハ決シテ一己ノ私ヲ以テ諸君ノ御贊成ハ乞ヒマセヌ、又東方線路ノ人ナドハ頻ニモウ一昨年來委員ヲ東京ニ置イテ議會ノ閉會マデモ東京ニ止リテ種々情實ノ運動ヲスルニモ拘ラズ私ナドハ未ダ自分ノ地方ニ關係アル線路ニ就イテ之ニ贊成シテ下サレト唯ノ一人ニモ御頼ミ申シタコトハナイノデゴザリマス、固ヨリ唯取ラレルト取ラレヌトハ諸君ノ御考ニアルノデゴザリマスカラ、私ハ唯公平ニ右私ガ申述ベマシタ所ノ利害ヲ御考ヘ下サレマシテ公平ニ御判斷アラシコトヲ切ニ滿場諸君ニ希望致シマス

(政府委員陸軍次官兒玉源太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(兒玉源太郎君) 唯今ノ加藤君ノ御演說ニ對シマシテハ少シク辯ゼナケレバナラヌト考ヘマス、此鐵道ノコトニ就イテ請願者諸君ニハ澤山御目ニ懸リマシタ、或ハ加藤君ニモ御目ニ懸ツタコトガアルカ知レマセヌ、然ルニ其御方ニ向ッテ御話スル時分ニ毎々御斷ヲ申シマス、私ハ此場合ニハ一己ノ考ヲ以テ御話致シマス……

○議長(楠本正隆君) 公私ノ別ヲ明カニシテ御述ベナサイ

(一己ノ私ノ事ヲ述ベルナラ御止メナサイ)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 一己ニ關スルコトハイケマセヌ

○政府委員(兒玉源太郎君) 宜シイ

(政府委員ノ御說ヲ聽キタイノダ)ト呼フ者アリ

○政府委員(兒玉源太郎君) ソレデハ止メニシマセウ

○議長(楠本正隆君) 一二百二十六番

○藤金作君(六十五番) 政府委員ニ質問ガアリマス

(天津淳一郎君演壇ニ登ル)

○天津淳一郎君(二百二十六番) 私ノ修正案ハ東方線ト云フ(「簡單ニ」ト呼フ者アリ)又「長クヤリ給ヘ」ト呼フ者アリ)無論簡單ニヤリマス、私ハ姫路島取ヲ經テ境ニ至ル線ヲ贊成シテ其中ノ一部分ヲ修正シタイト云フノデアアル、加藤君ノ言葉ニ此案ヲ贊成スレバ政府ヲ信用スルト云フ如クニ言ハレマシタケレドモ、左様ナ譯デハナイノデアアル、大體ヲ贊成スルト云フノハ則チ鐵道敷設法ノ姫路近傍ヨリ鳥取縣下鳥取ヲ經テ境ニ至ル鐵道ト云フコトヲ早ク已ニ此議會デ決シテ居ルガ故ニ、此議會デ決シタ所ヲ以テ「姫路近傍ヨリ」トアル其姫路ノ起點ヲ換ヘテ龍野ヲ起點ニシタイト云フ論デアアル(ひやく)此案ヲ贊成スルガ故ニ政府ヲ信用スルノデアナイ、私ハ鐵道同志會員デモナケレバ、公平會員デモナイノデアアル、其修正ノ理由ハ説明ヲスルマデモナイノデアアル、此理由書ヲ諸君ガ熟讀シテ圖面ト較ベテ見マシタナラバ龍野ノ起點ガ宜シイト云フノハ無論分ルノデアアルガ、短期ノ議會ニ重大ナル問題ニ諸君ガ御熱心ニナツテ精神ヲ勞サレタ諸君ハ定メシ之ヲ熟讀シテ圖面ニ引當テルノ違ガ

ナカッタデアラウト思フ、因テ之ヲ單簡ニ御話シヤウト思フ、此理由ノ中ノ第一ヨリ第五ニ至ルマデノ間ノ第一ハ述ブル迄モナイ、姫路ヲ起點ニシテ往クノ山陽鐵道ノ十哩バカリ先キニ行ツタ所ノ西嘴崎村ニ行クノ龍野ヲ起點トシテ行ケバ、西嘴崎村ニ至ルニハ十哩ト五哩ノ差ガアツテ鐵道ガ五哩ダケ短縮スルノ利益ガアル、是ハ五哩バカリノ利益デアアルガ、第二ヨリ第四ニ至ルマデノ理由ハ水害ヲ避ケルト云フノデアリマス、姫路ヲ起點ニスルト四ツノ河ガアツテ、其四ツノ河ニ鐵橋ヲ架ケルノガ、龍野線ニスレバ架ケズニ濟ム、四ツノ河ノ中ノ揖保川ト云フ川ノ如キハ河底ガ平地ヨリ高クテ、毎年非常ニ水害ヲ被ルノデアアル、去ル明治十五年ニ當ツテ水害ヲ被ツタ町步ガ一万二千餘町步デ、其關係ノ及ブ所ハ十三万七千餘戸ト云フノデアアル、隨分大ナル水害デアアル、是丈ノ水害ヲ被ルコトヲ避ケル別ニ線路ガアルト云フノニ強チ姫路ヲ起點トシナケレバナラヌト云フ理由ガ分ラナイ、且ツ龍野ヨリスレバ二重ニ線路ヲ敷イテモ水害ハ被ラズニ濟ムノデアアル、鐵道廳ノ技師ハ即チ土木技師デアアル、故ニ水害ヲ避ケル途ハアルト云ヒマスルケレドモ、現ニ今ノ山陽鐵道ノ二十五年ノ時ノ水害ノ時ニ方ツテハ鐵道ノ上下ニ於テ水ニ五尺ノ差ガアル程ノ有様デアッタトシマスレバ、此二ツノ鐵道ヲ敷キマシタナラバ、水害ガ是ヨリ大ナルコトハ證スルコトハ出來ルノデアアル、是ハ諸君近年各地ノ水害ヲ見テ、毎年水害ノタメニ國庫ノ支出ガ澤山アルノヲ見テ、是非治水ノコトヲ何トカセズバナラナイト言ハレル諸君デアアルノニ、此鐵道ノタメニ又水害ヲ増スト云フ線ヲ選ブト云フ答ハ決シテナイノデアアラウト思フ、ソレカラ全院委員長ノ先程述べラレマシタコトニ就イテ三箇ノ要點ガアルガ(「委員長ダ」ト呼フ者アリ笑聲起ル)鐵道委員長——特別委員長ガ述べラレマシタコトニ就イテ三箇ノ要點ガアルガ、是ニ就イテ委員長ノ言フコトハ常ニ答辯ノ明瞭ナラザル所ガアルガ故ニ、更ニ政府委員ニ質問シタ所ガ第一ニ工費ハ十萬圓程シカ違ハヌト云フ、是ハ成ル程鐵道局ノ如キ山ノ上ノ測量ヲ致シテ成丈工費ヲ高クシヤウト致シマシタナラバ、十萬圓ノ差違アゴザイマセウガ、然ラズシテ龍野ノ有志ガ此工事を就イテ學士ヲ以テ調べタ所ニ依レバ二十四萬八千圓丈ヲ減ズルコトガ出來ル、龍野ヲ起點ニスレバ十四萬圓丈出來ルト云フノデアリマス、姫路ヲ起點ニスレバ四ツノ鐵橋ヲ架ケル費用ガ十四萬圓掛ル、丁度鐵橋ヲ架ケル丈ノ費用出來ルノデアリマス、之ヲ政府委員ガ僅十萬圓バカリノコト、言フノハ其實惡ルイ線路ノ工費カラシテ比較ヲ取ツテ言フノデ、斯ノ如キ比較ハ當テニナラヌト思フ、其次ニ岡山ニ於テハ汽車ヲ泊メルノ便利ガアル、是ハ山陽鐵道ノ岡山デ汽車ヲ泊メルノデアリマセウケレドモ、必シモ岡山デ汽車ヲ泊メナケレバナラヌト云フコトハナイ(「姫路デハナイカ」ト呼フ者アリ笑聲起ル)姫路デス、姫路ニ必シモ汽車ヲ泊メナケレバナラヌト云フコトハナイ、何デモ姫路ヲ腦髓ニ容レテ主ニシテ調ヲスルカラシテ、姫路ニ汽車ヲ泊メルノガ便利デアルト云フヤウニナル、姫路ト云フ名

ガ天下ニ高イ、赤松圓心ガ城ヲ築イテ以來酒井雅樂頭ガ之ニ居城シタト云フ所カラ名ヲ知ラレテ居ルモノダカラ、何デモ姫路デナケレバナラヌト云フ腦髓ヲ以テ調ベルト云フト斯様ナコトニナル、龍野ニ汽車ヲ泊メルトシタ所ガ何ノ差支モナイ、其次ニ委員長ノ報告ニ言フニハ大阪ニ對シテ近クナル、是ハ岡山線ノ主張者守屋君、又東眞三郎君アメリカラ辯シテ山陰山陽ノ聯絡線ガ何故ニ大阪ニ近クスルノ必要ガアルカト言ハレマシタガ、此一言デ反駁ハ澤山デアル、併ナガラ倉敷線モ潰レ、岡山線モ潰レタナラバ成丈東ニ持ッテ行クノガイヤダト言ハレタ、守屋君ナドハ勿論此龍野線ハ御贊成ニナルト云フコトハ私ハ信ジテ居ル、ソレカラモウツハ物貨ノコトガ此五ツノ中ニ書イテナイ、物貨ハ龍野ト云フ所ハ有名ナ醬油ガアルノデアル、ソレカラ素麵ガアルノデアル、此近傍カラ即チ赤穂ノ鹽ガアルノデアル、鹽、醬油ト云フモノガ専ラ山陰地方ノ需要ニ供スル鐵道ガ開ケタ後、後來ト雖モ鹽、醬油ハ山陰地方ノ人ハ廢スルコトハ出來ナイ、姫路ノ地方ハ是ト比較シテ同シヤウニ、成程産物ハ姫路ニ皮ト云フモノガアル、此姫路ノ産物ノ皮ハ大阪東京ニ向ッテハ販路ガゴザイマセウガ、山陰道ニ向ッテハ如何ニ山陰道ガ寒イトテモ、山陰道ノ人口ガ悉ク皮衣ヲ著ナクテナラヌト云フ時代ハ來ナイニ相違ナイカラ、姫路ノ産物ハ此鐵道デ送ラナケレバナラヌト云フ必要ハナイト思フ、軍事上ト云フコトガアリマスガ、軍事上ノコトハ勿論吾ミガ委ク述ベルト云フコトハ出來ナイノデアル、併ナガラ陸軍省ガ此龍野ノ直ク下ニ在ル所ノ室津ト云フ有名ナル港ガアル、此港ハ昔ヨリ此海岸第一ノ要港デアッテ、此港ノ深サハ數十尺アルガタメニ大砲水雷艇ヲ是カラ陸揚ゲスルコトガ出來ルト云フ測量ノ結果ヲ報告シテアルト云フコトハ、則チ最モ軍事上ニ關係ガアルコトデアアル、先ツ是又ガ要點デアアル、而シテ凡ソ官設ノ鐵道ト云フモノハ利益ヲ急ニ——損益ヲ考ヘルモノデハナイガ故ニ、官設ノ鐵道ハ大體ニ於テハ十分ナル良線路ヲ擇ブコトガ出來マスケレドモ、之ニ反シテ又些々タル所ニ入ルト私設鐵道ハ損益ノタメニ迂迴ナ道ヲ取ルト云フコトハ致シマセヌ、ケレドモ官設ノ鐵道ニナルト利益ヲ見ルノデハナイガ故ニ、技師ナリ鐵道局員ナリガ姫路地方ノ有志ニ懇切ナル待遇ヲ受ケレバ、俄ニ方向ヲ變ジテ姫路ヨリ起點ニシナケレバナラヌト云フヤウナ又弊害ガ生ズルト云フコトガ往々アルコトデアラウト思フ、故ニ此鐵道ニ就イテハ工費カラ考ヘテモ、産物ノ上カラ考ヘテモ、軍事カラ考ヘテモ、又山陽山陰ノ聯絡ト云フ點ヨリ考ヘテモ、第一ノ主眼國家經濟ノ盛衰ノ上ヨリ考ヘテモ、龍野ヲ起點トスルト云フコトハ至當デアアル、殊ニ岡山縣倉敷線ノ潰レタ諸君ハ龍野線ニ御贊成ニナルノガ至當デアアルト信ズルノデアアル

(討論終結)ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 討論終結——決ヲ採リマスル、討論終結ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數  
○田中源太郎君(二十八番) 直ニ三次會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス  
○議長(楠本正隆君) 修正說ヨリ決議ヲ採リマス  
(町田書記官朗讀)

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法第七條中山陰山陽聯絡豫定線比較線路ハ左ノ線路ヲ採ル  
一岡山縣下倉敷ヨリ鳥取縣下境ニ至ル鐵道  
提出者 東 眞三郎君

○議長(楠本正隆君) 右ニ同意ノ諸君ハ起立  
起立者 少數

○議長(楠本正隆君) 次ノ修正ニ移リマス  
(町田書記官朗讀)

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法第七條中山陰山陽聯絡豫定線比較線路ハ左ノ線路ヲ採ル  
一岡山縣下岡山ヨリ津山ヲ經テ鳥取縣下境ニ至ル鐵道  
提出者 加藤平四郎君 綾井武夫君 竹内正志君

○議長(楠本正隆君) 此修正ニ同意ノ諸君ハ起立  
起立者 少數

○議長(楠本正隆君) 次ニ移リマス  
(町田書記官朗讀)

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法第七條中山陰山陽聯絡豫定線ハ左ノ線路ヲ採ル  
一兵庫縣下龍野驛ヨリ鳥取縣下鳥取ヲ經テ境ニ至ル鐵道  
提出者 大津淳一郎君 肥塚 龍君 改野 耕三君

○議長(楠本正隆君) 此修正說ニ同意ノ諸君ハ起立  
起立者 少數

○議長(楠本正隆君) 原案ニ就イテ決議ヲ採リマス、朗讀ヲ省キマス  
——原案ニ同意ノ諸君ハ起立  
起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數——即チ原案ニ決シマスル  
○田中源太郎君(二十八番) 直ニ三讀會ヲ……  
(贊成々々)ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 然ラバ三讀會ヲ開クヤ否ヤノ決ヲ採ッテ——直ニ三讀會ヲ採ルガ順序デスガ、最早御異議ガゴザイマセヌカ  
(異議ナシ)ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 然ラバ直ニ三讀會ヲ開キマス——朗讀ヲ省キマス  
(戊)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案(政府提出) 第三讀會  
藤金作君(六十五番) 政府委員ニ御尋シマスガ……



○議長(楠本正隆君) 六十五番——此場合ニハ大體ニ於テ決議ヲ採リマス、  
質問ハ御見合下サイ

○魚住逸治君(二百十三番) 二次會決定通テ贊成致シマス

(二贊成ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 確定議ヲ採リマス、該案ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數——確定致シマス次ハ第八ニ移リマス——佐藤里治君

第八 (甲)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ

關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(長報告)

(佐藤里治君演壇ニ登ル)

○佐藤里治君(二番) 此私設會社ニ許可ト云フ議案デゴザリマスガ、此事ニ就キマシテ取調ベマシタ此經濟ニ關スルコトノ大體ヲ諸君ノ御參考ニ供シテ置キマセウ、此日本ノ鐵道ノ最近ノ調ニ據リマス、官設ト私設ト合セマシテ哩數ガ千九百三十三哩四十鎖ト云フノ現在ノ哩數デアアル、ソレカラ其資本額ガ一億二千八百九十九萬六千二百五十二圓——現在ノ日本ノ總鐵道ノ是ハ資產ニナラテ居ル、ソレカラ其內譯ヲ致シマス、官設ノ哩數ガ五百五十七哩四十九鎖、其資本額ガ三千八百九十九萬三千二百五十二圓私設ノ哩數ガ一千三百七十五哩四十一鎖、其資本ガ七千四百七十九萬三千圓、ソレカラ是カラ金ヲ使フト云フ金額ニ就キマシテ一應ニハ御參考ニ供シテ置キマス、是マデ本免狀ヲ下ゲマシテ目下工事ニ著手ヲ居リマスガ、總武鐵道外十一會社ニシテ此金額ガ六百九十九萬三千圓、哩數ガ二百二十一哩一鎖、ソレカラ假免狀ヲ既ニ下ゲマシタノ兒島鐵道外四會社此金額ガ三百三十二萬四千九百圓、哩數ガ九十二哩三十五鎖、ソレカラ是カラ許サウトシテ居リマス此議案ニ掲ゲテ居リマス各私設ノ會社其外敷設法外ニシテ鐵道會議ガ假免狀ヲ與ヘヤウト決議ヲ致シマシタノガ八百五十一哩五十五鎖、其費用ガ四千六百四十八萬七千二百四十三圓、ソレカラ尙ホ目下出願中ニナラテ居リマスモノガ是ハ概括シテ見マスルト、大凡一千萬圓程ノ出願ニナラテ居ル、ソレカラ既ニ此山陽九州其他ノ會社ニ免狀ヲ與ヘマシテ追テ工事ニ著手スルト云フ金額ト之ヲ總括シテ見マスルト、是カラ鐵道ニ金ヲ使ハウト云フ總額ガ七千八百萬圓程ニナラテ居ルノデ、ソレカラ官設ノ事業ニシテヤリマス額ガ、是ハ此敷設法ノ意味ニ依ッテ一箇年五百萬圓ヅ、使フモノト見マスルト、是カラ前途鐵道ニ使ヒマスル金ヲ詰リ是ハ想像デゴザイマスケレドモ、大凡此私設ニ七千八百萬圓ト云フ金ヲ七箇年間ノ間ニ之ヲ費消スルモノト假ニ見テ見マスルト、丁度此外國品ノ購入代價ト云フモノハ一箇年百七十哩ノ平均ノ仕事ヲシテ往クト見マシテ、一哩ガ是迄ノ例デ——平均ノ例ヲ取リマシテ一萬五千圓ト假定シマスルト、丁度二百四十萬圓ニナリマス、ソレカラ官設ノ五百萬圓

ノ外國品購入代價ヲ假ニ一箇年八十哩ノ工事トシテ之ヲ見テ見マスルト、百二十萬圓彼是合セマスルト是カラ此鐵道ノ始末ヲ附ケマスルニ外國品ノ購入ハ凡三百五十六萬圓ヲ要スルト云フヤウナ見据ガ立ツノデゴザイマス、ソレカラ是迄此私設ノ最近ノ年度ヲ平均シテ見マスルト私設會社ノ鐵道ヲ年々拵ヘマスル金額ガ凡ソ八百萬圓平均位ニナラテ居リマス、是ガ大體此澤山ノ鐵道ヲ許可スルニ就イテ經濟上ノ如何ト云フ點ニ就イテ之ヲ攻究ヲ致シマシタ結果デゴザイマス、之ヲ前以テ御參考マデニ御報告道ヲ致シテ置キマス、此東京府下上野千葉云々ト云フ項、外一項、是ハ原案ヲ可ト致シマシテ、其次ノ項ニ修正ヲ加ヘマシタノデゴザイマス、此原案ノ趣旨ハ是ハ鐵道敷設法ノ豫定線中ノ幾分ヲ私立會社ニ切賣スルノデアリマスルカラシテ、他日此豫定線ノ目的ノ終點マデ敷設ヲ要スル際ニハ此會社ヨリ建築費ヲ買收シ、若クハ他ノ會社ニ讓渡サシムルト云フノ條々ヲ附シテ豫定線ノ幾部分宛切賣シヤウト云フノ議案デゴザイマスガ、之ニ多少修正ヲ加ヘマシタ意味ハ若シ其會社ガ豫定ノ線路ノ全部ヲヤルト云フコトナラバ、無論是ハ政府ガ原價デ之ヲ買入レルトカ、他ノ會社ニ原價ヲ賣渡サシムルトカ云フコトハ要サナイ話デアアル、其會社ニ先ヅ以テソレ丈ノ權利ヲ與ヘテ置クノガ相當デアアル、其會社ガ之ヲ辭スルト云フ際ニ至ラテ始テ此項目ヲ使用スルト云フ精神ニ是ハ換ヘマシタノデアリマス、ソレ丈ヲ御報告道ヲ致シテ置キマス

○大岡育造君(九十五番) 一寸委員長ニ質問シマス、唯今御修正ニナラタ所ハ能ク分リマシタガ、此本文中ニ少シ了解シ惡イ所ガアリマス、元來私設鐵道ト云フモノガ多ケレバヤルシ、多クナケレバヤラナイ、既ニ中國即チ山陽線ニ於テモ其例ハ見エル、九州モ無論其通デアアル、茲ニ於テ是ハ總て官有ニシヤウト云フコトニ迄進シタコトモゴザイマスガ、今此處ニ豫定線中ノ者ヲ私設鐵道會社ニ敷設ノ許可アルト云フコトニ就イテハ不同意ハナイ、不同意ハナイガ、之ヲ許可スルニ當ッテ前項ノ鐵道ヲ政府ニ買收シ、又ハ之ヲ他ノ會社ニ賣渡サシムルメ相當ノ條件ヲ附スルコトヲ得トアル、此上カラ見マスルト鐵道廳ノ當該ノ役人ガ考ヘテ此處ニハ買收ノ約束ヲシテ置イタ方ガ宜カラウト思ヘバマスルコトガ出來ル、シナクテモ宜シイト思ヘバセストモ濟ム、而シテ實際ニ於テ鐵道會社ハ斯ル約束ヲスルガ宜シイカ、セザルガ宜シイカト申セバ無論斯様ナ窮屈ナ法ハシナイ方ガ宜シイニ違ヒナイ、國家ハ如何ト申セバ斯ルコトハ宜イ加減ニ或ル官吏ノたくみニ依ッテ或ハ買收シ、或ハ買收セラレザルヤウナ風ノコトハナイヤウニ望ムト私ハ思フノデアアル、是迄ノ經濟上カラ言ヘバ相當ノ條件ヲ附スベシ——附シムベシ、モウ私設鐵道ヲ許ス代ハリニハ約定ノ期限通ニ此鐵道ヲ皆成シナイ、或ハ他ノ必要ノアル場合ニ於テ買上グルゾヨ、此約束ハ必ズ附ケテ貫ハナケレバナラヌト思フニ、此法文ノ趣意ニ依レバ役人ノ勝手デアル、全ク左様ナ條件ヲ附ケタ場合ニハ答メ様ガナイノデアアル、鐵道ニ就イテ私ハ強テ攻撃ハセヌガ、隨分近頃ノ様子デハ一種ノ力ガ出來テ居ル様デス、弊害モ亦生ゼヌトハ言ハレヌ、御

役人様ノ方デ御相談ガ附イタラバ約定ナシニモ私設鐵道ハ通過スルト思フ、是ハ大變弊害ガアルト思ヒマスガ、其邊ハドウ云フ譯デ役人ニ一任シテ置イテ、役人ノ了簡次第デ或ハ約シ或ハ約セザルコトヲ得ル、斯様ナ隨意ナル法案ヲ以テ善シトセラレタルカヲ問ヒマス

○佐藤里治君(二番) 是ハ必ズ此條件ヲ附シテ出ナケレバ許サヌト云フ意味ニナツテ居リマス

○大岡育造君(九十五番) 意味ナンデスカ、サウスレバ此法文ハ「相當ノ條件ヲ附スルコトヲ得」トナツテ居ル、大層違ヒマス

○佐藤里治君(二番) 若シ御修正ニナルナラバツレデ宜シイ、吾々ハ命令スベシト云フ積デアツタ

○議長(楠本正隆君) 例ニ依ツテ決議ヲ採リマス、該案ニ對シ二讀會ヲ開クニ同意ノ諸君起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數ト認メマス

○吉本榮吉君(二百三十三番) 直ニ二讀會ヲ開カレルコトヲ望ミマス

(賛成々々「ト呼フ者多シ」)

○議長(楠本正隆君) 二百三十三番ノ直ニ二讀會ヲ開ク如何ノ決議ヲ採リマス直ニ二讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數、直ニ二讀會ヲ開キマス

(甲)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出) 第二讀會

○議長(楠本正隆君) 此場合ニ修正説ヲ——原案モ併セテ朗讀致シマス

(町田書記官朗讀)

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ其敷設ヲ許可スルコトヲ得

一東京府下上野ヨリ千葉縣下千葉佐倉ヲ經テ銚子ニ至ル鐵道線ヨリ分岐シテ木更津ニ至ル鐵道線中千葉縣下千葉ヨリ會我町ニ至ル鐵道

一福岡縣下久留米ヨリ山鹿ヲ經テ熊本縣下熊本ニ至ル鐵道線中福岡縣下山鹿ヨリ熊本縣下植木ニ至ル鐵道

○議長(楠本正隆君) 是ハ一項二項丈先ツ決議ヲ採リマス、三項ハ修正説ガアリマスカラ、別段ニ決議ヲ採リマス、第一項第二項

(「異議ナシ」原案賛成「ト呼フ者多シ」)

○議長(楠本正隆君) 御異議ガナクバ可定ト認メテ宜シウゴザイマスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 修正説ヨリ朗讀シテ決議ヲ採リマス、委員ノ修正説

(町田書記官朗讀)

政府ハ前項ノ許可ヲ與フル場合ニ於テ本線路ノ全部ヲ敷設スルノ必要ヲ認

ムルニ當リ其會社ニ於テ之カ敷設ヲナサル時ハ其建設費實費ヲ以テ前項ノ鐵道ヲ政府ニ買收シ又ハ之ヲ他ノ會社ニ賣渡サシムル爲メ相當ノ條件ヲ付スルコトヲ得

○議長(楠本正隆君) 此委員ノ修正説ニ同意ノ諸君ハ起立

○大岡育造君(九十五番) 一寸伺ヒタイ、政府案ハ決定ニナツテ居リマセヌカラ……

○議長(楠本正隆君) モウ一應確メマス、唯今朝讀シタル委員ノ修正説ニ……

○大岡育造君(九十五番) 委員ノ修正説ガ多數ノ場合ニナツテハ原案ト委員ノ修正ニ以テ……

○議長(楠本正隆君) ツレハ別々ニナル——唯今朝讀致シタル委員ノ修正説ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(楠本正隆君) 少數ト認メマス、原案ニ就イテ決議ヲ採リマス

○大岡育造君(九十五番) 修正ヲ致シマス、宛ニ角モ先刻モ申シマス通り茲ニ修正ヲ致シマス、其修正ハ委員ノ修正案ノ終リニ「條件ヲ付スルコトヲ得」トアルノヲ「付スヘシ」ト致シマス

○議長(楠本正隆君) ツレハ此場合デハイケマセヌ

○大岡育造君(九十五番) 意味ノ修正デス、意味ノ修正デ文字ノ修正デハゴザイマセヌ

○議長(楠本正隆君) 惜シイコトニハ時期ヲ失ロマシタ、討論終結ノ上ニ決議ヲ採リマスカラ——原案ニ就イテ決議ヲ採リマス

(町田書記官朗讀)

政府ハ前項ノ許可ヲ與フル場合ニ於テ本線路ノ全部ヲ敷設スル爲メ必要ナリト認ムル時ハ其建設費實費ヲ以テ前項ノ鐵道ヲ政府ニ買收シ又之ヲ他ノ會社ニ賣渡サシムルメ相當ノ條件ヲ付スルコトヲ得

○議長(楠本正隆君) 唯今朝讀ノ原案ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(楠本正隆君) 少數ト認メマス

○大岡育造君(九十五番) 私ハ此際ニ於テ是ハ直グニ委員ヲ選ンデ相當ナル案ヲ作ラレンコトヲ望ムノデアアル、官設鐵道サヘモ……私設鐵道ニ許シテ宜シイモノヲ斯様ナコトニシテ潰ブサル、ハ甚ダ殘念デアリマス、原案修正ガ成立タナカッタメニ此事ノ容レラレヌノハ甚ダ殘念デアリマスカラ、相當ノ人數ヲ以テ……

○議長(楠本正隆君) 委員ハ幾名デス

(「九名デ議長ノ指名」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 是ハ規則ノ百二十三條ニ從ツテ九十五番ノ委員説ニ就

イテ決議ヲ採リマス

〔角田眞平君〕其前ニ廢棄スベカラザルト云フ決議ヲ採ラナケレバナラヌト呼フ

○議長(楠本正隆君) 是ハ廢棄スベカラズト百二十三條ニ依テ認メタ、故ニ九十五番カラ委員ノ説ガ出タノデアラウト思ヒマス(然リト)ト呼フ者アリ)ツレデ委員ヲ置クト云フコトニ就イテ決議ヲ採リマス

○神輿知常君(二百六十五番) 此規則ニ依ルトドウモ「廢棄スベカラサルモ」ト議決シタルトキハ「トアリマス」カテ御手數デアリマスガ、廢棄スベカラズト云フ決議ヲ御採リニナルコトヲ希望致シマス

○議長(楠本正隆君) 然ラバツレヲ先ニ採リマス、廢棄スベカラズト云フコト……(異議ナシ)ト呼フ者多シ)異議ハアリマセヌカ(異議ナシ)ト呼フ者多シ)ツレナラバ可定セラレタルモノト致シマス、ツレカラ……

○時岡又左衛門君(九十六番) 更ニ委員九名ヲ……(前ノ委員ニ)ト呼フ者アリ)前ノ委員ニ……(ツレハ別ノ委員デナケレバイヤカヌ)ト呼フ者アリ)更ニ九名デゴザイマス、議長ノ指名ニ願ヒマス

(贊成ノ聲起ル) ○議長(楠本正隆君) 然ラバ九名ノ委員ヲ議長ノ指名ニ任セルト云フ御説デゴザイマスカラ……(異議ナシ)ト呼フ者多シ)異議ハゴザイマセヌカ(異議ナシ)ト呼フ者多シ)然ラバ是モ可定セラレタルモノト認メマス

(散會モ異議ナシ)ト呼フ者アリ) ○時岡又左衛門君(九十六番) 散會ニナリマスマデニ……(無用々々)ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 議事日程ヲ報道致シマスル(水野書記官長朗讀) 議事日程 第九號 明治二十七年五月二十五日 午後一時開議

第一(乙)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員) 長報告

第二(丙)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員) 長報告

第三 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員) 長報告

第四(己)鐵道比較線路決定ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員) 長報告

第五 國稅徵收法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員) 長報告  
第六 明治二十二年勅令第四百四十一號第一條改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員) 長報告  
第七 明治二十三年法律第四號中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員) 長報告

第八 東京砲兵工廠据置運轉資本増加ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會ノ續(特別委員) 長報告

第十 軍用電信條例法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員) 長報告

第十一 實業教育費國庫補助法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員) 長報告

第十二 國庫金出納上一時貸借ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第十三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十四 府縣非常土木費國庫補助法案(林有造君外三名提出) 第一讀會

第十五 震災地方未納地租延納法案(小室重弘君外八名提出) 第一讀會

第十六 市制中東京市京都市大阪市ニ設ケタル特例 第一讀會

第十七 廢止法律案 第一讀會ノ續(特別委員) 長報告

第十八 市制中追加法律案 第一讀會ノ續(特別委員) 長報告

第十九 古物商取締條例改正法律案 第一讀會ノ續(特別委員) 長報告

第二十 銀行條例改正法律案(田中源太郎君外七名提出) 第一讀會  
明治二十三年法律第七十三號貯蓄銀行條例改正法律案(田中源太郎君外七名提出) 第一讀會  
第二十一 八重山群島瘴毒排除建議案(大島信君外一名提出) 第一讀會  
第二十二 第六議會々期延長上奏案(神輿知常君外四名提出) 第一讀會  
第二十三 懲戒解除ノ請願(請願委員) 長報告

衆議院議事速記第七號正誤表

頁	段	行	誤	正
一六二	下	二七	速ニ	更ニ
一六二	下	二七	云フノデゴザイ	云フデゴザイ
一六五	上	二五	イマセヌ	マセヌ
一六五	下	一	一ツ	ニツ
一六五	下	一	諸君ガ	諸君私ガ
一六五	下	一	高評	富源
一六八	下	二一	參議本部	逕信省
一六八	下	二四	公私	攻守
一六八	下	三四	上陸スルニ至リ遂ニ大阪等	上陸スルタメ大磯藤澤若クハ國府津松田等
一七三	下	三五	町々宿	町々宿

